

**SUBARU**®

**SAMBAR**

取扱説明書

ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。

# このたびはスバル車をお買いあげいただき ありがとうございます。

この取扱説明書は、お車や装備品の取り扱い、  
守っていただかなければならないこと、  
万一のときの処置などについて説明しています。  
ご使用になる前に必ずお読みください。

- ・「必読！安全で快適な運転のポイント」や **⚠警告** **⚠注意** **アドバイス** マークのところは重要ですのでしっかりとお読みください。

<b>⚠警告</b>	安全のため守っていただかなければならないこと (取り扱いを誤った場合、死亡、または重大な傷害を負う可能性 があります。)
<b>⚠注意</b>	安全のため、および、お車のため守っていただかなければ ならないこと (取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性があります。また、 車体が損傷する可能性があります。)
<b>アドバイス</b>	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと

- ・グレード等により異なる装備については、マークがついています。
- ・スバルの販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては、添付される取扱説明書をご覧ください。

- ・ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。
- ・保証内容および点検整備については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- ・取扱説明書は「メンテナンスノート」とともにいつもお車に保管してください。
- ・お車をゆずられるときは、次のオーナーのために取扱説明書、メンテナンスノートを車につけておいてください。
- ・装備仕様の変更により、この説明書の内容とお車が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

保証書・メンテナンスノートも合わせてお読みください 6

必読！安全で快適な運転のポイント 7

ドアなどの開け閉め 27

シート・シートベルト・ミラーの調節 41

スイッチの使いかた、メーターなどの見かた 57

装備品の使いかた 75

運転装置などの使いかた 113

車の手入れ 135

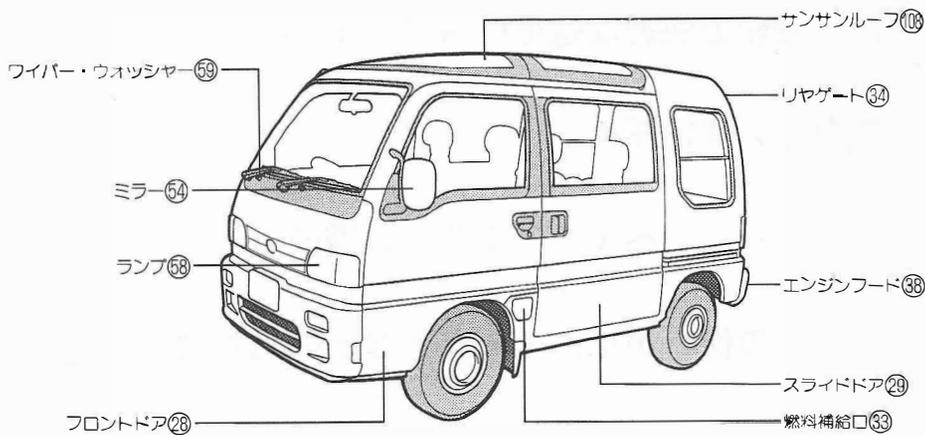
万一のとき 149

寒冷地での使いかた 167

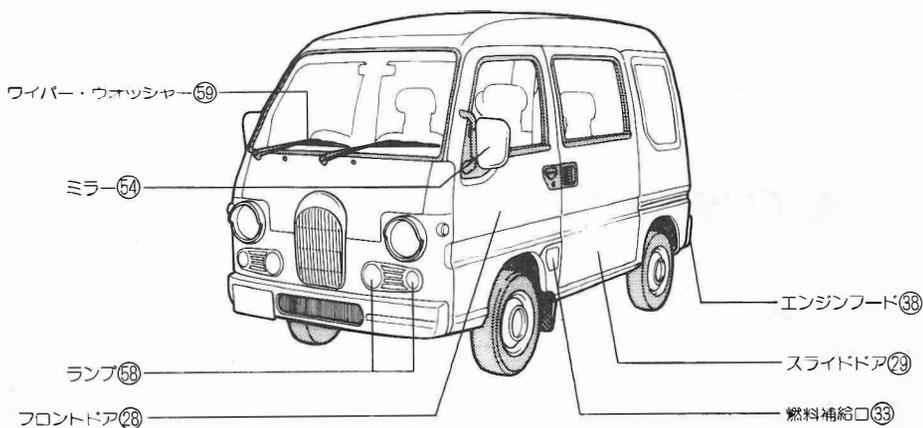
サービスデータ 176

さくいん 182

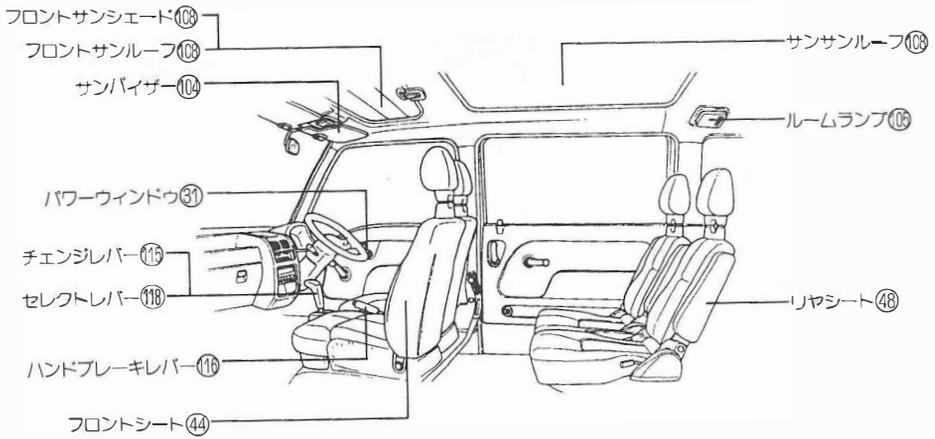
# イラスト目次

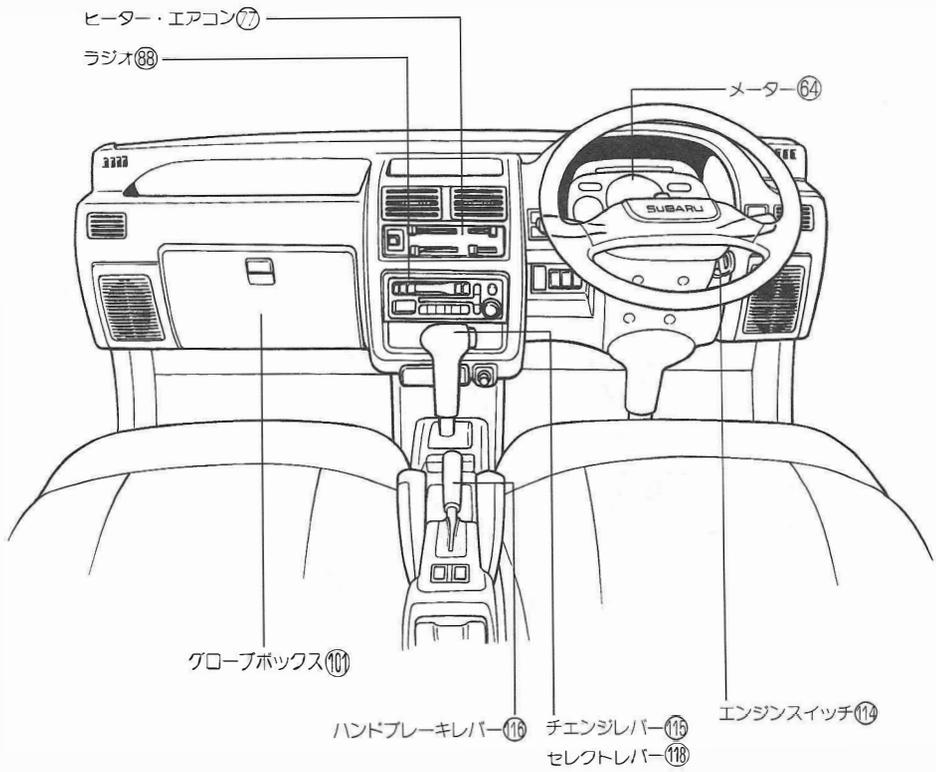


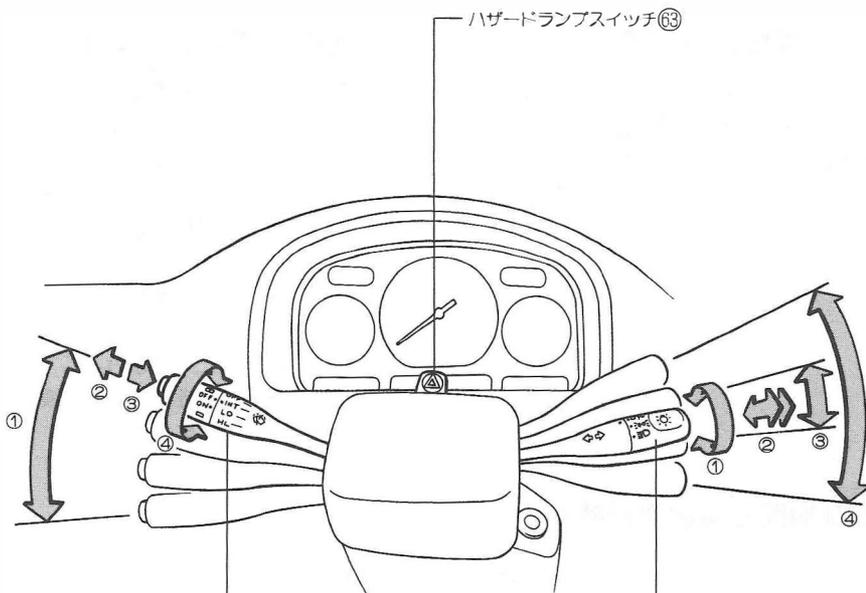
4651



4652







ハザードランプスイッチ 63

ワイパー・ウォッシャースイッチ 59

- ①下げる：フロントワイパー
- ②手前に引く：ミストスイッチ
- ③押す：フロントウォッシャー
- ④回す：リヤワイパー・ウォッシャー

ライティングスイッチ 68

方向指示レバー 59

- ①ライトの点灯・消灯
- ②ヘッドランプの切り替え
- ③車線変更合図
- ④方向指示

# 保証書・メンテナンスノートも合わせてお読みください

別冊の「メンテナンスノート」には保証の内容および点検・整備について記載してあります。

ご使用前に必ずお読みください。

## 保証について

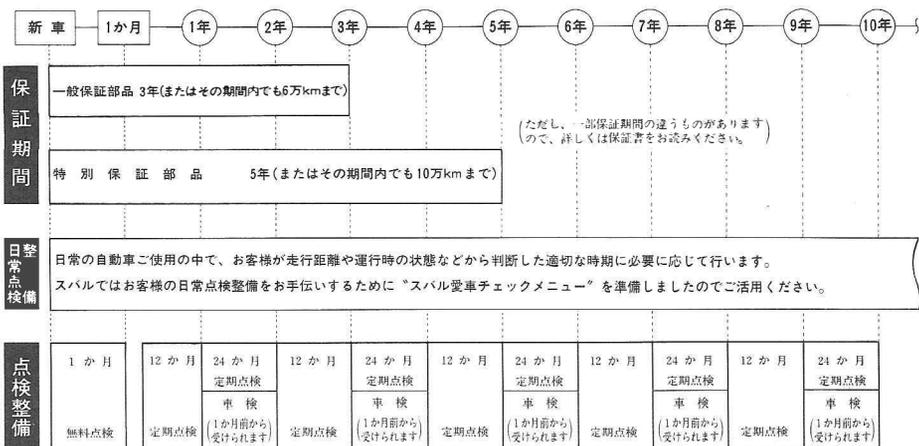
保証書には、万一故障が起きたときに無料で修理が受けられる条件や範囲が記載してあります。

一度お読みになり、条件や範囲などについてご確認ください。

## 点検・整備について

- ・法律で使用者に点検・整備の義務が規定されており、使用者の保守管理責任が明確にうたわれております。
- ・メンテナンスノートには点検・整備の時期ややり方などが記載してあります。良く読んで必ず行ってください。
- ・日常点検整備や他の点検整備を行ったときは、必ずその結果をメンテナンスノートに記入しておいてください。
- ・納車してから1か月後に新車時点検を無料で実施しております。

## 保証期間と点検整備時期



お出かけ前には.....	8
お子さまをのせるときの気くばり.....	11
オートマチック車の特徴と運転上の注意.....	12
走行するときには.....	16
雪道走行するときには.....	19
駐・停車するときには.....	20
こんなことにも注意を.....	22



**重要**

しっかりお読みいただきお守りください

## 日常点検整備を

日常、自動車を使用していく中で、お客様が走行距離や運行時の状態などから判断した適切な時期に必要なに応じて行います。

☆別冊「メンテナンスノート」参照



2711

## シートベルトは全員がしっかりと

事故の際のけがを最小限にするだけでなく急ブレーキ等での危険を防止します。必ず着用しましょう。

☆シートベルト (42、52ページ)



2558

## 正しい運転姿勢に調節して

走行前にシート、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、アウターミラー、ルームミラーなどを適切な位置に調節してください。

☆正しい運転姿勢 (42ページ)



## 危険物の持ち込みはやめて

燃料の入った容器や可燃性ガス入りスプレー缶、ガスライターなどは事故や炎天下で車内が高温になったときに火災の原因につながるおそれがあります。

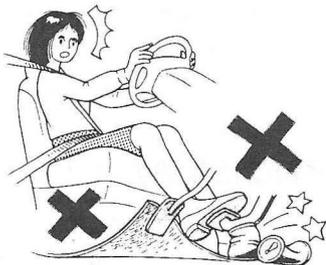




重要

### 運転席の足もとはずっきりと

- 足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルの下に物がはさまってブレーキ操作ができなくなることがあります。
- フロアマットは正しく敷いてください。アクセルペダルにひっかかり思わぬ事故につながる可能性があります。



### 荷物をつむときには

トラック パネルバン	350kg
バン	2人乗りのとき：350kg
	4人乗りのとき：200kg
ディアス	2人乗りのとき：200kg
	4人乗りのとき：100kg

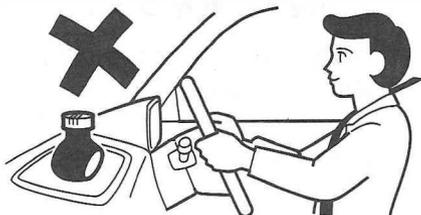
- 室内にシートの高さ以上に荷物を積まないでください。後方の確認ができなくなったり、ブレーキを踏んだとき荷物が移動し思わぬ事故につながる可能性があります。



- 重い荷物は、できるだけ前の方に積んでください。
- 荷くずれしないようにしっかりと固定してください。
- トラックの荷台に燃料の入った容器を積むときは、必ず荷台カバーや受け皿などを準備してください。

### インパネの上に物を置かないで

- インストルメントパネルの上に物を置いたまま走行しないでください。運転者の視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いて安全運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 換気に気をつけて

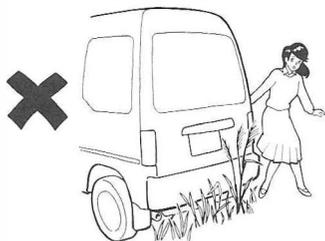
車庫などの中でエンジンをかけたままにしないでください。換気が不十分になり、排気ガスにより一酸化炭素中毒をおこすおそれがあります。



2717

### 車の後ろに気をつけて

- 子供や障害物など、車のまわりの安全を十分確認してください。
- 燃えやすい物があると、排気管や排気ガスの熱により火災になるおそれがあります。



2716

### こんなときは、スバルの販売店で点検を受けて

次の場合は車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあります。スバルの販売店で点検を受けてください。

- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ハンドル操作に異常を感じたとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

### 燃料には無鉛ガソリンを

有鉛ガソリンを使うと触媒を劣化させます。また、粗悪なガソリンや不適切な燃料添加剤はエンジンの各部に悪影響を与えますので使用しないでください。

## ドアの開閉に注意して

開閉、施錠は必ずおとなが行ってください。  
お子さまの手や足をはさまないように注意してください。



2731

## 窓やサンルーフから顔や手を ださないで

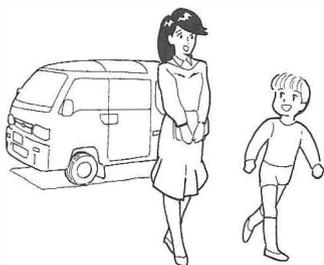
車外のものなどに当たったり、急ブレーキ時に思わぬけがをするおそれがあり危険です。



4656

## 車からはなれるときはご一緒に

- いざずらにより思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内は高温となり熱射病などにつながるおそれがあります。



2732

## パワーウィンドウに注意して

- パワーウィンドウが閉まる時には大きな力が働きます。はさまれると危険ですので、閉める前に窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- はさまれると危険ですので小さなお子さまには開閉操作をさせないでください。
- お子さまをのせるときにはロックスイッチをロックにしておいてください。お子さまがウィンドウスイッチをいたずらして手や首をはさむことを防止します

☆ 118 ページの「オートマチック車の正しい運転のしかた」も併せてお読みください。

## クリープ現象があります

エンジンが回っているとき、セレクトレバーをP、N以外の位置にするとアクセルペダルを踏まなくても、ゆっくりと車が動き出す現象をいいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルを踏み、必要に応じてハンドブレーキを引いてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時などは、自動的にエンジン回転数が上がり(アイドルアップ)、クリープ現象が強くなる場合がありますのでブレーキペダルをしっかり踏んでください。



## 強い加速を必要とするときキックダウンができます

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと自動的に低速ギヤに切り替わります。

これを「キックダウン」といい、強い加速力を必要とするときに使用してください。

## ブレーキペダルは右足で

- エンジンをかける前にペダルの位置を確認してください。ペダルの踏みまちがいは思わぬ事故につながります。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。慣れない左足でのブレーキ操作は緊急時の反応があくることがあり危険です。



4715

## セレクトレバーの操作は確実に

- 発進時にはアクセルペダルを踏まないでブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 後退した後は、すぐRからNに戻す習慣をつけてください。



重要

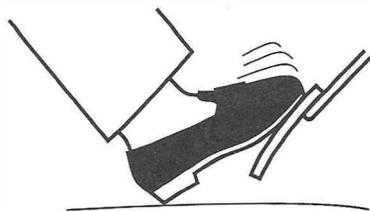
### セレクトレバー位置は目で確認を

エンジンをかけるときはP、前進するとき  
はD(後退はR)の位置にあることを目で確  
認してください。



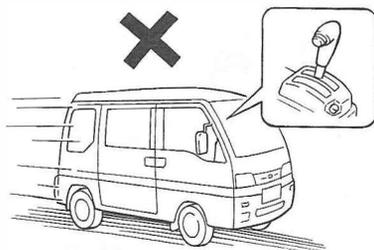
### アクセルペダルの踏み込みは ゆっくりと

アクセルペダルを急激に踏み込むと急発進  
して思わぬ事故につながるおそれがありま  
す。



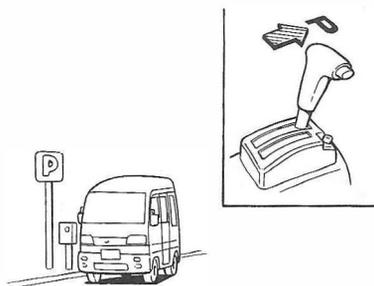
### 走行中はセレクトレバーをN にしないで

エンジンブレーキがまったく効かなくなり  
思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 駐車するときはPにして

セレクトレバーがD、2、1、Rに入ってい  
ると、クリーブ現象で車が動きだしたり、  
乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏  
むと急発進して思わぬ事故につながるおそ  
れがあります。





重要

### 停車中は空吹かしをしないで

セレクトレバーがP, N以外に入っていると急発進の原因となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 車から離れるときはエンジンを止めて

クリープ現象で車がひとりでに動いたり、乗り込むとき誤って急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。



### シフトロックシステムがついています

- よく理解して正しい操作をしてください。
- ①Pからのレバー操作は、エンジンスイッチがONでブレーキペダルを踏んだ状態でなければできません。
    - セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むとレバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、レバー操作をしてください。
  - ②P以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。
    - エンジンスイッチからキーを抜くときはセレクトレバーをPにしてください。(P以外ではキーをACCからLOCKに回せません)
  - ③Rに入れるとブザーが鳴ります。
    - ブザーが鳴り、Rであることを運転者に知らせます。
    - 車外の人には音は聞こえませんがご注意ください。



重要

## Pからレバー操作ができないとき

エンジンスイッチがONでブレーキペダルを踏んだ状態でも操作できないときは、ブレーキペダルを踏んだままシフトロック解除ボタンを押しながらレバー操作をします。

シフトロックシステムの故障が考えられますので、ただちにスバルの販売店で点検を受けてください。

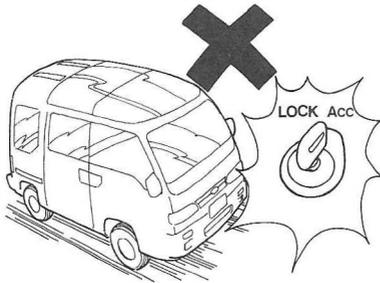


# 走行するときには



## 走行中はエンジンスイッチを切らないで

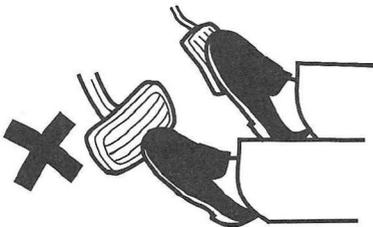
- エンジンを止めると倍力装置が効かなくなりブレーキの効が悪くなったり、また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 「LOCK」位置ではキーが抜けることがあり、万一、キーが抜けるとハンドルがロックしてハンドルが切れなくなり、重大な事故につながる可能性があります。
- 触媒が焼損することがあります。



3684

## ペダルに足をのせたまま運転しない

ブレーキペダルやクラッチペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキやクラッチの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効が悪くなるおそれがあります。



## 洗車後や水たまりを走行したあとはブレーキの効き確認を

効が悪い場合は前後の車に十分注意して低速で走行しながら効きが回復するまで、ブレーキペダルを数回踏んで乾かしてください。



## ぬれた路面や滑りやすい路面での走行は慎重に

とくに雨の降り始めは注意してください。また、急ブレーキ、急ハンドルなどやエンジン回転が急上昇するようなシフトダウンは避けてください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

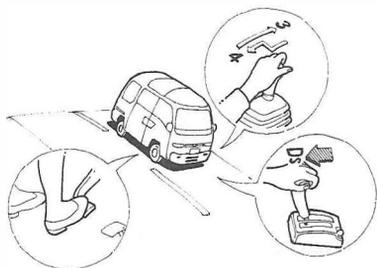




重要

## 下り坂ではエンジンブレーキの併用を

ブレーキペダルを踏み続けると過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。シフトダウンしてエンジンブレーキを併用してください。



2725

## エンジンブレーキとは

走行中にアクセルペダルを戻したときに起こるブレーキ効果のことをいいます。低速ギヤに入れるほどよく効きますが、タコメーターのレッドゾーンに入らないようにしてください。

## シフトダウンとは

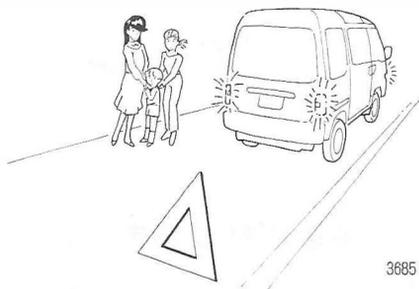
マニュアル車では5→4、4→3、3→2のように低速ギヤへ変速すること。オートマチック車ではセレクトレバーをD→2、2→1にすると低速ギヤに切り替わります。

## 走行中異常があったら

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、処置をしてください。そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行直後にチェックするときは、高温部（排気管など）に触れないでください。やけどをすることがあります。

## ☆69ページ（警告灯）



3685

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずにハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
- 床下に衝撃を受けたときは安全な場所にただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料のもれ、各部に損傷がないかを確認してください。損傷がある場合は、スバルの販売店に連絡してください。



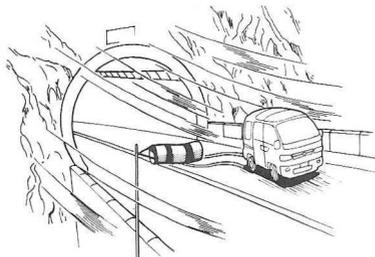


重要

## 横風に注意して

ハンドルをしっかり握り、安全な速度で運転しましょう。

走行速度が早すぎると、ハンドルをしっかり握っていても不意の突風で車の進路が乱され、事故の原因になるおそれがあります。



2729

## 高速道路に入る前には

- 燃料は十分補給してください。高速道路上での燃料切れは危険です。
- タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足の状態では高速走行するとパースト（破裂）するおそれがあり大変危険です。
- 万一のために停止表示板（停止表示灯）を車に備えておいてください。停止表示板（停止表示灯）の設置は法律で義務づけられています。（別売り）

## 電動パワーステアリングについて

走行中、車速45km/h付近でステアリングコラムよりカチツ音が発生する場合がありますが、これは車速によりクラッチでパワーステアリングの作動・停止を行うときに生ずる音で正常です。

## 燃えやすいものの上は走らないで

排気管や排気ガスの熱により着火することがあります。



2727

## こんなことにも注意してください

- 急発進、急ブレーキは避けてください。
- スタック（立ち往生）したときなどタイヤを高速で回転させないでください。タイヤがパースト（破裂）したり、異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車間距離は十分とってください。

## 適切なエンジン回転数で運転を

変速位置	速度範囲	
	スーパーチャージャー車以外	スーパーチャージャー車
1 速	0～20km/h	0～20km/h
2 速	10～35km/h	10～40km/h
3 速	20～55km/h	20～60km/h
4 速	30km/h～	30km/h～
5 速	40km/h～	40km/h～

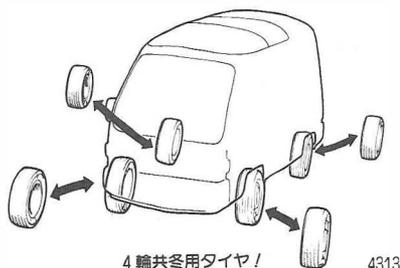
オートマチック車では0から最高速度まで自動的に変速します。

タコメーター無し車は、各変速位置の上限速度を超えないよう運転してください。

## 四輪とも冬用タイヤで

スタッドレスタイヤ（同一サイズ、同一銘柄）を装着してください。

一般タイヤでは、雪道、凍結路でスリップしやすく、危険です。



## タイヤチェーンは非常のときのみ指定チェーンを後輪に

- 雪道走行が予想される場合、スタッドレスタイヤを用意してください。
- タイヤチェーンは前輪に取り付けしないでください。

### ☆172ページ（タイヤチェーン）

- タイヤチェーンを取り付けると、前後のバランスが変わるため、前輪がすべりやすくなります。安全な速度で慎重に運転してください。

前輪がすべり出すと、ハンドルで車の進路をコントロールすることがむずかしくなります。

また、滑りやすい路面で急発進、急ブレーキ、急ハンドルを行うと、スタッドレスタイヤを装着していてもタイヤのグリップ力が失われ、車の進路をコントロールできなくなる場合があります。

**30km/h以下で走行し、急発進、急ブレーキ、急ハンドルなどを避けてください。**



# 駐・停車するときには



## 燃えやすいものの近くに止めないで

枯れ草、紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、車を止めないでください。排気管や排気ガスの熱により着火することがあります。

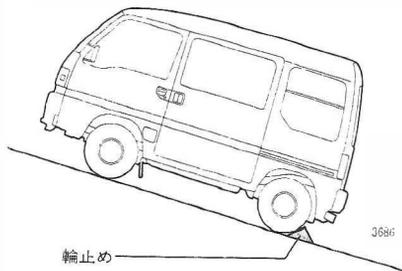
車の後ろに木材、ベニヤ板など燃えやすいものがあるときは、30cm以上はなして止めてください。すき間が少ないと排出ガスにより変色や変形を起こしたり、着火することがあります。

## 坂道に駐車するときは

無人で車が動きだすなど思わぬ事故につながるおそれがあります。安全のため次の処置をしてください。

- ①ハンドブレーキレバーをいっぱい引き、車が動き出さないことを確認します。
- ②チェンジレバーを1かR（オートマチック車はP）に入れます。  
下り坂：R  
登り坂：1
- ③輪止め（石やタイヤストッパ）をします。

なお、急坂での駐車は避けてください。



## 車から離れるときにはハンドブレーキをかけ、エンジンを切り、必ず施錠を

車が動き出したり、車両盗難、貴重品盗難のおそれがあります。



4721

## いきなりドアをあけないで

ドアをあけるときは、周囲の安全を確認してください。

後ろから車、オートバイ、自転車などが来ている場合があり思わぬ事故につながるおそれがあります。





重要

### 仮眠するときは必ずエンジンを切って

仮眠中に無意識にアクセルペダルを踏み続けたり、チェンジレバー、セレクトレバーを動かしたりして思わぬ事故やオーバーヒート、火災につながるおそれがあり危険です。また、風通しのよくない場所では一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



4722

### 車の移動はエンジンをかけて

必ずエンジンをかけて移動してください。エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、ブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

### エンジンルームファンがついています (スーパーチャージャー車)

エンジンルームの温度が高い状態では、エンジンを停止しても作動し続けます。エンジンルームが冷えると停止します。また、エンジン停止後でもエンジンルーム内の温度が上昇した場合は、ファンが自動的に回ることがあります。

# こんなことにも注意を



## ラジエーターが熱いときはキャップをはずさないで

ラジエーターやリザーブタンクが熱いときは、キャップをはずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出すおそれがあり危険です。



3746

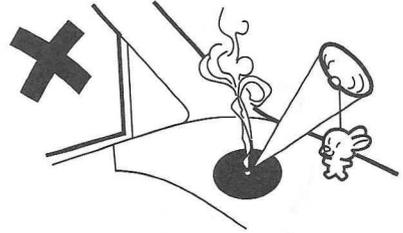
## 4WD車は万能車ではありません

滑りやすい路面、積雪路などではより安定した走行ができますが、急ブレーキ、急ハンドル時はあまり差がありません。安全な速度で走行してください。

☆123ページ（4WDの運転）

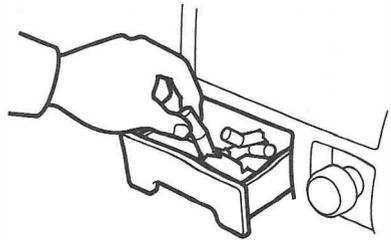
## アクセサリーの取り付けに注意

ウインドウにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 灰皿を使用したあとは

マッチ、タバコの火を確実に消し、必ず閉めておいてください。火災になるおそれがあります。

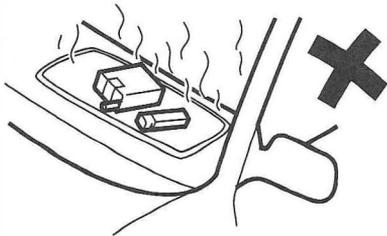




重要

### 車内にガライターを放置しないで

炎天下で駐車するときは車内にライターを放置しないでください。車室内が高温になるためライターが爆発するおそれがあります。



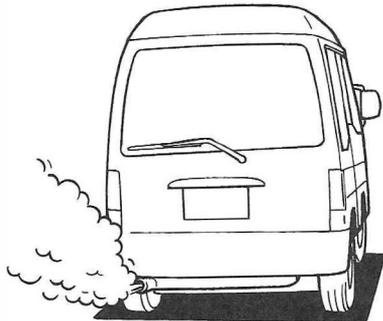
### 走行中は携帯電話を使わないで

携帯電話や自動車電話を運転者は走行中に使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



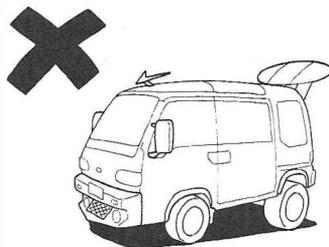
### 排気管をときどき点検して

- 排気管の腐食などによる穴や亀裂および継ぎ手部の損傷、また、排気管の異常などに気づいた場合は、必ずスバルの販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- リヤゲートが閉まっていることを確認してください。開けたまま走行すると排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



### 違法改造は絶対にしないで

- 車の性能や機能に適さない部品を取りつけたり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。火災など思わぬ事故につながる可能性があります。
- スバルが運輸省に届け出をした部品以外のものを取りつけると違法改造になることがあります。スバルの販売店にご相談ください。(タイヤ、ホイールなど)



3688



重要

### 電装品、無線機をつけるときには

取り付け、取り扱いを誤ると、電子制御系統に異常が起こることがあります。  
スバルの販売店にご相談ください。



3689

### 純正部品をお奨めします



GENUINE PARTS  
**SUBARU®**

0045

オイル、冷却水、オイルフィルター、タイヤチェーンなどの部品は、スバル純正部品を使用してください。純正部品は、スバル車に合うよう厳しい検査を実施して作られています。





# ドアなどの開け閉め

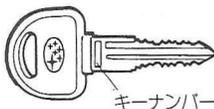
キー	28
ドア（開け閉めの操作方法）	28
スライドドアのウィンドウ	31
パワーウィンドウ	31
燃料補給口	33
リヤゲート	34
・ディアス、バン	34
・パネルバン	35
トラックのゲート	36
トラップドア	37
エンジンフード	38
・トラック、パネルバン	38
・ディアス、バン	38

## キー

〈ティアス〉



〈トラック、バン〉



1525

大切なお車を車両盗難からお守りするためお客様のキー以外ではドアの解錠ができない構造になっています。

キーの紛失や閉じ込めには十分注意してください。

### アドバイス

#### キーナンバーはメモを

万一の場合に備えてキーナンバーはメモしておいてください。

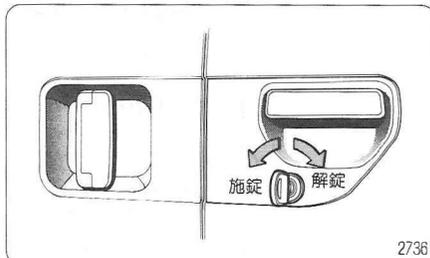
キーを注文するときにはスバルの販売店に相談してください。

キーナンバー

## ドア

### 開け・閉めの操作方法

#### ■車外からキーによる施錠・解錠



キーを確実に差し込み、車の後側に回すと施錠され、前側に回すと解錠されます。

### アドバイス

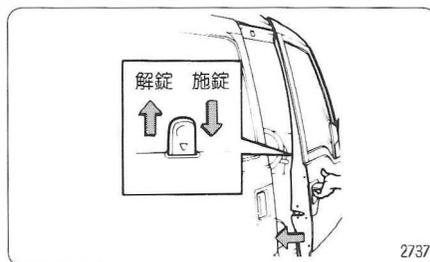
車外から施錠・解錠できるのはフロントドアだけです。リアドアはセフティノブで施錠・解錠してください。

#### ■集中ドアロック

運転席ドアを施錠・解錠すると全てのドアも同時に作動します。リヤゲートも同時に作動します。

#### ■キーを使わないで車外から施錠するには

##### ●フロントドア

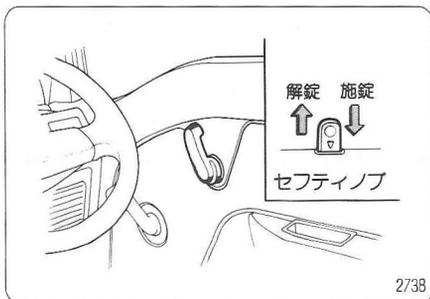


- ①セフティノブをロック側にします。
- ②アウターハンドルを引き上げたまま
- ③ドアを閉めます。

## ●スライドドア

セフティノブを施錠状態にしてドアを閉めます。

## ■車内からの施錠



セフティノブを押し下げます。

### アドバイス

## 集中ドアロック付車では

ドアが施錠されていても運転席のセフティノブを引き上げると、全てのドアが解錠されます。

## ■キーを抜き忘れるとブザーが鳴ります

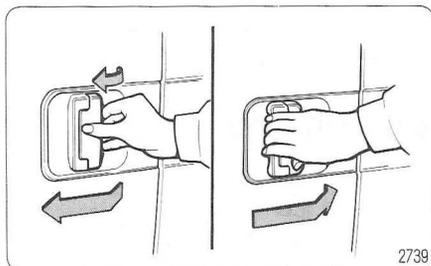
——キー抜き忘れ警報——

キーの抜き忘れを防止するための装置です。

キーを差し込んだまま運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

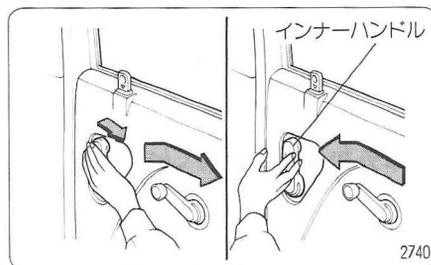
## ■スライドドアの開閉 (ディアス、バン)

### ●車外からは



- 開けるときは、セフティノブを解錠にしてアウターハンドルを引き、後にスライドさせます。
- 閉めるときは、アウターハンドルを持ち、完全に閉まるまで前にスライドさせます。

### ●室内からは



- 開けるときは、インナーハンドルを引いたまま後ろにスライドさせます。
- 閉めるときは、インナーハンドルを押し、完全に閉まるまで前にスライドさせます。

## ■スライドドアの開閉 (パネルバン)

### ●車外からの施錠、解錠

キーを確実に差し込んで前に回すと解錠され、後ろに回すと施錠されます。

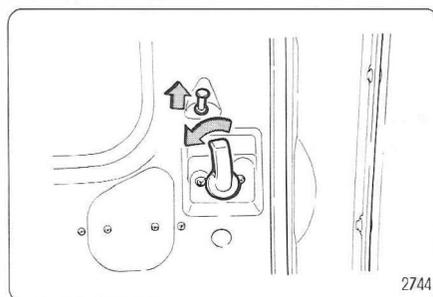
### ●車外からの開閉



●開けるときは、解錠してアウターハンドルを引き、後ろにスライドさせます。

●閉めるときは、アウターハンドルを持ち、完全に閉まるまで前にスライドさせます。

### ●車外から施錠されているとき



荷室内にとじ込まれたときなどは、荷室側のセフティノブを引き上げてインナーハンドルを矢印方向に引くと解錠され、そのまま後ろにスライドさせれば開けることができます。

## ⚠注意

### ドアを開閉するときには

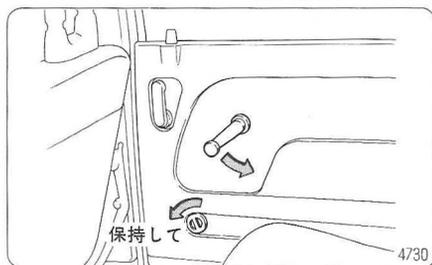
- ドアを開けるときは周囲の安全を十分に確認してください。不用意に開けると後続車、自転車、オートバイなどにぶつかることがあります危険です。
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは走行中に開くことがあります危険です。

## アドバイス

### 車から離れるときは

- ドアを施錠する前にキーを持っていることを確認してください。
- 貴重品は車内に置いたままにしないでください。

## スライドドアのウィンドウ



ロック解錠ノブを矢印方向に回して保持しながらレギュレーターハンドルを回すと全開になります。

### アドバイス

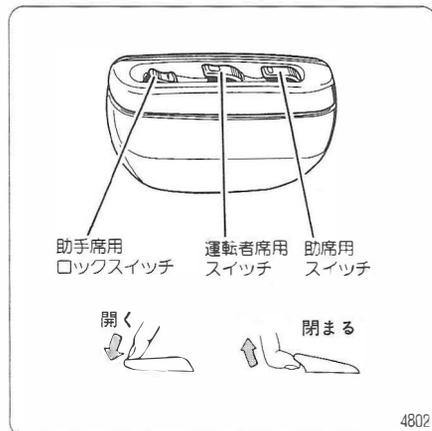
#### ウィンドウを開けるとき

ノブが回せないときは、ウィンドウを一度少し開めて（レギュレーターハンドルを半分位逆に回す）からノブを回してください。

## パワーウィンドウ

パワーウィンドウはエンジンスイッチが“ON”のとき使用できます。

### ■運転席スイッチ



#### ●運転席ウィンドウの操作方法

- スイッチを軽く操作している間作動します。
- 「カチツ」と音がするまで操作すると、手を放しても全開または全閉まで作動します。
- 途中で止めるときは、逆方向に軽く操作します。

#### ●助手席ウィンドウの操作方法

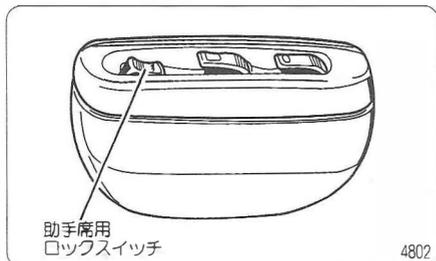
スイッチを操作している間作動します。

## ⚠ 警告

### 開閉するときには

- パワーウィンドウが閉まるときには大きな力が働きます。はさまれると危険ですので閉める前に窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- はさまれると危険ですので、小さなお子様には操作させないでください。
- お子様を乗せるときには、ロックスイッチをロックしておいてください。お子様がウィンドウスイッチをいたずらして手や首をはさむことを防止します。

### ● ロックスイッチの操作方法



ロックスイッチの前側を押すと助手席のウィンドウは開閉できなくなります。  
手前側を押すとロックが解除されます。

### ■ 助手席スイッチ



助手席のウィンドウガラスを開閉します。  
スイッチを操作している間下降し、手を放した位置で停止します。  
引き上げると上昇します。

## 燃料補給口

### 警告

#### 燃料補給のとき

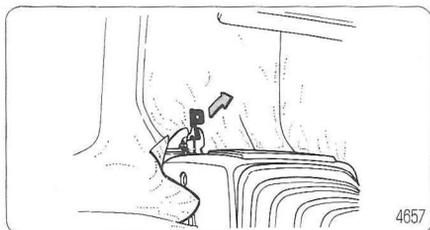
ガソリンは非常に着火しやすいため、燃料補給時は火気厳禁です。

また、エンジンは必ず止めてください。

タバコなど一切の火気は厳禁です。

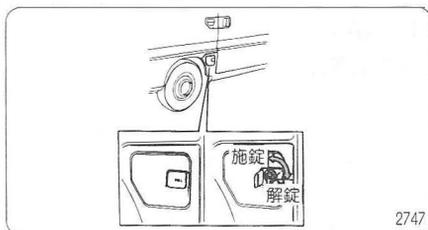
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れて火災につながるおそれがあります。

### ■フューエルリッドの開閉（オープナーレバー付）



- 開けるときは、運転席左下（チェンジレバー取り付け部左下）にあるフューエルリッドオープナーレバーを引き上げます。
- 閉めるときは、そのまま閉めます。

### ■フューエルリッドの開閉（キー開閉式）



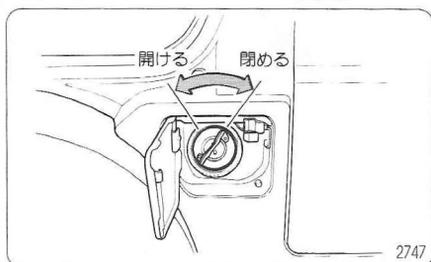
#### ●開けるとき

- ① キーロックのキャップを手前に引いて開けます。（STDスペシャルはキャップなし）
- ② キーを確実に差し込んで後ろに回し、解錠します。
- ③ そのまま手前に引いてフューエルリッドを開けます。

#### ●閉めるとき

- ① フューエルリッドを確実に閉じ、キーを元に戻して施錠します。
- ② キーを抜いてキャップを確実に閉めます。

### ■フューエルキャップの開閉



- 開けるときは、ゆっくりと左に回して燃料タンク内の圧力を下げてからはずします。
- 閉めるときは、右に回して確実に閉めます。

## リヤゲート

### ディアス、バン

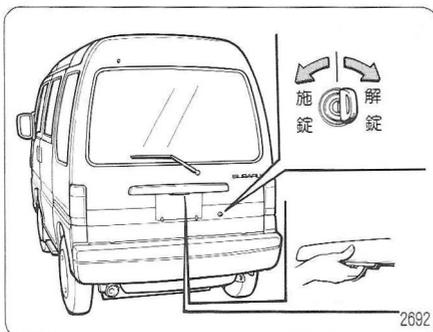
#### ■施錠・解錠

##### ●施錠前に

半ドアでないことを確かめます。

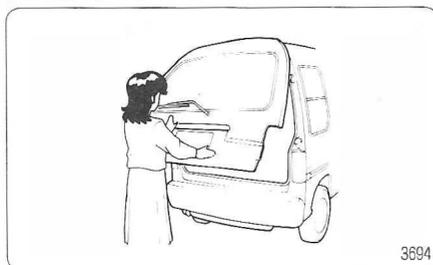
キーを確実に差し込んで右に回すと解錠、左に回すと施錠されます。

#### ■開けるとき



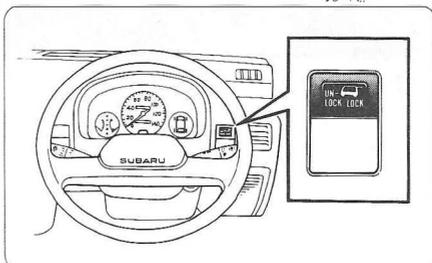
アウターハンドルを引いてリヤゲートをゆっくりといっぱい上まで持ち上げます。

#### ■閉めるとき



リヤゲートをゆっくり下げて、上から手で押えつけるように閉めます。

#### ■電気式バックドアロック



スイッチのUN LOCK側を押すと解錠、LOCK側を押すと施錠します。

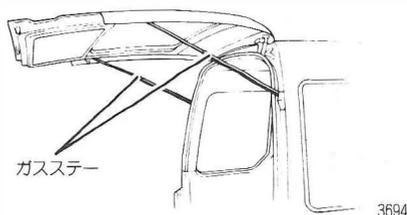
### ⚠警告

#### 走行するときは

走行中はリヤゲートを完全に閉めてください。走行中に開くと荷物が落ちることがあります。また、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

#### 閉めるときは

- 荷物や手足（子供含む）をはさまないように注意してください。
- リヤゲートを閉めるときはステーを持って閉めないでください。故障の原因になったり、手をはさんだりして危険です。



## アドバイス

### 集中ドアロックを使用すると

リヤゲートも同時に施錠・解錠されます。

### ☆28ページ（集中ドアロック）

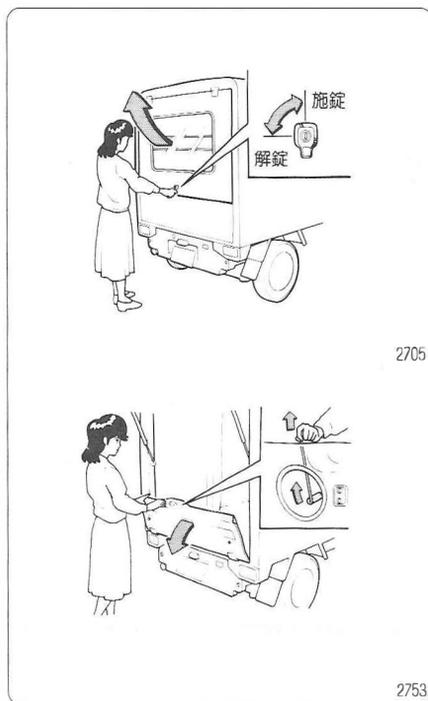
### リヤゲートを開閉するとき

- ロックされていることを確認してください。
- キャリアなどに積んだ荷物に当たらないように気をつけてください。

## リヤゲート

### パネルバン

#### ■施錠・解錠



キーを確実に差し込んで図のように回し、その位置で抜きます。

#### ■開閉

##### ●開けるとき

- ①キーを使って解錠します。
- ②上側ゲートのプッシュボタンを押し、上側ゲートをゆっくり、いっぱいまで引き上げます。
- ③下側ゲートのインナーハンドルを引き上げてロックをはずし、下側ゲートを持って静かに降します。

## ●閉めるとき

- ①下側ゲートを持ち上げ、押しつけて確実にロックします。
- ②上側ゲートをゆっくり下げて、上から手で押えつけるように確実に閉めます。
- ③キーを使って施錠します。



注意

## 走行するときは

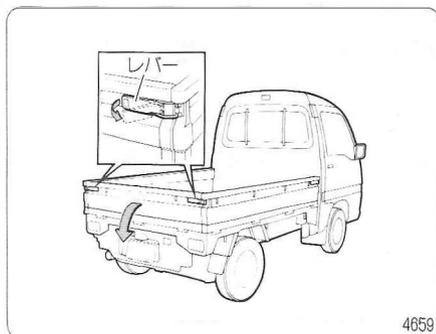
走行中はリヤゲートを完全に閉めてください。走行中に開くと荷物が落ちることがあります。

## 開閉するときは

- 必ず、キーを抜いて開閉してください。キーを差し込んだままリヤゲートを開閉すると、キーホルダーなどで塗装面が傷つき、錆発生の原因になります。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするときは、排気管の後方に立たないでください。足元を汚すことがあります。

## トラックのゲート

### ■ゲートの倒しかた



ゲートロックのレバーを引いてロックからはずし、ゲートを持って静かに倒します。

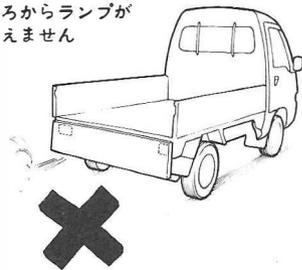


注意

## ゲートを倒すとき

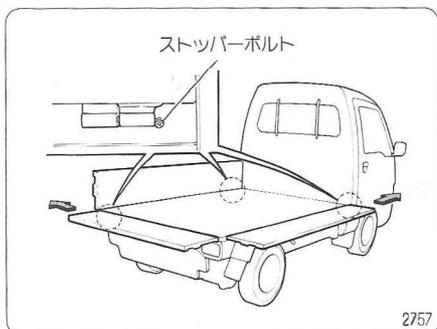
- 開けるとき、エンジンフードに当てないようにゲートを持って静かに倒してください。ゲートやエンジンフードを傷つけることがあります。
- ゲートを倒したまま走行しないでください。ゲートがバタついたり、尾灯、制動灯が後方から見えないので追突されることがあります。

後ろからランプが見えません



3021

## ■ゲートの脱着



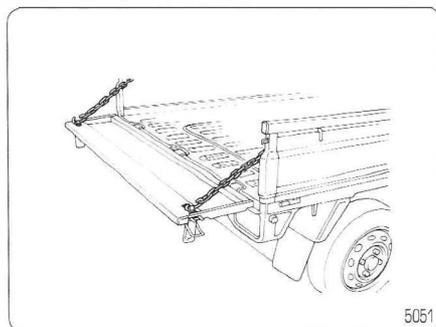
### ●取り外すとき

- ①ストッパーボルトをはずします。
- ②ゲートを開いて水平にしっかり持ち、矢印方向にずらしてはずします。

### ●取り付けるとき

- ①リヤゲートは右端、サイドゲートは前から2番目のヒンジピンが他より長くなっています。これをガイドにして確実に差し込みます。
- ②ゲートを閉め、ストッパーボルトを取りつけます。

## ■ゲートチェーン (JA、赤帽のみ)

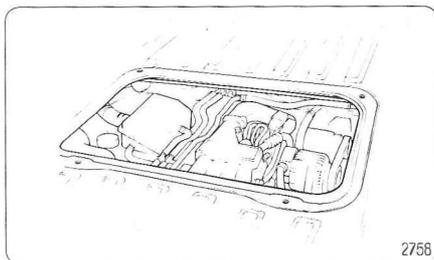


リヤゲートを水平に保ちます。  
はずすこともできます。

## トランプドア

エンジン上部の点検・整備をするときなどに開けます。

### ■開けるとき



4本のスクリユをはずして取り外します。  
ディアス、バンでは荷物室のマットをめくっておきます。

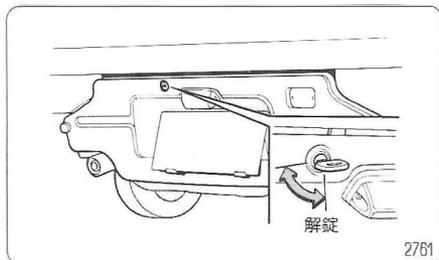
### ■閉めるとき

4か所のネジ穴を合わせてから4本のスクリユを確実に締め付けます。

## エンジンフード

エンジン後部の点検・整備をするときなどに開けます。

### ■トラック、パネルバン



#### ●開けるとき

キーを確実に差し込み、エンジンフードを押しながら解錠位置まで回し、エンジンフードを手前に引きます。

#### ●閉めるとき

エンジンフードを確実に閉め、エンジンフードを押しながらキーを施錠位置まで回し、抜きます。

#### ●開けるとき

- ①リヤゲートを開けます。
- ②図のレバーを左に押すと少し開きます。
- ③リヤバンパーの右側を少し(約1cm)持ち上げ、両手で持って回転させます。

#### ●閉めるとき

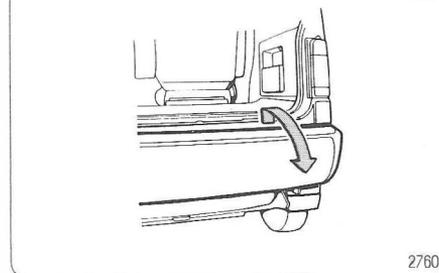
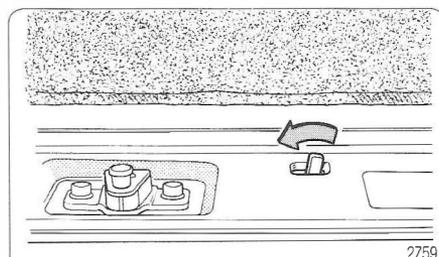
リヤバンパーを両手で持って回転させ、押しつけるとロックされます。



#### 開閉するとき

- 触れるときは、やけどをしないように手袋をはめてください。排気管が近いので、走行直後や停車中にエンジンをかけていると、下面が熱くなっていることがあります。
- 確実にロックされていることを確認後、走行してください。

### ■ディアス、バン







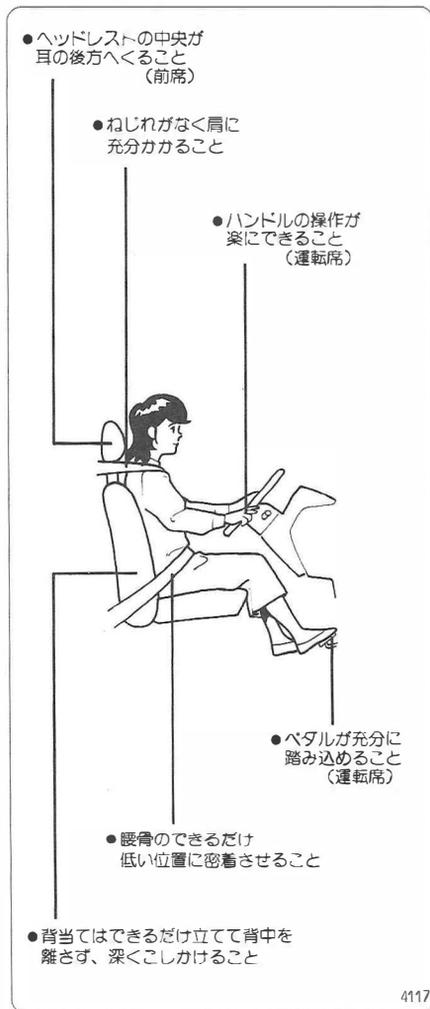
# シート、シートベルト、ミラーの調節

正しい運転姿勢とシートベルト	42
フロントシート	44
回転シート	46
リヤシート（ディアス）	48
リヤシート（2シートを除くバン）	51
フロントシートベルト	52
ルームミラー	53
アウターミラー	54

## 正しい運転(乗車)姿勢とシートベルト

無理のない、正しい運転(乗車)姿勢が取れるようにシートを調節します。ミラーも調節します。

そして、シートベルトを正しく装着します。



### 警告

シートベルトの装着は、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと重大な傷害につながるおそれがあります。

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを装着してください。
- シートベルトは全て一人用です。二人以上で一本のベルトを使用しないでください。
- シートベルトはねじれたり、裏返しにならないように使用してください。ねじれたり、裏返しになっているとベルトの幅が狭くなったり、局部的に強い力を受けて万一のとき危険です。
- シートベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させて装着してください。柔らかい腹部にかけた場合は万一のとき強い圧迫を受け、危険です。
- 肩ベルトは脇の下をとおさずに確実に肩にかけてください。肩に十分かかっていないと上半身が拘束されず、十分な効果を発揮しません。
- シートベルトを洗濯ばさみやフリップなどでたるみをつけないでください。十分な効果を発揮しません。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたは、医師に相談の上、使用してください。万一の場合、腹部などに圧迫を受けることがあります。
- シートベルトのバックルに異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、十分な効果を発揮しません。

## ⚠ 警告

- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに十分支えることができずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 3点式シートベルトを着用したときベルトが首、あご、顔などに当るお子さまは万一のときにベルトによって負傷することを防ぐためスバル純正チャイルドシートを使用してください。  
(正しい姿勢の確保)  
なお、スバル純正チャイルドシートの使用方法は添付されている専用の取扱説明書を参照してください。
- シートベルトにほつれや切り傷ができたとき、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。また、装着した状態で万一事故に合った場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。そのまま使用すると正常に働かず、十分な効果を発揮しません。
- シートベルトの改造や取り外しなどはしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤や漂白剤はシートベルトを弱めるため絶対に使用しないでください。

## ⚠ 警告

シートなどの調節は、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートの調節は、運転を始める前にしてください。調節した後はシートを軽くゆすり「しっかり固定されていること」を確かめてください。不完全なままではシートが動いたり、シートベルトの機能が十分に働かないことがあります。
- 走行中は助手席も含めて背当てを必要以上に倒さないでください。万一のとき、シートベルト本来の機能が発揮されないことがあります。
- 背当てと背中間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢が取れないため、思わぬ事故につながる可能性があります。

## ⚠ 注意

- シートの調節は、必ず大人が行い、シートや動いている部分に手を近づけないでください。また、同乗者や荷物にも注意してください。はさまれたり、荷物をこわしたりすることがあります。

## アドバイス

炎天下に長時間駐車し、室内が高温になっている場合は、金属部分を持たずに、樹脂部分を持って着用してください。ベルトの金具が熱くなっている場合があります。

## フロントシート

### 調節方法

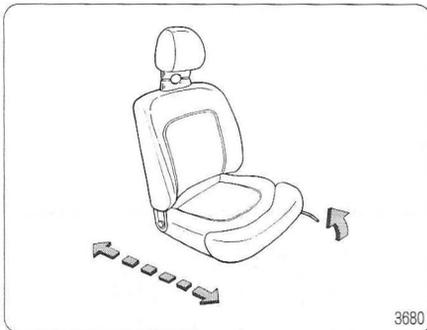
#### 警告

調節は、運転中に行わないでください。加速、減速でシートが動いてペダルに足が届かなくなったり、背当てが倒れてハンドルに手が届かなくなったりして重大な傷害につながるおそれがあります。

☆43ページの事項もお守りください。

#### 前後に調節するときには

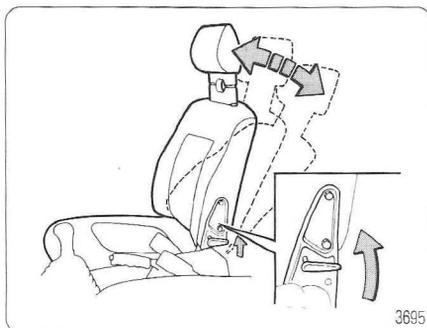
——スライド調節——



レバーを引き上げながら前後に動かして調節します。

#### 背当ての角度を調節するには

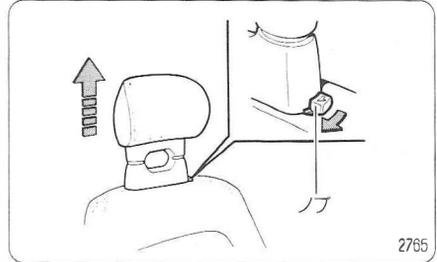
——リクライニング調節——



レバーを引きながら背当て角度を調節します。

#### ■ヘッドレストの脱着

##### ●取りはずすとき



ノブを矢印方向に押したまま静かに持ち上げます。

##### ●取りつけるとき

ヘッドレストの足と背当ての差込部を合わせ、静かに押し下げます。

#### 警告

##### 運転するときには

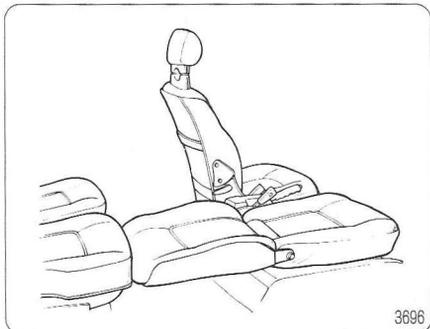
ヘッドレストを確実に取りつけてください。はずしたり、固定できる高さを越えての使用は、万一のとき頭や首を保護できず重大な傷害につながるおそれがあります。

#### 注意

##### 取りつけるとき

取りつけるとき、ヘッドレストの下に手を入れないでください。はさまれてけがをすることがあります。

## ■フラットシートにするとき



- ①ガードバーAを格納します。
- ②ヘッドレストを取りはずします。
- ③シートを最前位置まで移動させます。
- ④背当てを後ろに倒し、リヤシートとつなげます。

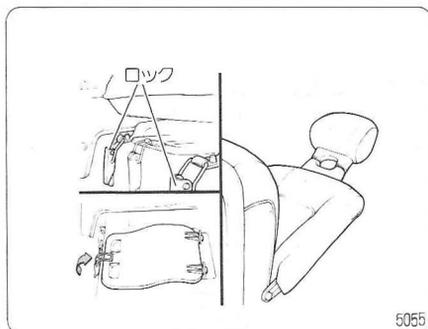
### 注意

- シートの上を移動するときは、不安定なので十分注意してください。
- フラット状態で走行しないでください。安全な場所に止めたときだけ使用してください。

## ■跳ね上げるには

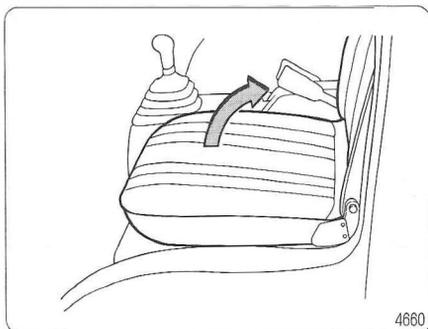
助手席シート床下のバッテリー、ラジエター、ウォッシュ液などを点検するときに使用します。

### ●ディアス



- ①リクライニングレバーを前に引き、背当てを前に倒します。
- ②クッション下側のロックを両方も解除します。
- ③シート全体を後ろに回転させます。

### ●トラック、パネルバン



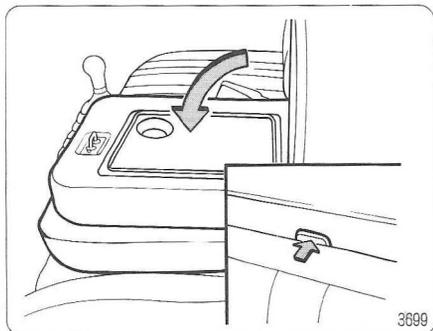
シートのクッションに手をかけて起こします。

### アドバイス

跳ね上げた床面に荷物をのせないでください。シートが倒れて荷物を破損したり、落下することがあります。

### ■背当てを前に倒すには (トラック、パネルバンのみ)

運転席後部のジャッキ、ジャッキハンドルと助手席後部のリヤトレーより物を出し入れするときは、背当てを前に倒します。



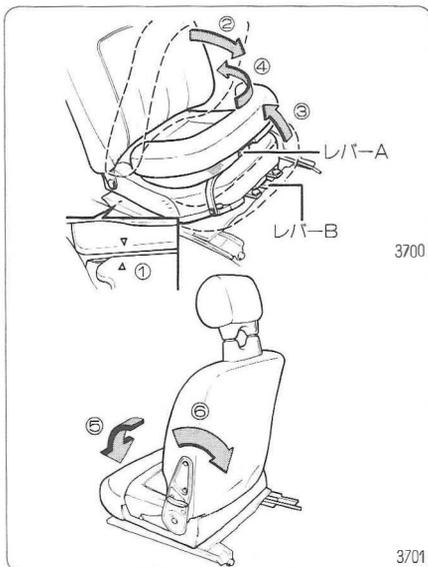
背当てを固定しているロックを解除して前に倒します。

### アドバイス

背当てを前に倒したとき、背当ての上には荷物をのせないでください。シートが変形します。

## 回転シート

### ■後向きにするには



必ず、運転席から先に後ろ向きにします。助手席から先には回転できません。

①スライド調節レバーを引き上げ、前後位置をマークに合わせます。

☆44ページ

②リクライニング調節レバーを引き、背当てを前に倒します。 ☆44ページ

③クッション前側のレバー-Aを押し、クッション前端部を斜め後方に持ち上げます。

④レバー-Bを押し下げたままシート全体を左回転方向に180度（ストッパーに当たるまで）回転させます。助手席では右回転で180度になります。

⑤クッション前端部を斜め前方（持ち上げたときと逆向き）に押し下げ、平らにします。

⑥背当てを起こします。

次に助手席も運転席と同様に回転させます。

## ■前向きに戻すとき



助手席から前向きに戻します。後ろ向きにするとときと同じ手順で操作し、前向きにします。

## ⚠警告

### 戻すとき

安全のため、運転席だけを戻して助手席を後ろ向きのまま残すことはできません。

助手席が単独で後向きになるのは、ロックが不完全な場合ですので操作をやり直してください。

助手席が後ろ向きの場合は、シートベルトが使用できず、背当てが視界を妨げるので、助手席が後向きの状態では走行しないでください。

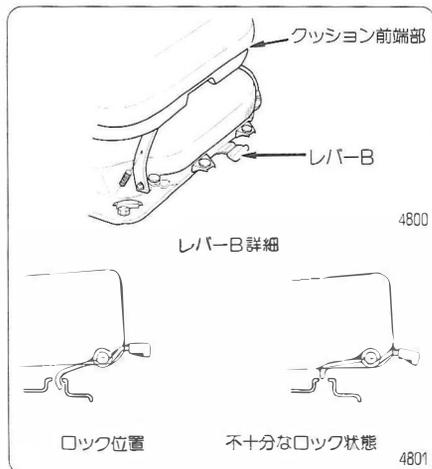
## ⚠注意

### 回転させるときは

- お子さまに操作させないでください。けがをするおそれがあります。
- ハンドブレーキレバーを確実に引き、フロントドアを開けて操作してください。
- 操作中、回転機構部分に手足を入れないでください。けがをするおそれがあります。

- 完全に後ろ向き、前向きになるように回転させ、確実に固定してください。

なお、安全のため助手席単独では回転できない構造になっています。



## リヤシート

### ディアス

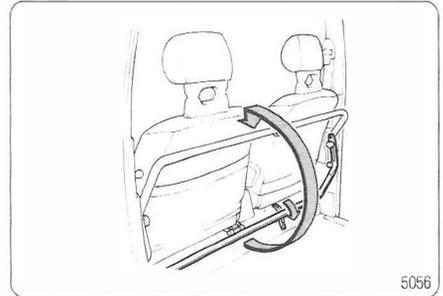
#### ⚠警告

- 安全のため背当てを倒した状態では走行しないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けることがあります。
- 走行中は、ガードバーAを正規の位置にして使用してください。急ブレーキをかけたときなどに荷物室の物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- リヤシートを折りたたんで荷物室として使用するときは、ガードバーAは正規位置にしてください。急ブレーキをかけたときの荷物の飛び出しを防止します。

#### ⚠注意

- アームレストの上にはのらないでください。また、アームレストを持つてのり込まないでください。アームレストが破損することがあります。
- Dias-Sにアームレストはついていません。

### ■ガードバーA



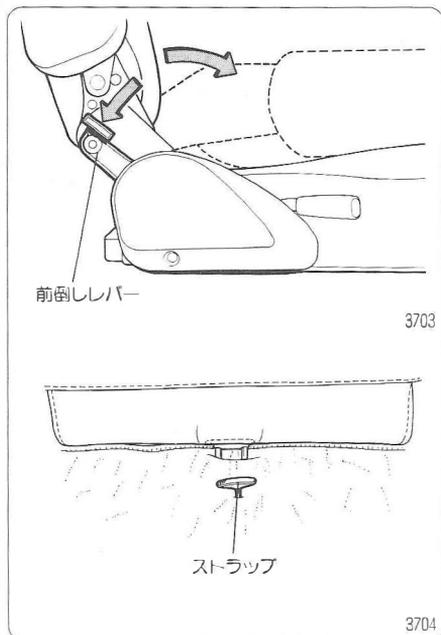
#### ●正規位置にするとき

- ①固定バンドをはずします。
- ②ガードバーAを上回転させ、押し下げてストッパーに確実にかけます。

#### ●格納するとき

- ①ガードバーAを引き上げてから下に回転させます。
- ②フロントシート後ろのフロアの上に置き、バンドで固定します。

## ■シートをたたむ (デッキを使用する)



右側シートから折りたたみます。左側シートから先に折りたたむことはできません。

①ガードバーAを正規位置にします。

②アームレストを起こします。

(DiasIIのみ)

③ピローを取りはずします。

④前倒しレバーを後ろに押しながら背当てを前に倒します。

⑤シート後ろのデッキ部にあるストラップを上へ引きながらシート全体を前に回転させて水平にします。

### アドバイス

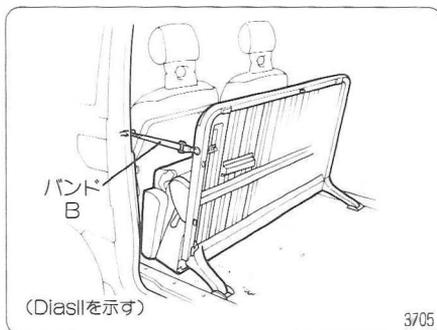
前に回転させるとき、フロントシートの背当てと干渉しないよう注意してください。

左側シートも同じ要領でたたみます。

## ●元に戻すとき

左側シートから先に逆の手順で元に戻します。

## ■デッキをたたむとき (フロアを使用する)



①ピローを取りはずします。

②前倒しレバーを後ろに押しながら背当てを前に倒します。

③デッキを固定しているバンドBをフックからはずし、デッキ全体を前に立てます。

④バンドBをボディのフックに確実にかけ、固定します。

### ⚠注意

危険防止のためデッキが後ろに倒れないことを必ず確認してください。

## ■ 背当てを倒すとき

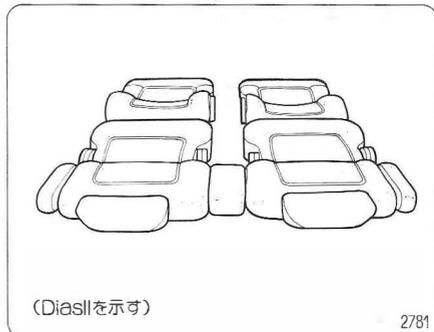


背当てを手で押したまま後倒しレバーを軽く引き上げ、背当てを倒します。

### アドバイス

背当ては中間では止まりません。固定するまで後ろに倒してください。

## ■ ソフトフラットにするとき



- ①ガードバーAを格納します。
- ②フロントシートをフラット状態にします。
- ③リヤシートの背当てを後ろに倒します。

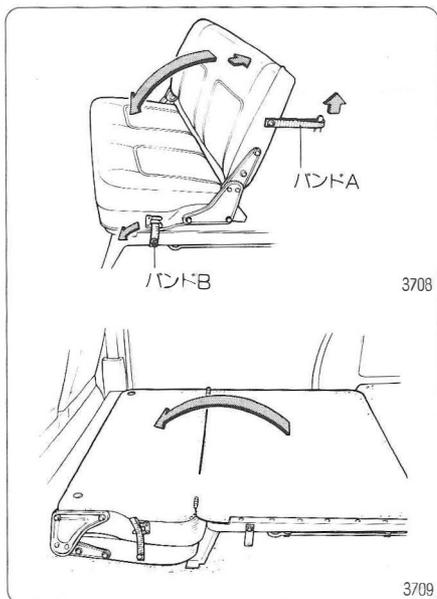
## ● 背当てを起こすとき

背当てに手をそえたまま、後倒しレバーを引き上げます。

# リヤシート

## 2シーターを除くバン

### ■シートをたたむ (デッキを使用する)

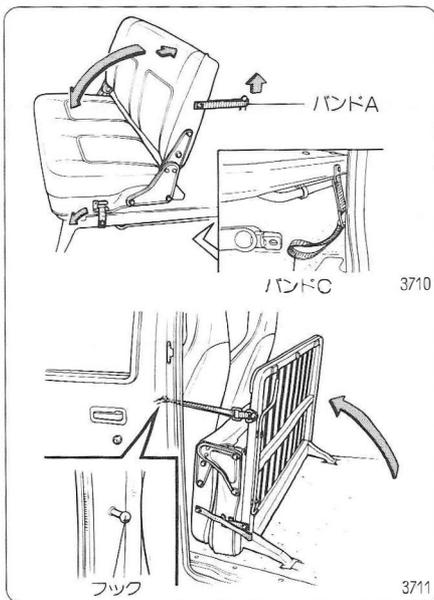


- ①バンドAをボディのフックからはずし、背当てを前に倒します。
- ②はずしたバンドAの中央の輪をクッション側面のフックにかけ、背当てとクッションを固定します。
- ③バンドBをクッション側面のフックからはずします。
- ④シート全体を前に回転させ、水平にします。

### アドバイス

- バンドAがはずしづらいときは、背当て上部を後ろに押しながらずします。
- 前に回転させるとき、フロントシートの背当てと干渉しないように注意してください。

### ■デッキをたたむ (フロアを使用する)



- ①バンドAをボディのフックからはずし、背当てを前に倒します。
- ②はずしたバンドAの中央の輪をクッション側面のフックにかけ、背当てとクッションを固定します。  
(バンドBはクッションのフックに固定したまま次の操作をします)

③ テッキを固定しているバンドBをボディのフックからはずし、テッキ全体を起します。

④ バンドCをボディのフックにかけ、固定します。

### ●元に戻すとき

だたむときの逆順序で元に戻します。

## ⚠注意

テッキ、背当て、クッションが固定されていることを確認後、走行してください。テッキが固定されていないと、テッキが倒れることがあります。

### アドバイス

- バンドAがはずれずらいときは、背当て上部を後ろに押しながらはずします。
- 各バンドは必ず所定のフックにかけてください。

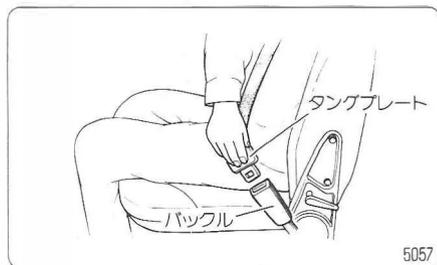
## フロントシートベルト

### ⚠警告

42ページの「正しい運転姿勢とシートベルト」の記載事項を必ずお守りください。お守りいただかないと重大な傷害につながるおそれがあります。

身体の動きに合わせて自由に巻き取り、引き出しができますが、強い衝撃を受けたときやベルトを急激に引き出そうとするとベルトが自動的にロックします。

### ■3点式シートベルトの着用のしかた



① ベルトを引き出します。

### アドバイス

#### ロックされ、引き出せないとき

ベルトをゆるめて、もう一度ゆつくりと引き出します。

- ② ねじれがないことを確認して「カチツ」と音がするまでタンクプレートをバックルに差し込みます。
- ③ 正しい姿勢で腰かけ、腰のベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。

## 警告

ベルトが腰骨の部分に密着するように、ベルトの長さを調節してください。たるませたり、腹部にかけると万一のときシートベルトの効果を得られず、重大な傷害につながるおそれがあります。

### ●シートベルト警告灯について



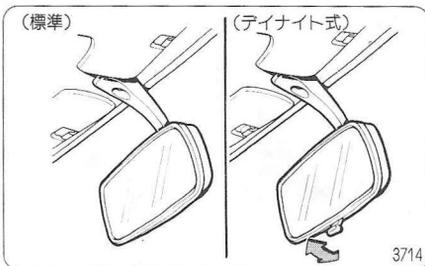
3252

エンジンスイッチがONのときメーター内の警告灯がつかます。運転席シートベルトを引き出してタンブレットをバックルに差し込むと消えます。

### ●はずすときは

バックルの「PRESS」ボタンを押すと、ベルトが自動的に巻き取られます。

## ルームミラー



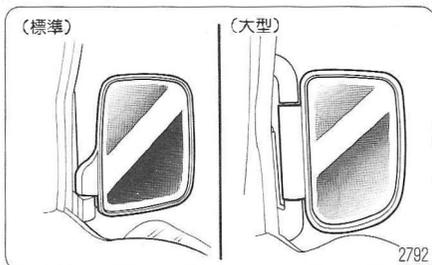
運転席に正しく座り、ミラー本体を動かして後方が十分確認できるように調整します。

■ダイナイトインナーミラー  フレートの  
夜間走行時、後続車のヘッドライトがまぶしいときは、レバーを引きます。

## 注意

調節は必ず走行前に行ってください。

## アウターミラー



可倒式ドアミラーが備えられています。  
走行する前に元に戻し、視界を確認してください。

### 注意

#### 調整は走行前に

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。

#### アドバイス

##### フェンダーミラーに比べて

- ミラーの張り出しが大きくなります。狭い所で走行するときは、とくに気をつけてください。
- 助手席側のミラーを見ると、目の移動量が大きくなります。前方不注意にならないよう気をつけてください。
- 目に近くなり、距離感覚が違います。



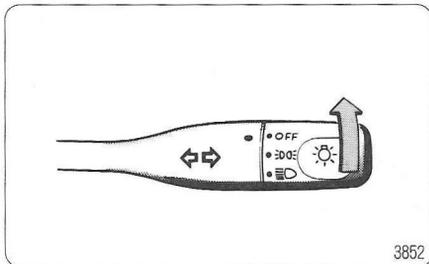


# スイッチの使いかた、メーターなどの見かた

スイッチの使いかた	58
ライティングスイッチ	58
方向指示レバー	59
ワイパーとウオツシャースイッチ	59
リヤウインドウデフォッガースイッチ	62
ハザードランプスイッチ（非常点滅灯）	63
作業灯スイッチ	63
メーター、表示灯、警告灯の見かた	64
メーター	67
表示灯	68
警告灯	69

# スイッチの使いかた

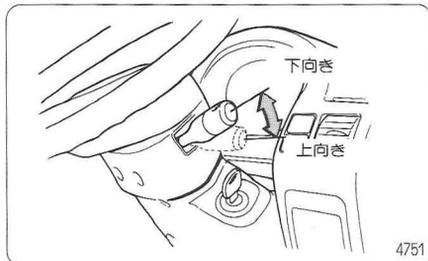
## ライティングスイッチ



エンジンスイッチがONのときスイッチを回すと、次のようにランプが点灯します。

スイッチの位置	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯、メーター照明
OFF		消灯
00	消灯	点灯
0D		点灯

### ■ヘッドランプの上下を切り替えるとき

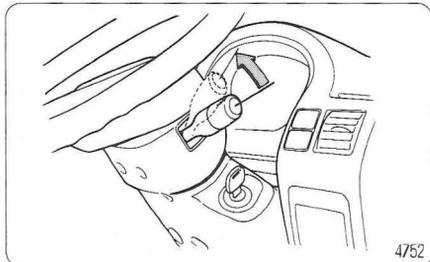


ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前に押しと上向きになります。元に戻すと下向きになります。

☆68ページ

(ビーム・パッシング表示灯)

### ■合図のしかたーパッシングー



レバーを手前に引いている間、ヘッドランプの上向きが点灯します。ライティングスイッチがOFFでも使用できます。

#### アドバイス

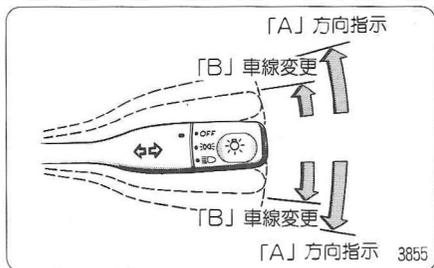
#### 点灯したままにしないで

エンジン停止時、ランプ類を長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こします。

#### ヘッドランプにさわらないで

ヘッドランプを長時間点灯させるとランプが熱くなり、手で触れるとやけどをすることがあります。

## 方向指示レバー



エンジンスイッチがONのとき、レバーを「A」の位置まで動かすと方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。ハンドルを戻すと自動的にレバーは戻りますが、戻らないときは手で戻してください。

☆68ページ（方向指示器表示灯）

アドバイス

### 車線変更の合図をするには

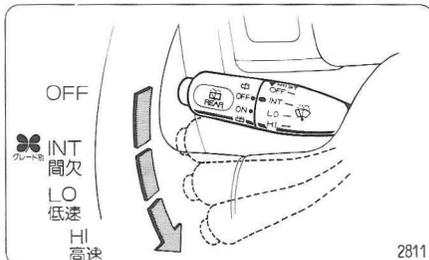
レバーを変更しようとする方向に軽く押えていると方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。

（B位置）

手をはなすと元の位置まで戻ります。

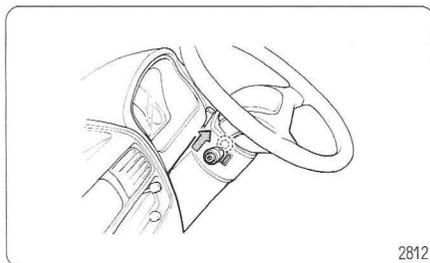
## ワイパーと ウォッシャースイッチ

### ■フロントワイパー



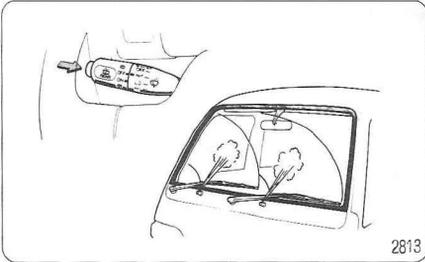
エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

●ワイパーを一回だけ使いたいときには（ミストスイッチ）



スイッチを手前に引いている間、ワイパーが動きます。

## ■フロントウォッシャー



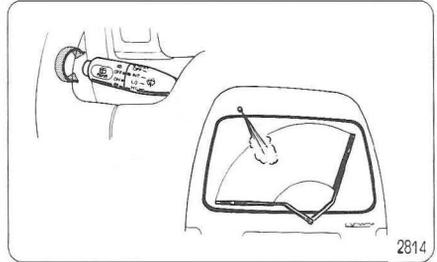
スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射します。

### アドバイス

**ワイパーが連動します** 

スイッチを押すとワイパーが1～2回動きます。

## ■リアワイパー・ウォッシャー



エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。



ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが動きます。手を放すとOFFに戻ります。

OFF

停止

ON

連続で作動

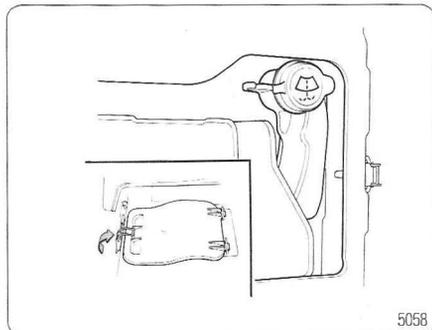


ウォッシャー液が噴射します。手を放すとONに戻ります。

## ■ウォッシャータンク

運転前に量を点検してください。

### ●フロント

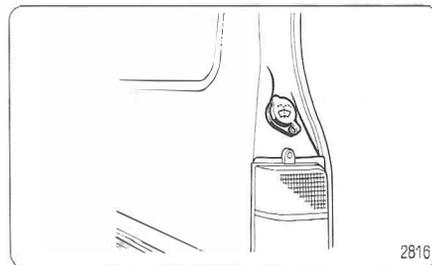


助手席シートの床下にあります。補給するときは、助手席シートのクッションを跳ね上げて点検窓のフタをはずします。

注入口のキャップをはずして補給します。

☆45ページ（跳ね上げるには）

### ●リヤ（ディアス、バン）



ウォッシャータンク注入口は、リヤゲートを開けた左側リヤコンビネーションランプの上にあります。

注入口キャップをはずし、口元まで補給します。

## ⚠注意

### 降雪時、寒冷時には

- ウィンドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。

☆77ページ

（フロントヒーターの使いかた）

- ウォッシャー液は外気温に合わせた濃度にしてください。濃度がうすいと液がタンク内で凍りつくことがあります。

## アドバイス

### ワイパー・ウォッシャーを使うときには

- ガラスが乾いているときにはワイパーを使わないでください。ガラスに傷をつけることがあります。また、ワイパーブレードに傷がつき、拭き残しの原因となります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを押し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルの詰まりを点検してください。
- 拭き残りができるときにはブレードのラバーを交換してください。

☆141ページ

（ブレードラバーの交換）

- ブレードのラバーは消耗品です。正常な性能を維持するためにも、おおむね1年で交換されることをお奨めします。ラバーのみを交換することもできます。

## 降雪時、寒冷時には

- 屋外に駐車するときにはワイパーを立てておいてください。ワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。
- ワイパーがフロントガラスに張りついたときには、デフロスターでガラスを暖めてください。

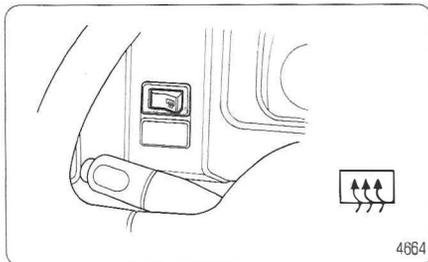
### ☆77ページ

#### (フロントヒーターの使いかた)

- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状態が続いたときなどにはブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。その場合には車を安全な場所に止めて、一度ワイパースイッチをOFFにし、10分ほどするとブレーカーが復帰して、通常使用できるようになります。

## リヤウインドウ デフォッガースイッチ

### リヤガラスの曇りを取ります



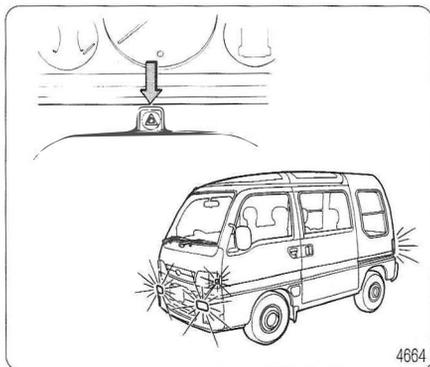
エンジンスイッチがONのとき使えます。作動中はメーター内に作動表示灯が点灯します。

#### アドバイス

- 消費電力が大きいので長時間使うことや雪を溶かすような使いかたは避けてください。
- ガラス内側の清掃は熱線を切らないよう、水を含ませたやわらかい布で熱線にそって軽く拭いてください。ガラスクリーナー、洗剤は使わないでください。

## ハザードランプスイッチ

### 非常点滅灯



やむをえず路上駐車するとき、他の車に自分の車の存在を知らせるために使います。スイッチを押すと全ての方向指示器が点滅します。エンジンスイッチに関係なく使えます。

#### アドバイス

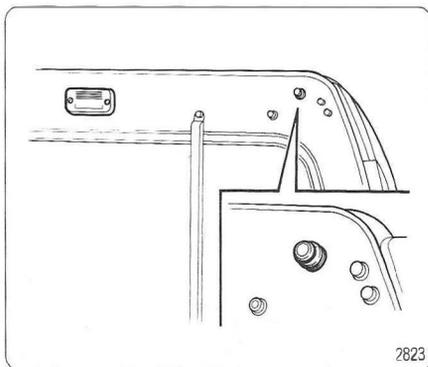
**非常のとき以外は使わないでください**

長時間、点滅したままにしないでください。

バッテリー上がりの原因となります。

## 作業灯スイッチ

### トラック



夜間、荷物の積み降しをするとき利用します。エンジンスイッチがACCかONのとき、ハンドブレーキレバーを引いてからスイッチを引くと点灯します。

#### ⚠ 注意

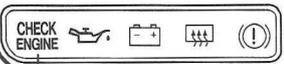
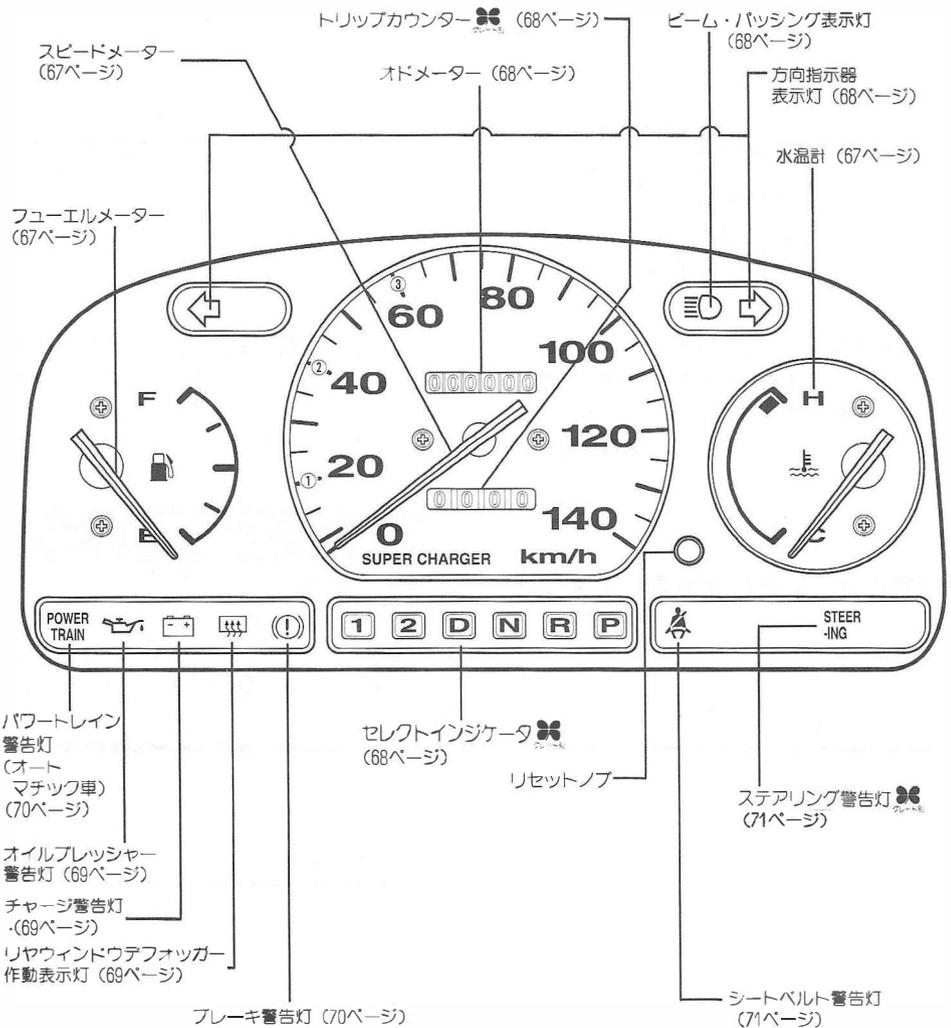
走行するときは、スイッチを切っておいてください。ONのままですと、交差点などでハンドブレーキレバーを引いたとき作業灯が点灯し、後続車に迷惑をかけることになります。

#### アドバイス

上記以外の操作では点灯しません。

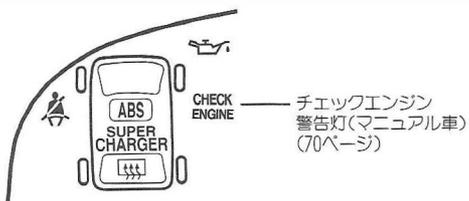
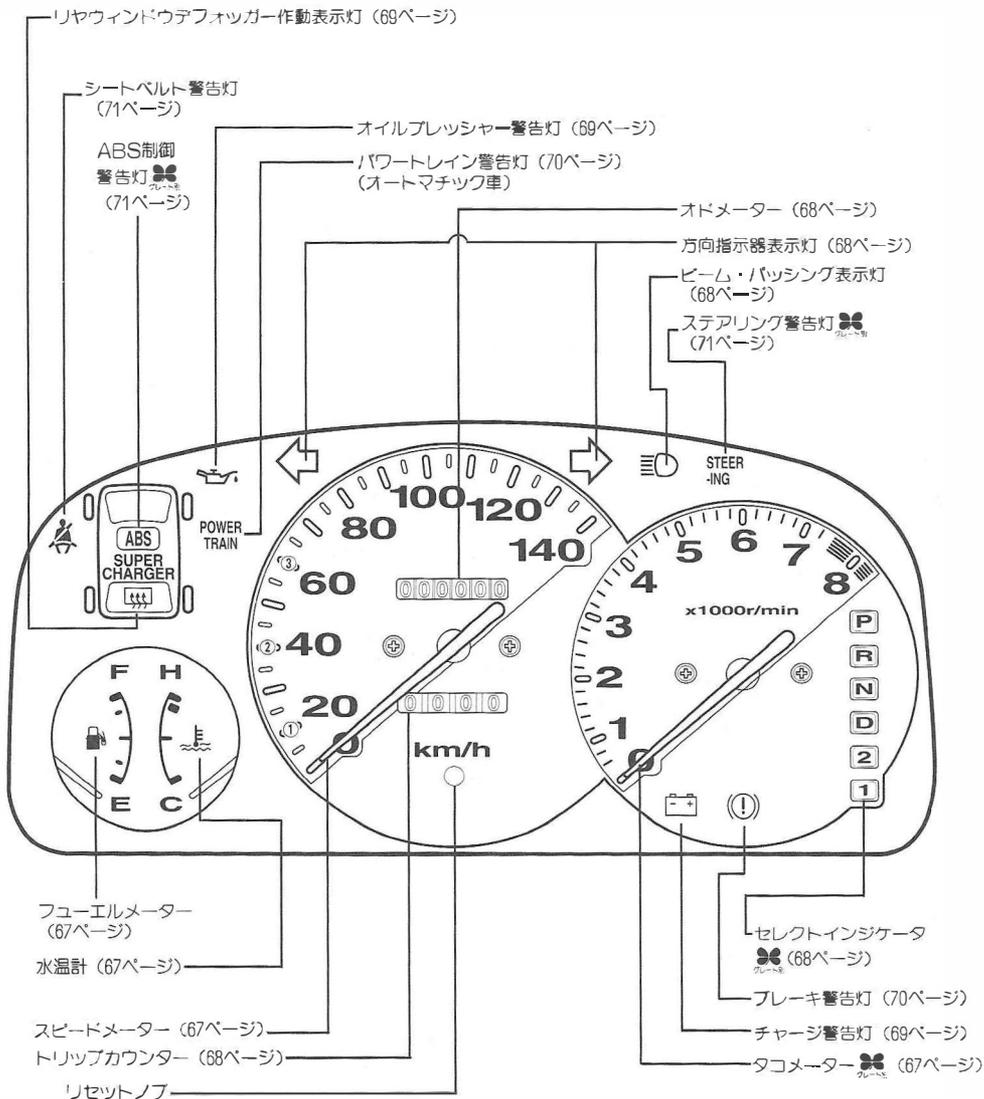
# メーター、表示灯、警告灯の見かた

## 〈標準〉

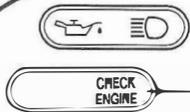
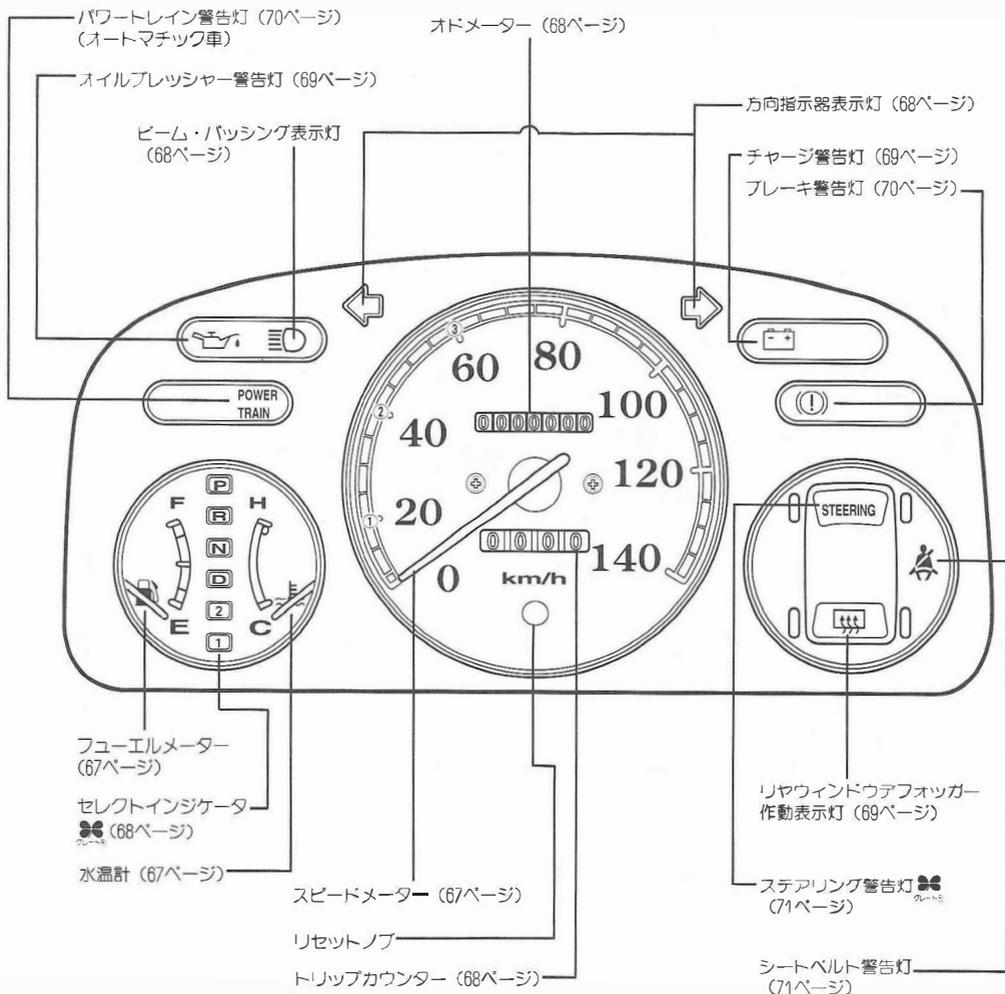


チェックエンジン警告灯 (70ページ)  
(マニュアル車)

# 〈タコメーター付〉

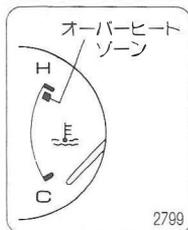


# 〈クラシック〉



チェックエンジン  
警告灯(70ページ)  
(マニュアル車)

## メーター



■**水温計**  
エンジンスイッチが「ON」のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

### ⚠注意

指針がオーバーヒートゾーンを指したまま下がらないときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、必要な処置（エンジンを冷やす）をしてください。

☆159ページ

（オーバーヒートしたとき）

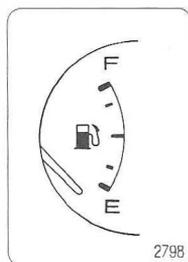
### アドバイス

エンジンスイッチがOFFのときは、冷却水の温度に関係なく「C」を示します。

「H」: 高温 (HOT)

「C」: 低温 (COLD)

を示しています。



■**フェーエルメーター (燃料計)**  
燃料の残量を示します。指針が「E」に近づいたら早めに給油をしてください。

### アドバイス

- エンジンスイッチの位置に関係なく燃料の残量を示します。
- エンジンスイッチが切れているとき、温度変化や振動で指示が若干変わる場合があります。
- 給油後エンジンスイッチを「ON」にしてから指示が安定するまでしばらく時間がかかります。

## ■スピードメーター

車の走行速度を示します。

### アドバイス

### 速度警報について

- 速度警告音は鳴りません。スピードを出し過ぎないようにしてください。
- 速度警報装置の取り付けを要望されるかたは注文装備として用意されております。スバルの販売店にご依頼ください。
- マニュアル車で、①、②、③は各シフトの上限速度を示します。エンジンの許容回転数を超えないよう各シフトの上限速度を守り、運転してください。

## ■タコメーター

(エンジン回転計) 

毎分のエンジン回転数を示します。

### ⚠注意

### タコメーターについて

指針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）に入らないように運転してください。

指針がレッドゾーンに入る運転を続けるとエンジンなどが破損することがあります。

### アドバイス

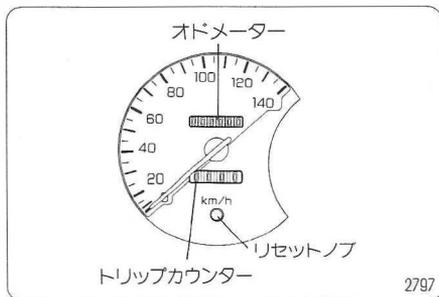
エンジンスイッチを操作した瞬間、針が振れることがありますが異常ではありません。

■**オドメーター（積算距離計）**——  
走った総距離をkmで示します。

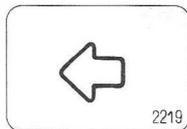
■**トリップカウンター**  
(区間距離計) ——

ある区間に走った距離を知りたいときに使います。右端の数字は100m単位です。

●**0に戻すときは**  
リセットノブを押してください。



## 表示灯

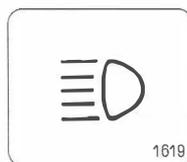


■**方向指示器表示灯**——  
方向指示器の点滅を示します。

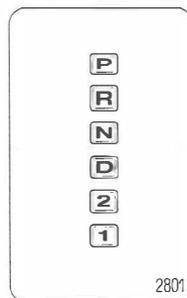
### アドバイス

**点滅の早さが異常になったとき**  
電球が切れたときやワット数の違った電球を使うと点滅の早さが異常になります。すみやかに点検し、異常のある電球を交換してください。

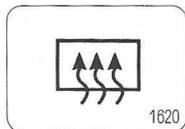
☆136ページ（電球の交換）



■**ビーム・パッシング表示灯**——  
ヘッドランプが上向き  
のとき点灯します。パッシング時も点灯し  
ます。



■**セレクトインジケータ**  
(オートマチック車の装備)  
セレクトレバーの位置を示します。  
☆118ページ（オートマチック車の運転）



### ■リアウィンドウ デフォッガー作 動表示灯

リアウィンドウデフォッガーが作動しているとき点灯します。

☆62ページ

(リアウィンドウデフォッガースイッチ)



### ■デフロック作動 表示灯

エンジンスイッチがONのとき、デフロックスイッチをONにしてデフロック状態に切り替わると点灯します。

☆124ページ (リヤデフロック)



### ■4WDセレクト インジケーター (セレクトティブ4 WD車の装備)

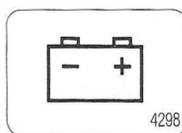
4輪駆動に切り替えると点灯し、2輪駆動に切り替えると消灯します。

☆123ページ (セレクトティブ4WD)

## 警告灯

下記の警告灯は、エンジンスイッチをONにすれば点灯し、エンジンをかけると消灯すれば正常です。

エンジン回転中に警告灯が点灯したままのときは、異常を知らせていますのでスバルの販売店にご連絡ください。



### ■チャージ警告灯

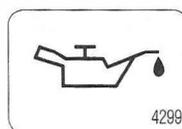
エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



注意

### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯したときは、ベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、スバルの販売店にご連絡ください。



### ■オイルプレッ チャー警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているエンジンオイルの圧力に異常がありません。



注意

### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてスバルの販売店にご連絡ください。

## アドバイス

### オイルプレッシャー警告灯について

オイルプレッシャー警告灯はオイル量を示すものではありません。

オイル量の点検はオイルレベルゲージで点検してください。

☆別冊「メンテナンスノート」参照



### ■ブレーキ警告灯

エンジンスイッチがONのとき次の場合に点灯します。

- ①ハンドブレーキレバーを引いた場合  
(戻すと消えます)
- ②ブレーキ液が不足した場合

## ⚠注意

### ブレーキ警告灯について

エンジン回転中にハンドブレーキレバーを戻しても消灯しないときは、ただちに安全な場所に停車し、スバルの販売店に連絡してください。



### ■パワートレイン警告灯

(オートマチック車)

エンジン回転中、エンジン電子制御システムまたはオートマチックの電子制御システムに異常があると点灯します。

## ⚠注意

### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯したときは、エンジン電子制御システムまたはオートマチックの電子制御システムに異常があります。高速走行を避け、ただちにスバルの販売店で点検を受けてください。



### ■チェックエンジン警告灯

(マニュアル車)

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。

## ⚠注意

### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯したときは、エンジン電子制御システムに異常があります。高速走行を避けただちにスバルの販売店で点検を受けてください。



## ■ABS制御警告灯

ABS(アンチロックブレーキシステム)の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆130ページ

(ABS(アンチロックブレーキシステム))



### 点灯しているときは

ABS制御警告灯が点灯しているときは、ABSのついていない車と同じブレーキとして作動します。走行上支障ありませんが気をつけて運転し、すみやかにスバルの販売店で点検を受けてください。

## ■ステアリング制御警告灯



車速応動型電動パワーステアリングの制御系に異常があります。

### アドバイス

#### 次の場合に点灯することがあります

- 停車中に必要以上の空吹かしを続けたとき
- すべり易い路面で後輪がロックして点灯したときは、いったんエンジンを止め、再始動して消えることを確認してください。
- 外気温度が冷えている場合(0℃以下が目安ですが若干の差があります)で、5分以上アイドル回転(車を放置してエンジンをかけたままの状態)を続けると点灯することがあります。(点灯している状態ではハンドル操舵力は重くなります。)しかし、走行を開始すると、警告灯は消え、正常運転になります。



## ■シートベルト未装着警告灯

運転者がシートベルトを装着していないときに点灯します。

☆52ページ (シートベルト)







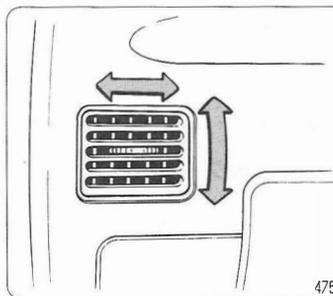
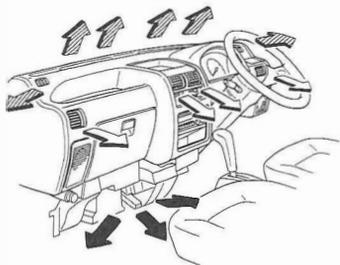
# 装備品の使いかた

ヒーターとエアコン	76
風向き調整	76
フロントヒーターの使いかた	77
リヤヒーターの使いかた	81
エアコンの使いかた	81
ラジオ・オーディオシステム	86
アンテナ	86
カセットテープについて	87
テープの保管について	87
電子チューニングAMラジオ	88
電子チューニングAM/FMラジオ+カセットステレオ	91
電子チューニングAM/FMラジオ+カセットステレオ(ハイパワー)	95
室内装備	
シガーライター	100
灰皿	101
グローブボックス	101
オーバーヘッドコンソール	102
カップホルダー	103
リヤトレー (JA、赤帽車のみ装備)	103
サンバイザー	104
リヤラゲッジフック	104
ルームランプ	105
ラゲッジルームランプ	106
トノカバー	107
サンサンルーフ	108

# ヒーターとエアコン

## 風向き調整

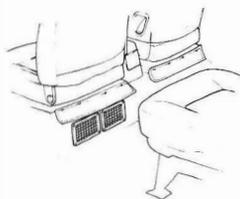
<フロントヒーター>



- 吹き出し口全体を回して上下方向の風向きを調整します。
  - ノブを左右に回して左右方向の風向きを調整します。
- また、左にいっぱい回すと、風の吹出しが止まります。

4757

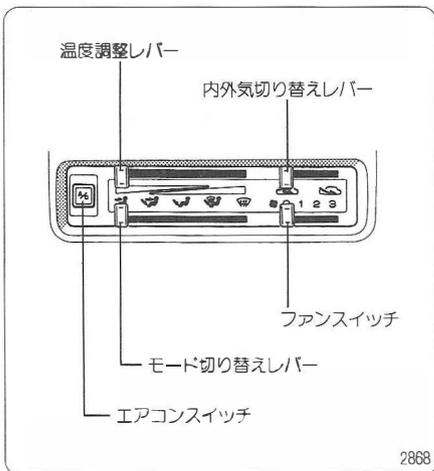
<リアヒーター>



3726

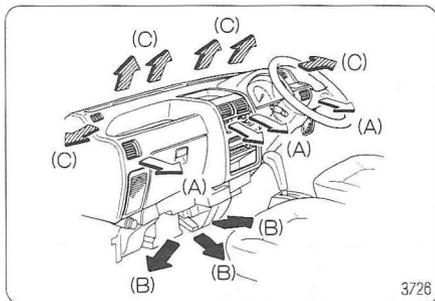
## フロントヒーターの使いかた

### ■レバー、スイッチ類の操作



### ■風の吹き出し口を切り替えるには モード切り替え（吹出口切り替え）レバー

	ベント：A 首から胸にかけて風を送ります。
	バイレベル：A+B 顔から胸と足元に風を送ります。
	ヒート：B 足元に多く、フロントガラスに少し風を送ります。
	デフロスタ/ヒート：B+C フロントガラスと足元に風を送ります。
	デフロスタ：C フロントガラスに風を送ります。



### ■エアコンスイッチ フルオート ☆81ページ（エアコンの使いかた）

### ■内気循環と外気導入の切り替え ——内外気切り替えレバー——



レバーをそれぞれのマークの位置まで動かします。

### 注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

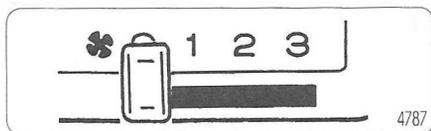
## アドバイス

### 内気混合外気導入の活用

外気導入レバー位置より内気循環側へ約15mm戻した位置（感覚あり、マークはなし）にすると内気混合の外気導入になり、暖房時室内の暖かさがほど良くなります。

### ■風の強さを調整するには

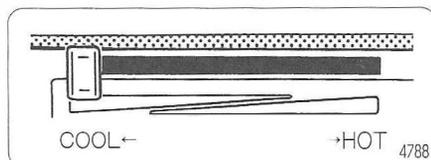
——ファンスイッチ——



風の強さは3段階に調整できます。数字が大きくなるほど強くなり、「0」では止まります。

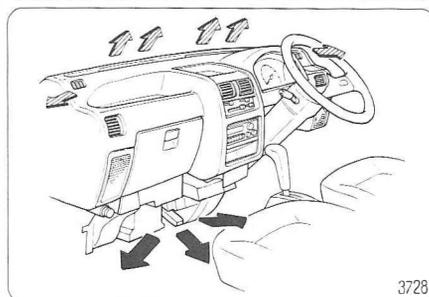
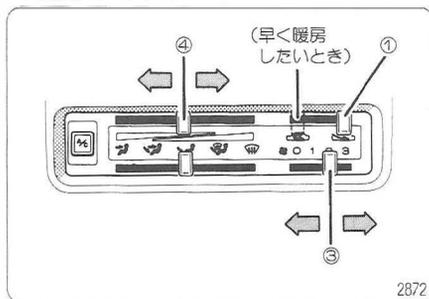
### ■温度を調整するには

——温度調整レバー——



右に動かすと風の温度が高くなります。無段階に温度の調節ができます。

### ■暖房するとき



足元に暖かい風が吹き出します。同時にフロントガラスにも少し吹き出し、ガラスの曇りを取ります。室内の温度調節は④の温度調整レバーと③のファンスイッチで行います。

## アドバイス

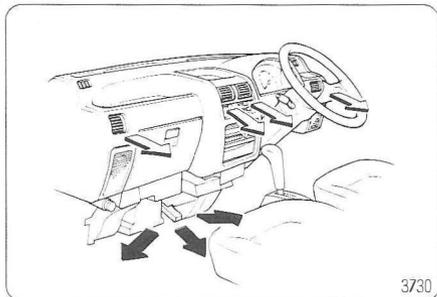
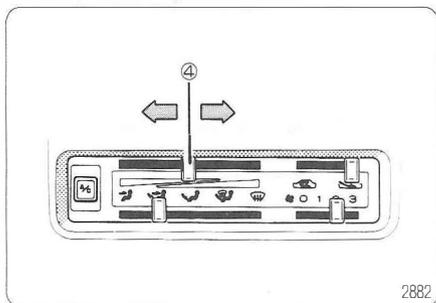
### 室内を早く暖めたいとき

①を内気循環にします。室内が暖まったら外気導入に切り替えてください。

### 室内の暖かさをほど良くしたいとき

①を内気混合外気導入にします。

## ■頭寒足熱にするとき



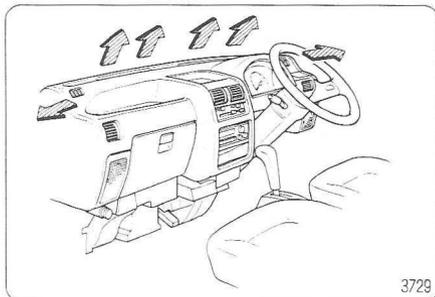
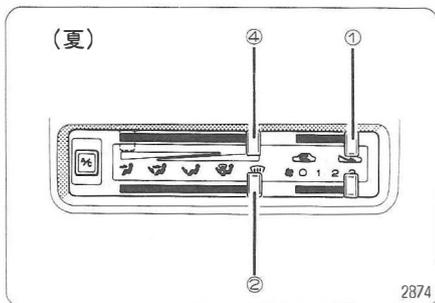
暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が顔に向けて吹き出します。

アドバイス

**次の場合は頭寒足熱になりません**

④の温度調整レバーを左または右いっぱいにするとう頭寒足熱になりません。(冷風または温風のみ吹き出します)

## ■ガラスの曇りを取るとき



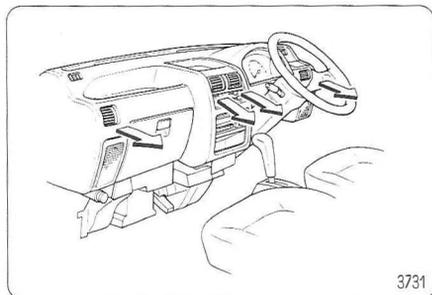
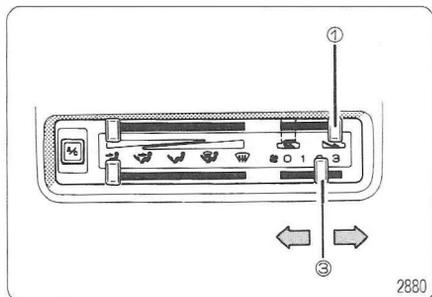
暖かい風がガラスに吹き出し、曇りや霜を取ります。曇り取りは外気導入でご使用ください。

アドバイス

**夏の曇り防止**

④の温度調整レバーを適温に調節します。  
②のモード切り替えレバーを「デフロスタ」位置にします。

## ■換気するとき



①の内外気切り替えレバーを外気導入にします。

## ●自然換気するには

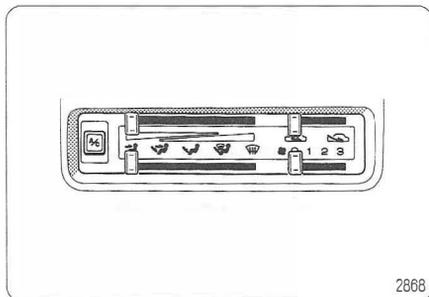
③のファンスイッチを「0」にするとファンが止まり、自然換気になります。

### アドバイス

次の場合はファンを回して強制換気してください。

- 停車中
- 低速走行中

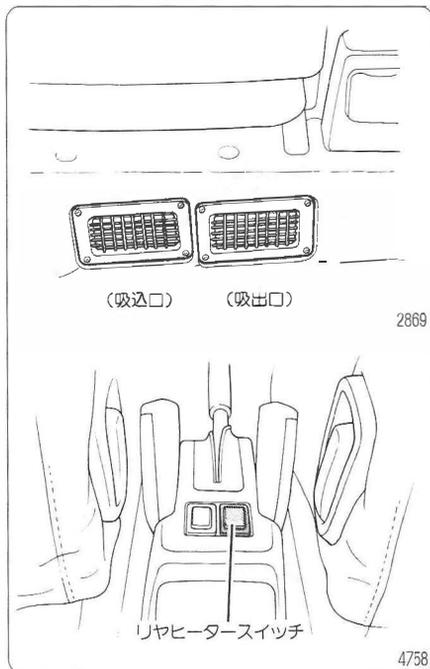
## ■風の流れを止めるには



③のファンスイッチを「0」にして内外気切り替えレバーを内気循環にしてください。

## リヤヒーターの使いかた

助手席シート下の吹き出し口より温風が吹き出し、後席を暖房します。



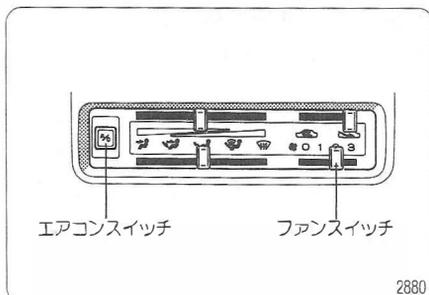
フロントヒーターの温度調整レバーを「HOT」側にしてリヤヒータースイッチをONにします。

### アドバイス

#### 吹き込み口、吹き出し口をふさがないで

リヤヒーターを使用しているときは、ヒーターの空気吸い込み口、吹き出し口を荷物などでふさがないでください。ファンモーターが過熱して焼損するおそれがあります。

## エアコンの使いかた



エンジン回転中、ファンスイッチが「0」以外するとき、エアコンスイッチを押すとエアコンが作動します。もう一度スイッチを押すか、ファンスイッチを「0」にすると止まります。

### △注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常では外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

### アドバイス

#### 次の場合、エアコンのコンプレッサは回りません

- 室内の温度が低いとき
- 外気温が低いとき（0℃以下のとき）

#### フロストについて

冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で異常ではありません。

## 上手にエアコンを使うため

### ●アイドルアップ装置について

停車時の冷房効果を上げるためアイドルリング回転数が高くなります。オートマチック車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

### ●炎天下に駐車したとき

エアコンを使う前にウインドウガラスを全開にして熱気を出してください。

### ●においを防ぐため

室内のにおいは消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときやタバコを吸うときは換気してください。ホコリやタバコの煙が冷房装置についておることがあります。

### ●目が痛くなったとき

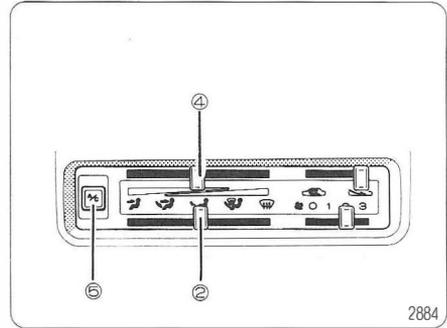
外気導入にしてください。冷房中に乾燥ぎみになり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。

### ●冷え過ぎに気をつけて

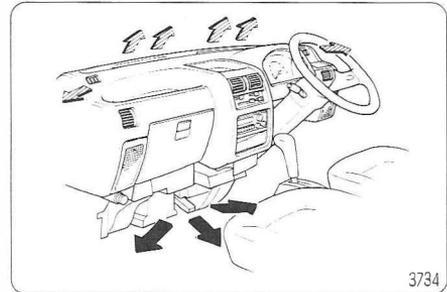
適度に温度を調整してください。冷え過ぎは身体に害があります。健康上、外気温と室内温の差は5～6℃が適温です。

## ■除湿暖房するとき

—つめたい雨の日—



2884

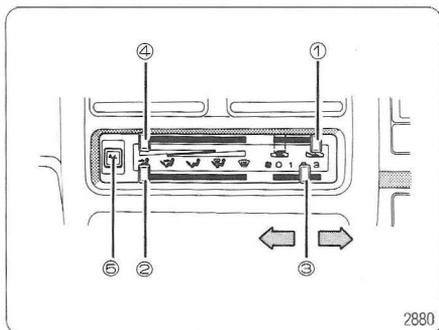


3784

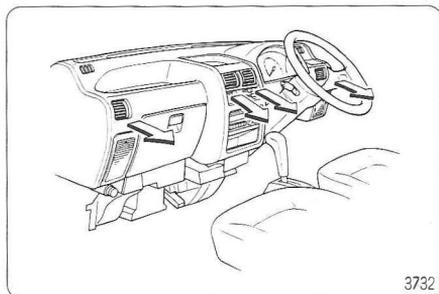
⑤のエアコンスイッチを**ON**にし、②のモード切り替えレバーを「**ヒート**」に合わせます。除湿された暖かい空気が足元とフロントガラスに吹き出します。ガラスの曇りを防ぎ室内の温度を適温に保ちます。④の温度調整レバーで室内の温度を調節してください。このレバー位置によっては除湿機能が低下する場合があります。

## ■冷房するとき

——暑い日——



2880



3732

⑤のエアコンスイッチを**ON**にし、④の温度調整レバーを左端にします。

### アドバイス

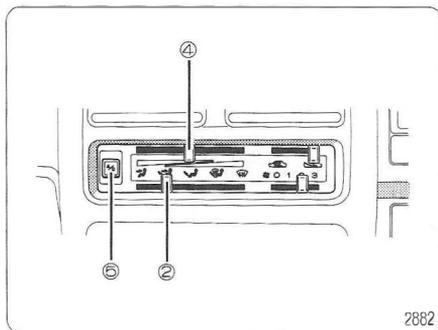
#### すばやく冷やしたいときには

①の内外気切り替えレバーを内気循環にして、ファンスイッチを最大にします。

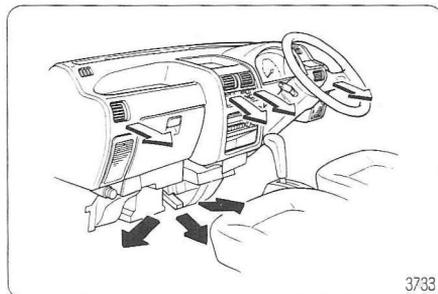
- 内気循環では空気が汚れますので、適温になったら外気導入にしてください。
- 炎天下の駐車後は、熱気を逃がすため、しばらく窓を開けながらエアコンを使用してください。

## ■頭寒足熱にするとき

——早春、晩秋のとき——



2882



3733

⑤のエアコンスイッチを**ON**にし、②のモード切り替えレバーを「ハイレベル」位置にします。暖められた風が足元から、比較的低温の低い風が顔に向けて吹き出します。

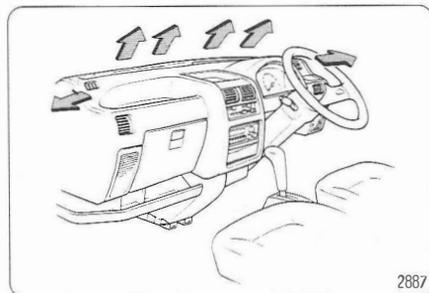
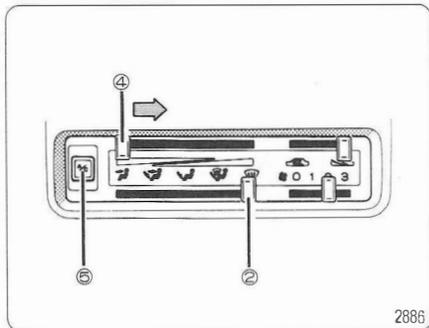
### アドバイス

#### 次の場合、頭寒足熱にはなりません。

④の温度調整レバーを左または右いっぱいにすると頭寒足熱になりません。(冷風または温風のみ吹き出しとなります)

## ■ガラスの曇りを取るとき

—夏期—



⑤のエアコンスイッチをONにし、②のモード切り替えレバーを「デフロスタ」に合わせます。冷気がフロントガラスに吹き出します。ガラスの曇りを防ぎ、室内を冷やします。

### アドバイス

#### 窓の外側が曇る場合があります。

外気温と吹き出し風との温度差が大きいと窓の外側が曇る場合があります。このときはエアコンスイッチを「OFF」にするか、④の温度調整レバーを右に動かしてください。

## ■熱交換器の清掃



洗車の際、熱交換器に付着している泥やゴミなどを水をかけて洗い落とし、通気性をよくしてください。その際、熱交換器のフィンをつぶさないように注意してください。

### アドバイス

**ときどきエアコンを作動させてください。**

エアコンは各部を潤滑するため月に2、3回程度作動させてください。

**冷えない場合には冷媒不足も考えられますのでスバルの販売店で点検を受けてください。**



# ラジオ・オーディオシステム

## ⚠注意

### 安全運転のために

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- できるだけ車が止まっているときに、ラジオ・オーディオシステムを操作してください。

## アドバイス

### アンテナを使うとき

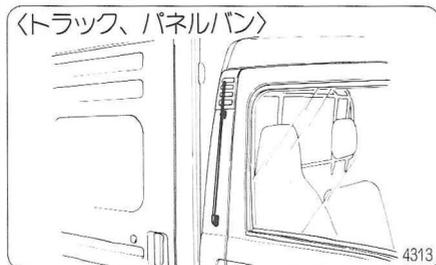
自動洗車機や屋根の低いところに入るときは、必ずアンテナを収納してください。アンテナが折損することがあります。

## アンテナ

〈ティアス、バン〉



〈トラック、パネルバン〉



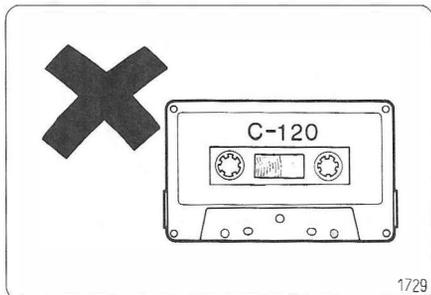
ラジオを聞くときはアンテナの先端をいっぱいまで伸ばしてください。

## カセットテープについて

カセットテープの性能を悪くしないため、また、カセットテープの巻きつきなどを防ぐため、次の点に注意してください。

### アドバイス

#### カセットテープを挿入するとき



- ラベルのはがれたテープを使用したり、テープをデッキに入れたまま放置するのはやめてください。回転不良やテープが取り出せなくなる場合があります。
- C120テープ（120分テープ）はテープが非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻きついたりして使用不能の原因となります。使用しないでください。



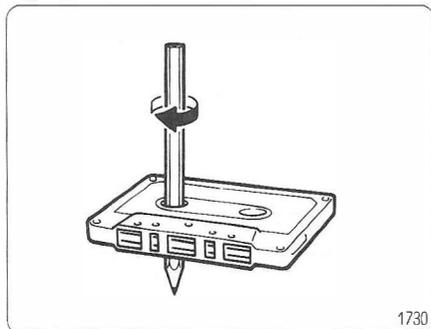
カセットテープを挿入するときはテープが見える面を右側にして、水平に、静かに入れてください。

## テープの保管について

カセットテープは、高温多湿、直射日光、ほこり、強い磁気を嫌います。

### アドバイス

#### カセットテープを保管するときには



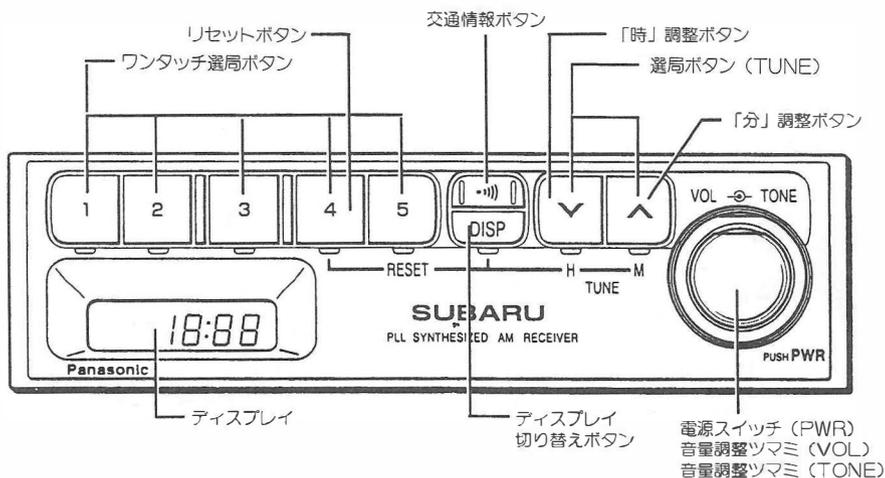
- ケースに入れて、日の当たらない場所を選んで保管してください。
- プレーヤーにテープが巻き込まれないようにエンピツなどでたるみを取ってからデッキに差し込んでください。

#### クリーニングテープ



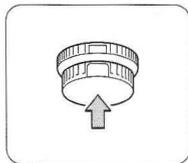
ヘッド周辺をクリーニングするときに使います。ヘッド周辺は汚れやすいので、1か月に1回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。

# 電子チューニングAMラジオ



4160

## ■ラジオを聞くには



### ●電源

電源スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。(エンジンスイッチが「ACC」または「ON」のとき)

「ACC」または「ON」のとき)



### ●音量調節

音量調節ツマミを右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

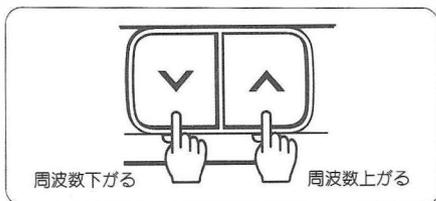


### ●音質調整

音質調整ツマミを右に回すと高音が強くなり、左に回すと低音が強くなります。

### ●選局

選局には次の3つの方法があります。  
「自動選局」「手動選局」「ワンタッチ選局」

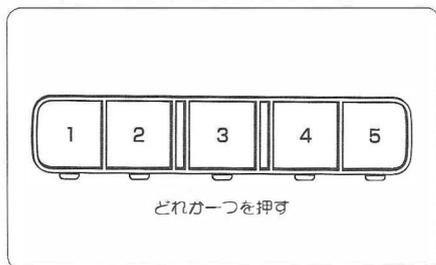


### ●自動選局

選局ボタンを0.5秒以上押し続けると、自動的に選局します。放送を受信するとその周波数で止まります。

### ●手動選局

選局ボタンに軽く触れると、9kHzごとに受信する周波数が切り替わります。



### ●ワンタッチ選局

ワンタッチ選局ボタンを押すと、あらかじめセットしてある放送局を受信します。AM放送5局が記憶できます。

### ●放送局を記憶させるには

- ①選局ボタンで記憶させたい放送局を選びます。
- ②ディスプレイが時刻表示のときは、DISPボタンを押して周波数表示にします。
- ③ワンタッチ選局ボタンのうち一つを選び2秒以上押し続けると記憶されます。
- ④同じようにすべてのボタンに記憶させます。

## アドバイス

### 記憶が消えることがあります

バッテリーをはずしたときやヒューズ切れのときは記憶が消えることがあります。



### ●交通情報を聞くには

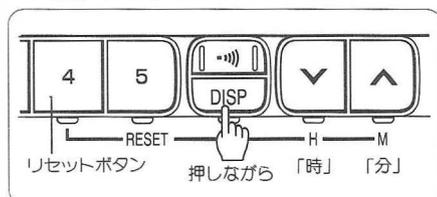
交通情報ボタンを押すと交通情報(1620kHz)を受信します。もう一度押すと直前に受信していた放送を受信します。

## アドバイス

### 交通情報ボタンについて

- 交通情報ボタンは、6つ目のワンタッチ選局ボタンとしても使えます。
- 新車時には1620kHzが記憶されています。
- バッテリーをはずしたときやヒューズ切れのときには1620kHzになります。

### ■時計をあわせるには



### ●時・分の調整

DISPボタンを押しながら「時」調整ボタン、「分」調整ボタンを押して時・分を調整してください。

「H」ボタン：「時」の調整

「M」ボタン：「分」の調整

---

### ●時報にあわせませす

DISPボタンを押しながらリセットボタンを押してください。

次のように調整されます。

12:00~12:29→12:00

12:30~12:59→1:00

アドバイス
-------

### 電源が切れて再び接続したとき

表示が「12:00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

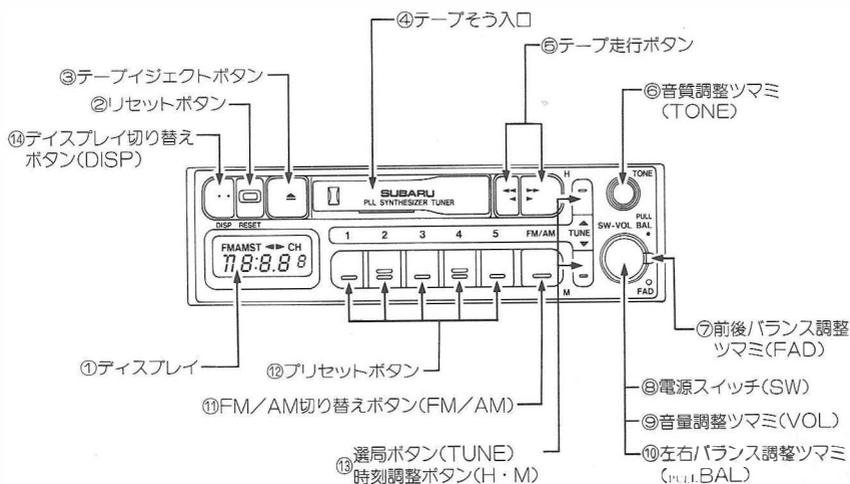
---

### ■ディスプレイ表示の切り替え——

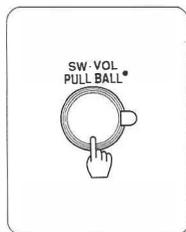
ディスプレイには時刻が表示されていません。

- 電源を入れたときや選局ボタンを押すと5秒間周波数が表示されます。
- DISPボタンを押すと、時刻と周波数が交互に表示されます。  
周波数を表示すると5秒後に時刻表示に切り替わります。
- エンジンスイッチを「ACC」または「ON」にすると照明がつきます。

# 電子チューニングAM/FMラジオ+カセットステレオ



3609



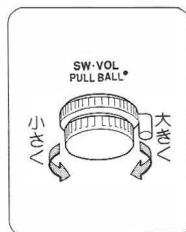
**■電源**  
エンジンスイッチが「ACC」または「ON」のとき、スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。



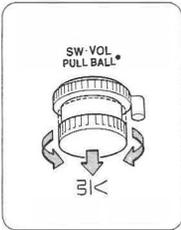
**■前後バランス調整**  
(リヤスピーカーをつけたときの機能です) 通常は右いっぱいに戻しておきます。

右に回す：後席スピーカーの音が小さくなります。

左に回す：前席スピーカーの音が小さくなります。



**■音量調整**  
右に回す：音が大きくなります。  
左に回す：音が小さくなります。



### ■左右バランス調整

(ツマミを引いて調整します)

右に回す：左側スピーカーの音が小さくなります。

左に回す：右側スピーカーの音が小さくなります。

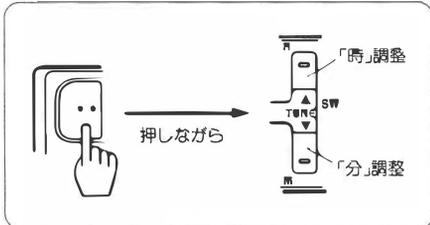


### ■音質調整

右に回す：高音が強調されます。

左に回す：低音が強調されます。

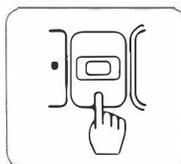
### ■時計合わせ



「DISP」ボタンを押しながら時刻調整ボタンで調整します。

時：H

分：M



### ●時報に合わせるには

時報と同時にリセットボタンを押します。

次のように調整されます。

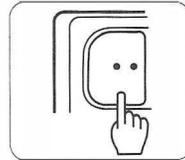
12：01～12：29→12：00

12：30～12：59→1：00

### アドバイス

### バッテリーを再び接続したとき

表示が「12：00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。



### ■表示の切り替え

ラジオ電源ONのとき「DISP」ボタンを押すごとに時計表示優先モードとモード表示固定の切り替えができます。

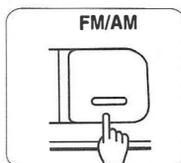
●モード表示固定とは、各モードの状態のみ表示するモードです。モード表示固定のとき「DISP」ボタンを押すと時計表示になり、以降時計表示優先モードになります。

●時計表示優先モードのとき各操作を行なうと、約5秒間その操作に応じた表示を行い、その後時計表示になります。

モード	表示	
	モード表示固定時	時計表示優先時
ラジオ電源OFF	消灯	時計表示
ラジオ	受信周波数	時計表示
テープ	TAPE	時計表示

## ■ ラジオを聞くには

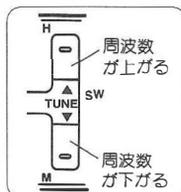
①電源を入れます。



②FM・AMを選択します。  
ディスプレイにFMまたはAMが表示されます。

③選局します。

「自動選局」「手動選局」「ワンタッチ選局」の3つの方法があります。

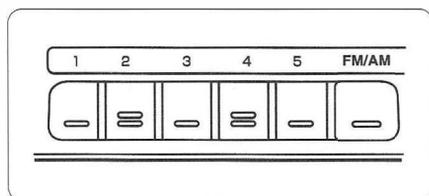


### ● 自動選局

選局ボタンを0.5秒以上押し続けます。自動的に選局します。

### ● 手動選局

選局ボタンを軽く押します。  
一定のピッチで切り替わります。



### ● ワンタッチ選局

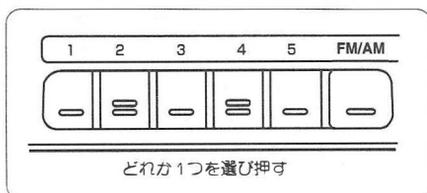
あらかじめセットしてある放送局を受信します。

## ● 放送局の記憶方法

FM放送5局、AM放送5局が記憶できます。

①選局します。

②ディスプレイを周波数表示にします。



③プリセットボタンの一つを選び、2秒以上押し続けます。記憶されるとディスプレイにチャンネル番号が表示されます。  
④同じようにすべてのボタンに記憶させます。

アドバイス

### 記憶が消えることがあります

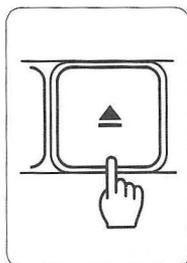
バッテリーをはずしたときやヒューズ切れのときは記憶が消えることがあります。



■テープを聞くには—  
●再生

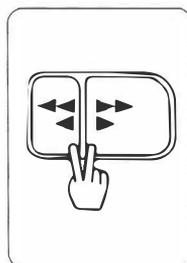
エンジンスイッチが「ACC」または「ON」のときテープを差し込みます。自動的に電源が入り、再生が始まります。

カセットデッキが作動するとラジオは自動的に切れます。



●再生を止めるには  
ボタンを押すと再生が止まり、テープが押し出されます。

テープが押し出されるとカセットデッキの電源は自動的に切れます。ただし、ラジオの電源がONのときはラジオに自動的に替わります。



●再生方向を切り替えるには

両方のボタンを同時に押します。押すごとに再生方向が切り替わります。

●早送り、巻き戻しをするには



それぞれのボタンを押すと早送り、巻き戻しになります。

早送り、巻き戻しをとめるときは反対側のボタンを軽く押します。その位置から再生が始まります。

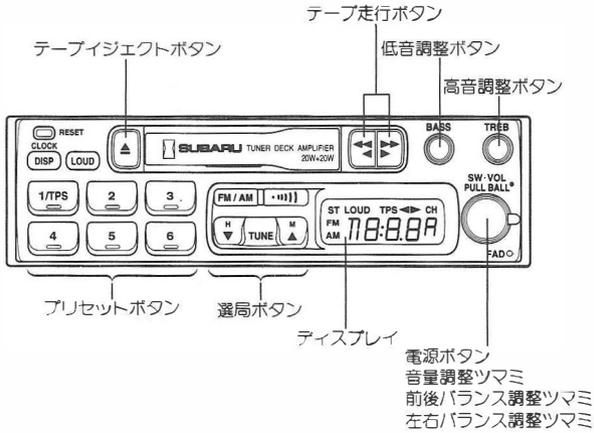
CDを聞くには

このラジオにはCDプレーヤーが接続できます。(オプション部品)

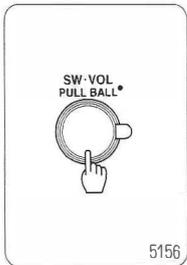
CDプレーヤーにCDを挿入すると再生されます。選曲、その他の操作については、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

音量、音質調整はラジオ本体で調整します。

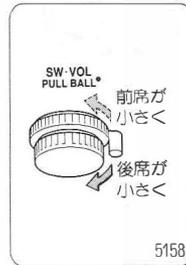
# 電子チューニングAM/FMラジオ+カセットステレオ(ハイパワー)



5155



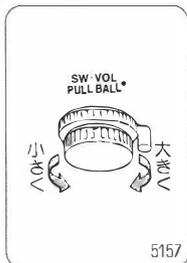
**■電源**  
 エンジンスイッチが「ACC」または「ON」のとき押しと電源が入り、もう一度押しと切れます。



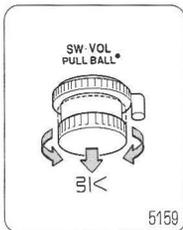
**■前後バランス**  
 (リヤスピーカーをつけたときの機能です) 通常は右にいっぱい回しておきます。

右に回す：後席スピーカーの音が小さくなります。

左に回す：前席スピーカーの音が小さくなります。



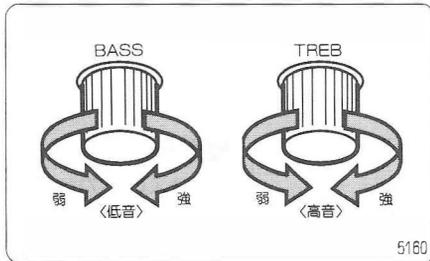
**■音量調整**  
 右に回す：音が大きくなります。  
 左に回す：音が小さくなります。



■左右バランス—  
(ツマミを引いて調整  
します)

右に回す：左側スピーカーの音が小さくなり  
ます  
左に回す：右側スピーカーの音が小さくなり  
ます

■音質調整



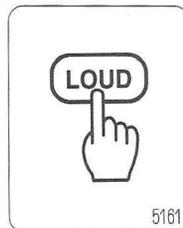
●高音調整 (TREB)

右に回す：高音が強くなります  
左に回す：高音が弱くなります

●低音調整 (BASS)

右に回す：低音が強くなります  
左に回す：低音が弱くなります

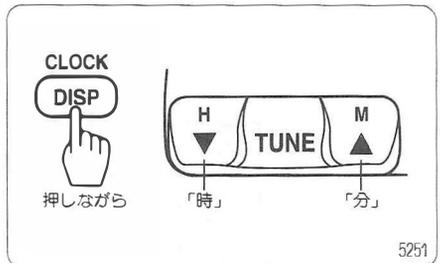
■ラウドネス



ボタンを押すと低・高  
音域を増強し、小音量  
でも迫力のある音楽が  
楽しめます。  
ディスプレイに  
「LOUD」が点灯しま  
す。

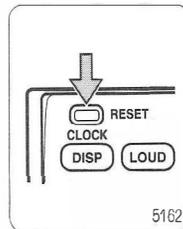
もう一度押すと解除されます。

■時計合わせ



「DISP」ボタンを押しながら時刻調整ボ  
タンで調整します。

時：H                      分：M  
▼                                      ▲



●時報合わせ

時報と同時にリセット  
ボタンを押します。

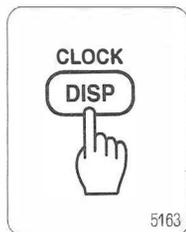
次のように調整されます

12:01~12:29 → 12:00  
12:30~12:59 → 1:00

アドバイス

バッテリーを再び接続したとき

表示が「12:00」で点滅します。正しい時  
刻に合わせてください。



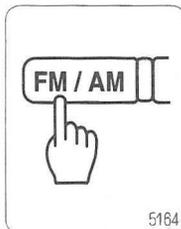
■表示の切り替え—  
ラジオ電源ONのとき  
押すごとに時計表示優  
先モードとモード表示  
固定の切り替えができ  
ます。

●モード表示固定とは、各モードの状  
態のみ表示するモードです。モード表示  
固定のとき「DISP」ボタンを押すと時  
計表示になり、以降時計表示優先モード  
になります。

モード	表 示	
	モード表示固定時	時計表示優先時
ラジオ電源OFF	消灯	時計表示
ラジオ	受信周波数	時計表示
テープ	TAPE	時計表示

■ラジオを聞くには

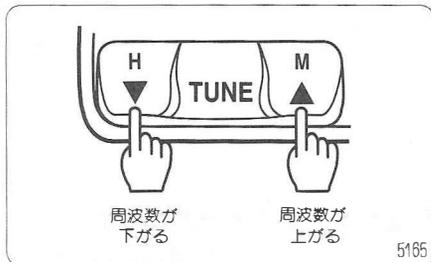
①電源を入れます。



②FM・AMを選択し  
ます。  
ディスプレイにFM  
またはAMが表示さ  
れます。

③選局します。

「自動選局」「手動選局」「ワンタッチ選  
局」の3つの方法があります。

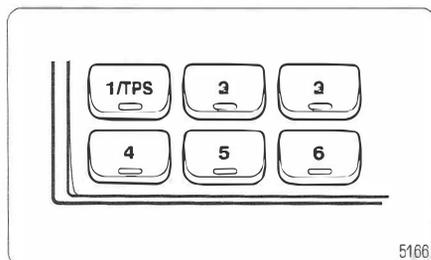


●自動選局

選局ボタンを0.5秒以上押し続けます。  
自動的に選局します。

●手動選局

選局ボタンを軽く押します。  
一定のピッチで切り替わります。



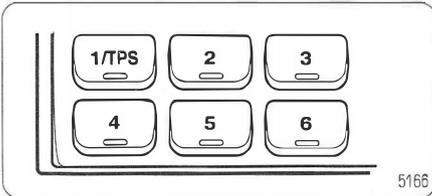
●ワンタッチ選局

あらかじめセットしてある放送局を受信  
します。

## ●放送局の記憶方法

FM放送6局、AM放送6局が記憶できます。

- ①選局します。
- ②ディスプレイを周波数表示にします。

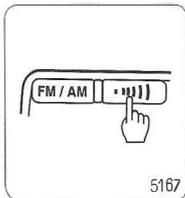


- ③プリセットボタンの一つを選び、2秒以上押し続けます。記憶されるとディスプレイにチャンネル番号が表示されます。
- ④同じようにすべてのボタンに記憶させます。

アドバイス

### 記憶が消えることがあります

バッテリーをはずしたときやヒューズ切れのときは記憶が消えることがあります。



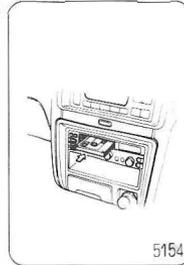
## ●交通情報を聞くには

ボタンを押すと自動的に受信します。  
もう一度押すと直前に受信していた放送局に戻ります。

アドバイス

交通情報ボタンは7つ目のワンタッチ選局ボタンとしても利用できます。

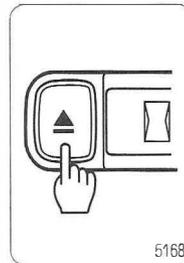
## ■テープを聞くには



### ●再生

エンジンスイッチが「ACC」または「ON」のときテープを差し込みます。

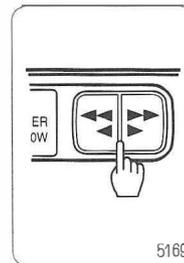
自動的に電源が入り、再生が始まります。カセットデッキが作動するとラジオは自動的に切れます。



### ●再生を止めるには

ボタンを押すと再生が止まり、テープが押し出されます。

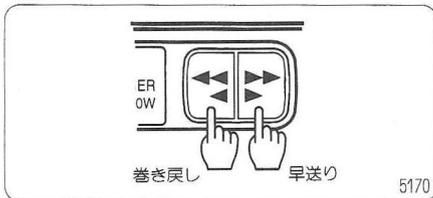
テープが押し出されるとカセットデッキの電源は自動的に切れます。ただし、ラジオの電源がONのときはラジオに自動的に替わります。



### ●再生方向を切り替えるには

両方のボタンを同時に押します。  
押すごとに再生方向が切り替わります。

## ●早送り、巻き戻しをするには

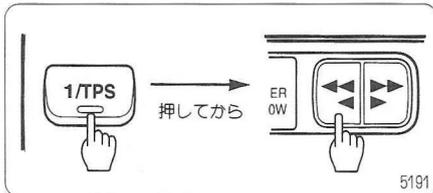


それぞれのボタンを押すと早送り、巻き戻しになります。

早送り、巻き戻しをとめるときは反対側のボタンを軽く押します。その位置から再生が始まります。

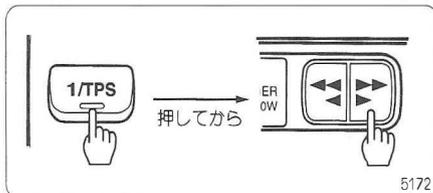
## ●曲の頭出し

### ●今、再生している曲の頭出し



- ①TPSボタンを押します。
- ②巻き戻しボタンを押して巻き戻しします。
- ③今、再生中の局の頭で自動的に止まり、再生状態になります。

### ●今、再生している曲の次の曲の頭出し



- ①TPSボタンを押します。
- ②早送りボタンを押して早送りします。
- ③今、再生中の曲をとばして次の曲の始まる場所で自動的に止まり、再生状態になります。

## アドバイス

次の場合は頭出しができないことがあります

- 曲と曲の間の無音部分が4秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

## CDを聞くには

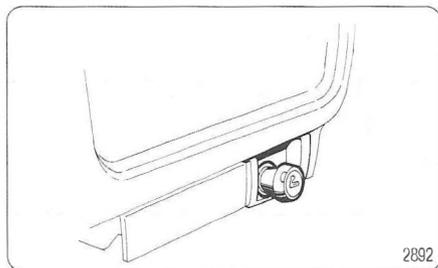
このラジオにはCDプレーヤーが接続できます。(オプション部品)

CDプレーヤーにCDを挿入すると再生されます。選曲、その他の操作については、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

音量、音質調整はラジオ本体で調整します。

# 室内装備

## シガーライター



エンジンスイッチがACCまたはONのときシガーライターを押し込みます。手を離し、自動的に戻るまで待ちます。

### 注意

#### シガーライターを使うときには

- シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをすることがあります。
- 押えつけたままにしないでください。シガーライターが過熱して危険です。
- 30秒以上たっても戻らないときは手で引き出してください。
- 他車のシガーライターを使用しないでください。戻らなくなることがあります。

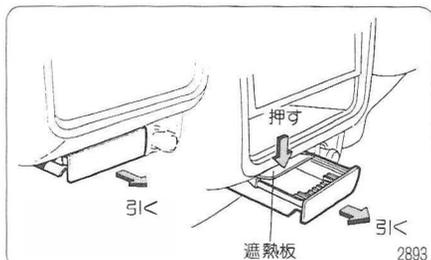
#### ソケットから電源を取るとき

スバル純正品の使用をお奨めします。

- タコ足配線はしないでください。発火することがあります。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。
- 電源ソケットにプラグが合わない（ガタがあったり、きつくて入らない）場合は、接触不良や抜けなくなる原因となります。ソケットにあったプラグをご使用ください。
- エンジン停止状態またはアイドリング状態のまま電気製品を長時間使用すると、バッテリーあがりを起こすことがありますのでご注意ください。また、走行中の使用でも不要になったら切るように心掛けてください。

## 灰皿

### ■前席用灰皿



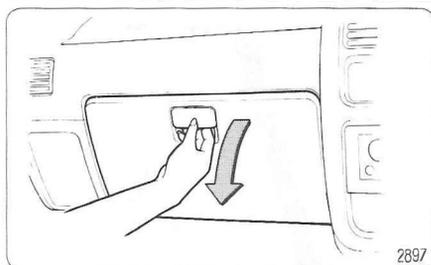
使うときは手前に引き出します。  
はずすときは遮熱板を下に押し引き出します。

### ⚠注意

#### 灰皿を使うときは

- マッチ、タバコは完全に火を消してから入れ、確実に閉めてください。開けたままにするとタバコの火が他の吸いがらに燃え広がり、オーディオなどをこがすことがあります、さらに火災になることがあります。
- 紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
- 吸いがらをため過ぎないでください。

## グローブボックス



小物や書類を入れるのに使います。  
取っ手を引いて開けます。

### ⚠注意

#### 走行中は

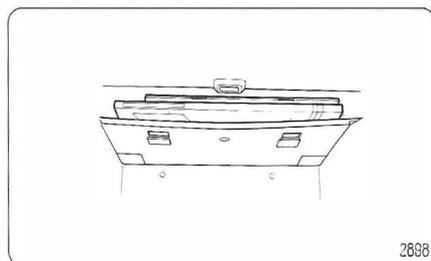
グローブボックスを必ず閉めておいてください。万一の場合、開いたフタに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。

### アドバイス

#### 車から離れるときには

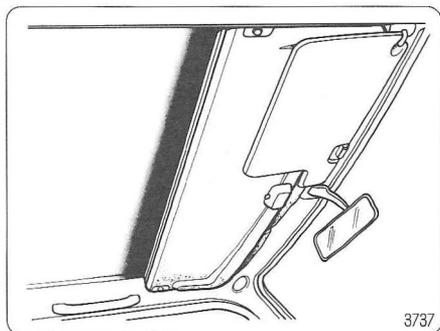
車から離れるときには盗難防止のためにも貴重品は持参してください。

### ■車検証ホルダー



グローブボックスの上側にあります。

## オーバーヘッドコンソール プレート型



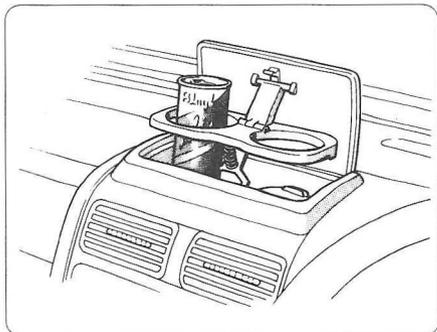
伝票、カバンなどをしまうのに使用します。

## カップホルダー



### 飲み物の出し入れは

信号待ちなどの停車中にしてください。  
走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。



「PUSH」部を押すとフタが開き、カップホルダーが出て、カップ、コーヒー缶などを置くことができます。

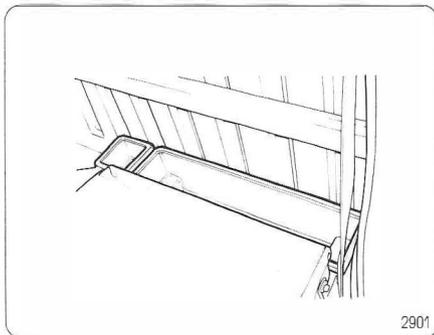
フタを閉めると自動的に収納されます。

### アドバイス

- ジュース、コーヒーなどをこぼしたときには  
必ず拭き取ってから収納してください。  
ラジオ・オーディオシステムの故障の原因になるおそれがあります。
- カップホルダーを使用しないときは、フタを閉めておいてください。

## リヤトレー

### JA、赤帽車のみ装備

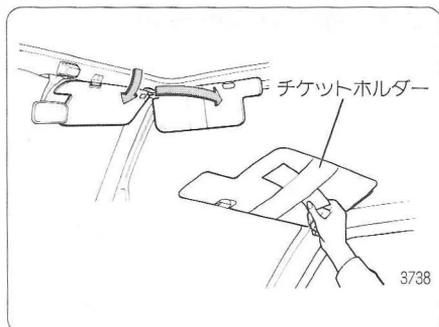


助手席後部にあり、小物、手回り品、工具などを入れておくのに便利です。

出し入れするときは、助手席の背当てを前に倒します。

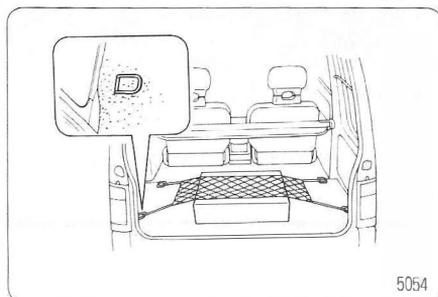
☆46ページ（背当てを前に倒すには）

## サンバイザー



横に回すときはフックからはずして使用します。  
運転席側にはチケツトホルダーがついています。

## リヤラゲッジフック グレード別



荷室に4か所取り付けられています。カーゴルームネットなどを引っ掛けるときに使用します。

### アドバイス

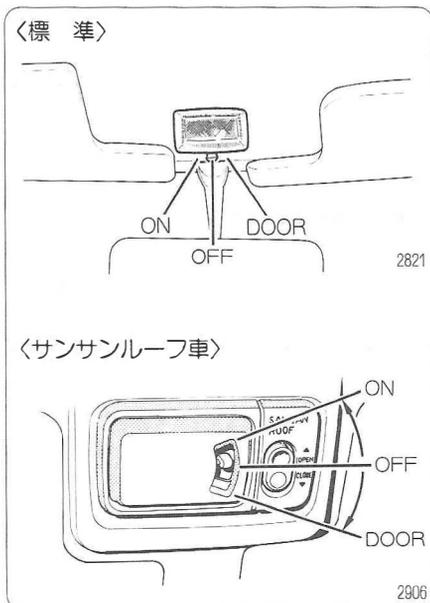
#### ラゲッジフックを使うとき

このフックはカーゴルームネットなどの軽量物の固定、引っ掛けの用途だけに限定してください。

許容引っ張り荷重：20kg

## ルームランプ

### ■トラック、バン・ハイルフ、ディアス



#### ●STD仕様：ON、OFFのみ

ON : 常に点灯のまま  
OFF : 消灯

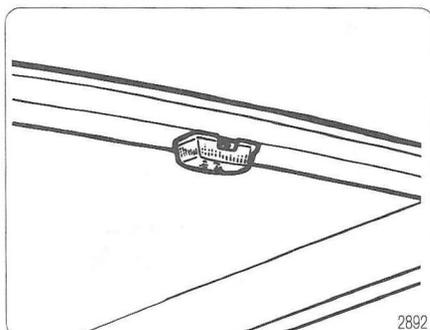
#### ●SDX仕様：運転席ドアの開閉と連動

ON : 常に点灯のまま  
OFF : 消灯  
DOOR : 運転席ドアを開けたとき点灯

#### ●バン・ディアス：運転席ドアと助手席ドアの開閉と連動

ON : 常に点灯のまま  
OFF : 消灯  
DOOR : 運転席ドアか助手席ドアを開けたとき点灯

### ■標準ルーフ・バン



#### ●STD仕様：ON、OFFのみ

ON : 常に点灯のまま  
OFF : 消灯

#### ●SDX仕様：運転席ドアの開閉と連動

ON : 常に点灯のまま  
OFF : 消灯  
DOOR : 運転席ドアを開けたとき点灯

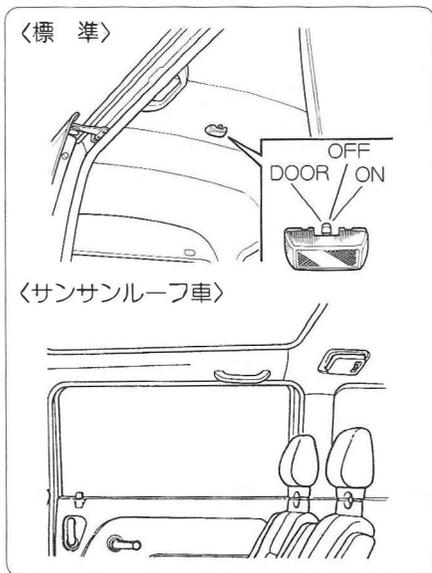
#### アドバイス

#### 車から離れるとき

消灯していることを確認してください。  
点灯しているとバッテリーあがりの原因になります。

## ラゲッジルームランプ

### ■バン・ハイルーフ、ディアス



#### ●STD仕様：ON、OFFのみ

ON : 常に点灯のまま

OFF : 消灯

#### ●SDX仕様：前席ルームランプの点灯、消灯と連動

ON : 常に点灯のまま

OFF : 消灯

DOOR : 運転席ドアを開けるとルームランプ、ラゲッジルームランプ同時点灯

#### ●ディアス：左スライドドアとリアゲートの開閉と連動

ON : 常に点灯のまま

OFF : 消灯

DOOR : 左スライドドアかリアゲートを開けたとき点灯

#### アドバイス

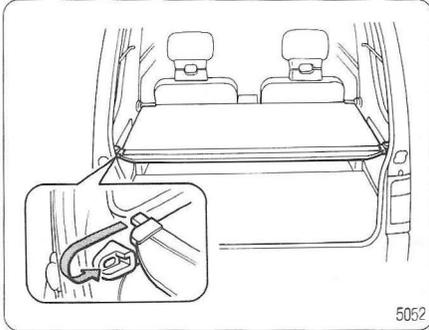
#### 車から離れるとき

消灯していることを確認してください。  
点灯しているとバッテリーあがりの原因になります。

## トノカバー

グレート

荷室を外から見えずに荷物の日焼けを防ぎます。

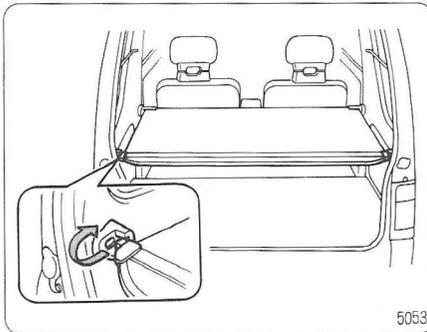


### ■使用するとき

中央部を持ち、ゆっくりとフックの手前まで引き、下げるようにして両端のフックに引っかけます。

### ■格納するとき

中央部を持ち、一度手前に引いたまま持ち上げるようにしてフックからはずし、ゆっくりと巻き戻します。



### ■取り外すには

まず、格納します。次に、トノカバーの両端を下から押し上げると取り外せます。

### ■取りつけるには

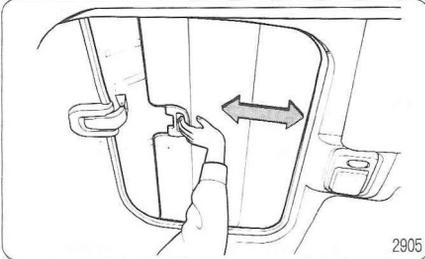
両端にある凸部を取りつけ穴に差し込むと固定されます。

## ⚠注意

- リヤシート（ティアス系）の後倒しレバー（リクライニングレバー）を操作して背当てをトノカバーで支えることはしないでください。トノカバーが破損することがあります。
- トノカバーの上に物を置かないでください。荷物が落下したり、トノカバーが破損することがあります。

## サンサンルーフ

### ■フロントサンシェード（遮光板）

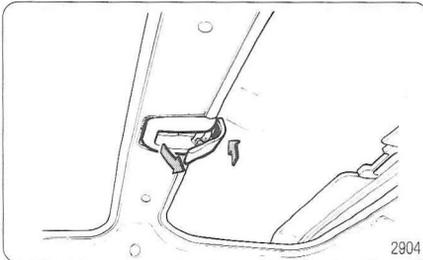


日差しが強いときなどに手で開閉できます。取っ手に手を入れてゆっくりスライドさせます。

#### アドバイス

**サンシェードを開閉するときは**  
全閉か全開で使用してください。途中で止めて使うと、走行中音が出ることがあります。

### ■フロントサンルーフ



#### ●開けるとき

フロントサンシェードを全開にしてからハンドルを手前に引き、サンルーフ後端を持ち上げるように「カチッ」と音がするまで押し上げて固定します。

#### ●閉めるとき

ハンドルを手前に引いてサンルーフを下げて、手のひらでハンドルを押しします。

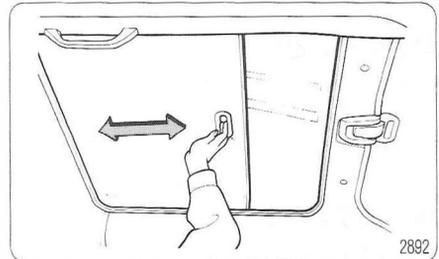


注意

#### 開閉するときは

開閉操作時、指をはさまないように気をつけてください。

### ■リアサンシェード（遮光板）



ガラスハットと連動して開閉します。また、ガラスハットが閉まっているときは手で開閉できます。

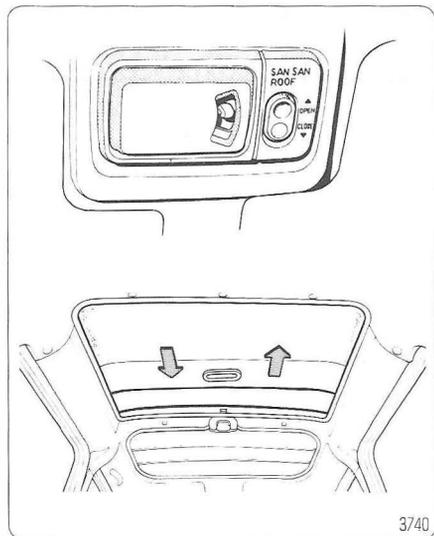
取っ手に手を入れてゆっくりスライドさせます。

#### アドバイス

#### サンシェードを開閉するときは

全閉か全開で使用してください。途中で止めて使うと、走行中音が出ることがあります。

## ■リヤサンルーフ



3740

### ●開けるとき

エンジンスイッチが「ON」のときサンルーフスイッチの「OPEN」側を押している間、ガラスリッドが開きます。手を離すとその場で止まります。

### ●閉めるとき

サンルーフスイッチの「CLOSE」側を押している間閉じます。全閉になる手前(約25cm)で一度止まります。スイッチから手を離して安全を確認してから再度押します。

途中で手を離すとその場で止まります。

☆163ページ

(サンルーフが閉まらないとき)

## ⚠警告

サンルーフを開口したときは

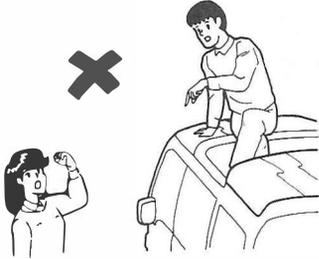


2909

- 走行中、または一時停止時に開口部から顔や手、物などを出さないでください。車外のものなどに当たったり、万一のときに重大な事故になることがあります危険です。とくにお子さまに気をつけてください。
- サンルーフを開閉するとき手や首をはさまないように気をつけてください。とくにお子さまには気をつけてください。
- 走行中、または一時停止時にルーフ開口部のふちに腰をかけたりしないでください。万一のとき車から投げ出されることがあり危険です。

## ⚠注意

### サンルーフを開閉したときは



2910

- 停車時、ルーフ開口部のふちに腰をかけた  
り、荷物をのせるなど大きな力を加えな  
いでください。  
ルーフがへこむことがあります。
- 全開または全閉になったらスイッチを押し  
続けしないでください。故障の原因になりま  
す。

## アドバイス

### サンルーフを開閉するときには

- 車から離れるときや洗車するときは、サ  
ンルーフが完全に閉じていることを確か  
めてください。
- 雨の後や洗車した後に開けるときは、サ  
ンルーフの上の水を拭き取ってください。  
室内に水が入ることがあります。
- 降雪の後はサンルーフの上の雪を取り除  
いてから開けてください。
- キャリアなどを取りつけたときは、のせ  
た荷物に当たらないように気をつけてく  
ださい。

### 開閉するときには

消費電力が大きいためエンジンをつけた状  
態で開閉してください。





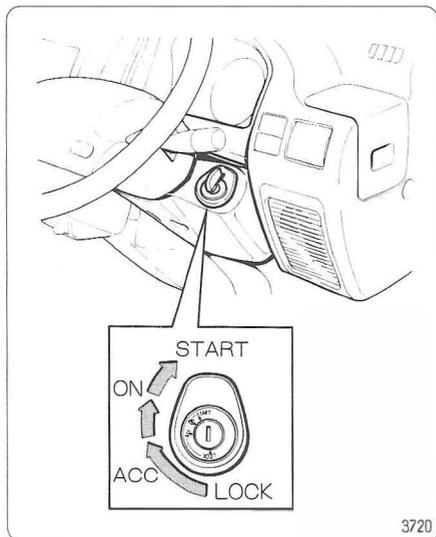
# 運転装置などの使いかた

基本操作 .....	114
エンジンスイッチ (キーの操作).....	114
チェンジレバー (マニュアル車の装備).....	115
ハンドブレーキレバー (ハンドブレーキの操作).....	116
エンジンの始動・停止 .....	116
オートマチック車の正しい運転のしかた .....	118
セレクトレバーの操作 .....	118
運転のしかた .....	120
エンジンをかける前に .....	120
エンジン始動 .....	120
発    進 .....	121
走    行 .....	121
停    車 .....	122
駐    車 .....	122
4WD車の運転 .....	123
セレクトィブ4WD .....	123
フルタイム4WD .....	127
4WD車を使用するとき .....	128
ABS (アンチロックブレーキシステム) .....	130

# 基本操作

## エンジンスイッチ

### キーの操作



3720

#### ■各位置の働き

LOCK  
(ロック)

キーの抜き差しができる位置

キーを抜くとハンドルがロックされます。

ACC  
(アクセサリー)

エンジン停止時、次のものが使用できる位置

ワイパー・ウオッシャー、オーディオ、シガーライター

ON  
(オン)

エンジン回転中の位置

すべての電装品に作動電源が供給されます。

START  
(スタート)

エンジンを始動する位置

### ⚠警告

走行中「LOCK」にしないでください

キーが抜けるとハンドルが固定され、操作できなくなり、重大な事故につながるおそれがあります。

### アドバイス

エンジンを止めているときには

スイッチを「LOCK」にしてください。

長時間「ON」にしたり、「ACC」にして電装品を使うと「バッテリー」あがりの原因になります。

キーが「LOCK」から「ACC」に回らないとき

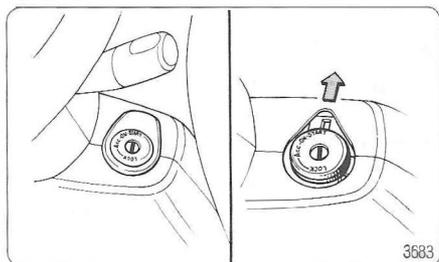
ハンドルを左右に回しながらキーを操作してください。

#### ■キーを抜くとき

オートマチック車は、セレクトレバー[P]にしてキーを「LOCK」に回してください。

## アドバイス

オートマチック車でキーが抜け  
ないとき



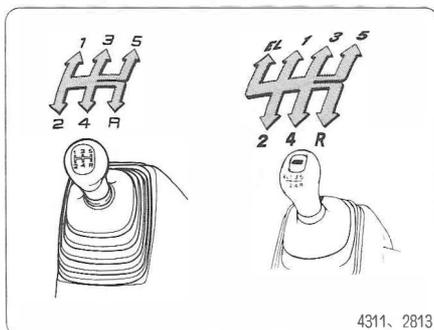
万一、システムの故障などでキーが抜け  
なくなったときは、キー外周のカバーをはず  
し、中にある解除レバーを前に押してキー  
を抜いてください。

## ■キー抜き忘れウオーニング——

(キーを抜き忘れるとブザーが鳴ります)  
キーを差し込んだまま運転席ドアを開ける  
とブザーが鳴り、キーの抜き忘れを防止し  
ます。

## チェンジレバー

### マニュアル車の装備



変速するときは、クラッチペダルをいつぱ  
いに踏み込んで確実に操作してください。

## ■Rに入れるとき——

誤操作を防ぐため、「5」→「R」へは直  
接入れることはできません。一度「N」に  
戻してから「R」に入れてください。

## ⚠注意

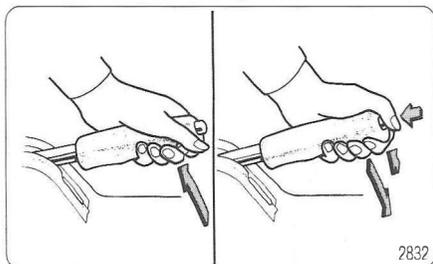
### 「R」に入れるときは

車が完全に止まり、エンジン回転がアイド  
リング回転まで下がってから入れてくださ  
い。

トランスミッションを損傷させることがあ  
ります。

## ハンドブレーキレバー

### ハンドブレーキの操作



#### ■使用するとき

レバーをいっぱいに引きます。同時にメーター内の「ブレーキ警告灯」も点灯します。

#### ■戻すとき

レバーを軽く引き上げ、ボタンを押しながら完全に下まで戻します。戻したとき「ブレーキ警告灯」が消灯していることを確認してください。

### ⚠注意

#### 駐車するとき、走行するとき

- 駐車するときは車が動き出さないように確実に引いてください。
- 走行するときはレバーを完全に戻し、ブレーキ警告灯が消灯していることを確かめてください。  
レバーを引いたまま走行すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

## エンジンの始動・停止

■エンジンをかける前に安全を確かめます

#### ●マニュアル車

- (1)ハンドブレーキレバーを引く
- (2)チェンジレバーをニュートラルにする

#### ●オートマチック車

☆120ページ（運転のしかた）

■エンジンをかけるとき

- (1)アクセルペダルから足を離し
- (2)マニュアル車はクラッチペダルを踏んで
- (3)エンジンがかかるまでスターターを回します。

### ⚠注意

10秒以上スターターを回し続けしないでください

スターターの故障の原因になります。かからないときは10秒位休んでからもう一度スターターを回します。

- (4)エンジンがかかった後はエンジン回転が高めに保たれます。

暖機されるにしたがって自動的に下がります。

### アドバイス

エンジンがかかりにくいときは

アクセルペダルをわずかに踏み込み、エンジンがかかるまでスターターを回します。

- 暑い日の走行直後はかかりにくいことがあります。

---

## ■エンジンを止めるとき

アイドリング回転数に落としてからエンジンスイッチを切ります。

# オートマチック車の正しい運転のしかた

## セレクトレバー

### ■各位置での働き

**P**  
パーキング  
駐車およびエンジン始動位置  
駐車の際は必ずハンドブレーキをひいて**P**にしてください

**R**  
リバース  
後退  
ブザーが鳴り、ドライバーに**R**であることを知らせます

**N**  
ニュートラル  
動力が伝わらない位置  
(停車時)

**D**  
ドライブ  
通常走行  
車速およびアクセルペダルの踏み込みに応じて1速↔2速↔3速に自動的に変速します

**2**  
セカンド  
下り坂および登り坂走行  
エンジンブレーキが必要なとき、登り坂走行などで使います。  
1速↔2速に変速します。

**1**  
ファースト  
下り坂および登り坂走行  
さらに強くエンジンブレーキが必要なとき、急な登り坂、湿った砂地などで使います。  
1速に固定されます。

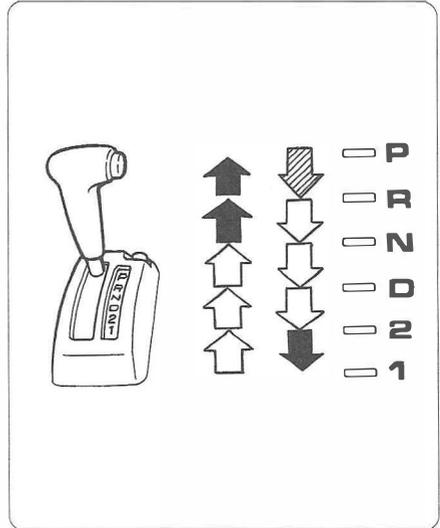
安全のために

☆12ページ

セレクトレバーが動かなくなったとき

☆15ページ

### ■操作方法



- ➡ ボタンを押しながら動かします。
- ▨➡ ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押しながら動かします。
- ➡ ボタンを押さずに動かします。

### ⚠警告

発進時は絶対にアクセルペダルを踏んだままセレクトレバーの操作をしないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

### ⚠注意

**P**でエンジンをかけてください。

**N**でもエンジンはかかりますが、安全のため**P**でかけてください。

**P・R**に入れるときは

車が完全に止まってからセレクトレバーを操作してください。トランスミッションを破損させることがあります。

---

 **注意**

**⇨の操作はボタンを押さないよう習慣づけてください**

「⇨ボタンを押さずに動かします」はボタンを押してもできますが、誤操作防止のためボタンを押さないよう習慣づけてください。

**後退した後は、すぐにRからNに戻す習慣をつけてください。**

---

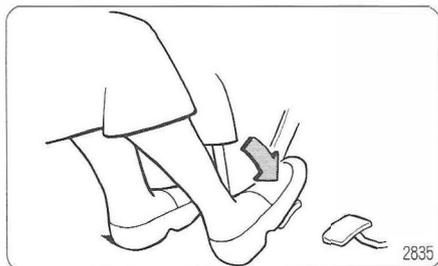
## 運転のしかた

### ■エンジンをかける前に

- 手順1 正しい運転姿勢をとりま  
す。  
☆42ページ  
(正しい運転姿勢)
- 手順2 アクセルペダルの位置を確  
認します。
- 手順3 ブレーキペダルの位置を右  
足で確認します。

### ⚠注意

#### 踏み間違いを防ぐため



アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認してペダルの位置感をつかんでください。

### ■エンジン始動

#### ☆114ページ (エンジンスイッチ)

- 手順1 ハンドブレーキを確認しま  
す。  
(レバーが引いてあること)
- 手順2 セレクトレバーがPであ  
ることを確認します。
- ⚠注意  
Nレンジでも始動できま  
すが、安全のためPレンジで  
行ってください。
- 手順3 ブレーキペダルを右足で踏  
んだまま
- 手順4 エンジンを始動します。

#### アドバイス

エンジンがかかりにくいときにアクセルペダルを踏む場合は、始動してからブレーキペダル踏み換えてください。

## ■発進

手順1

ブレーキペダルを右足で踏んだまま

### ⚠警告

アクセルペダルを踏まないでブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

手順2

セレクトレバーをDレンジ(前進)またはR(後退)に入れます。

手順3

セレクトレバーの位置を確認します。

手順4

ハンドブレーキを戻します。

手順5

右足をブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えゆつくりと加速します。

### ⚠注意

- エンジン始動直後やエアコン作動時などはアイドル回転が高くなり、クリーブ現象が強くなります。とくにしっかりと踏んでください。

☆12ページ(クリーブ現象)

### ●後退するときには

車の後方に人や障害物がないことを確認してください。車内にブザーは鳴りますが、車外の人には聞こえません。

## ■走行

通常の走行

Dレンジで走行します。アクセルとブレーキの操作だけで自動的に変速され走行できます。

急加速

アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。キックダウンして急加速できます。☆12ページ(キックダウン)

下り坂では

エンジンブレーキを併用してください。★17ページ(エンジンブレーキについて)

急な下り坂では

「2」または「1」レンジに入れます。さらに強いエンジンブレーキがかかります。

### ⚠注意

- 走行中はセレクトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキがまったく効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速走行中はセレクトレバーを「1」または「2」に入れないでください。エンジンが回転し過ぎるとエンジン破損につながる可能性があります。

## ■ 停 車

手順1

走行レンジのままブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。

### ⚠ 注意

エンジン始動直後やエアコン作動時などはアイドリング回転が高くなり、クリープ現象が強くなります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

手順2

必要に応じてハンドブレーキを引きます。

手順3

長時間、停車するときは **N**レンジにします。また、ハンドブレーキを引きます。

手順4

停車後の発進  
セレクトレバーの位置を確認して発進します。

### ⚠ 注意

#### 空吹かしをしないでください

- **P**・**N**レンジ以外に入っていると認め急発進の原因となります。
- エンジンをかけ、停車中にセレクトレバーを動かすときはブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

## ■ 駐 車

手順1

車を完全に止めます。

手順2

ブレーキペダルを踏んだまま

手順3

ハンドブレーキをしっかりと引きます。

手順4

セレクトレバーを **P**レンジに入れます。

手順5

エンジンを切ります。

☆20ページ  
(駐停車について)

### ⚠ 注意

エンジンをかけたままにしておくと、万一セレクトレバーが「P」以外に入っていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき急発進するおそれがあります。

# 4WD車の運転

サンバーには2つのタイプの4WDシステムがあります。お客様の車の4WDシステムを十分理解してご使用ください。

- (1)セレクトイブ4WD
- (2)フルタイム4WD

## セレクトイブ4WD

必要に応じて4輪駆動に選択できる4WDです。通常は2WDで走行し、悪路、雪道、ぬれた路面の高速道路、山岳走行のときに4WDに切り替えます。

4輪駆動にすると前後輪が直結になり、前後輪に等分に駆動力が配分されます。

### ⚠注意

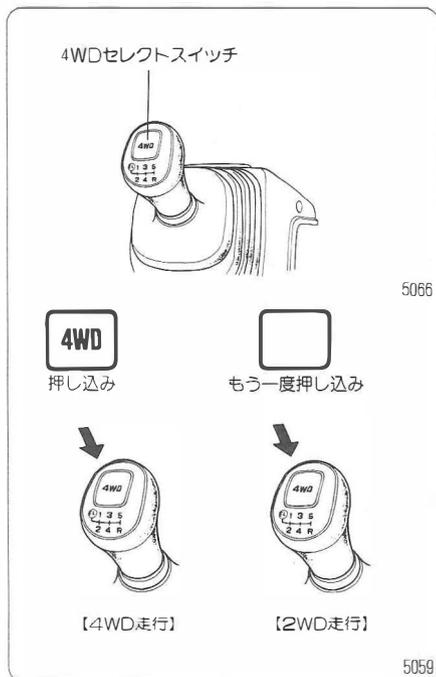
#### 4WDへの切り替えは

- タイヤが空転しているときは絶対に切り替えないでください。大きな力がクラッチ系統や駆動系に加わり、悪影響を与えます。
- 切り替えは直進時にクラッチペダルを踏まないで、アクセルペダルを戻してからスイッチを押すと、スムーズに切り替わります。

#### 走行するときは

- 4WDにすると前後輪が直結になり、等分に駆動力が配分されます。同時に、直結状態のためタイトコーナーブレーキング現象が発生しますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■2WD→4WD走行の切り替え——  
チェンジレバーのノブ中央の「4WDセレクトスイッチ」で切り替えます。エンジンが回っていれば、いつでも切り替えられます。



#### ●4WD走行にするとき

スイッチを押し込みます。スイッチ内部では押し込んだ位置に保持され（表面のカバーはスイッチ押し込み後、元の位置に戻ります）、同時にメーター内の「4WD表示灯」が点灯します。

#### ●2WD走行に戻るとき

スイッチをもう一度押し込みます。スイッチは元に戻り、「4WD表示灯」も消灯します。

## ■4WD-ELLレンジへの切り替えー

砂地、悪路、急坂路などとくに大きな駆動力を必要とする場合に切り替えます。



### ●2WD走行のとき

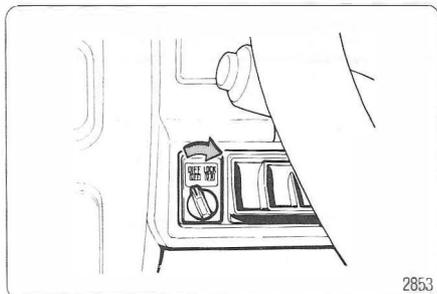
ELLレンジに入れると自動的に4WD-EL走行に切り替わり、同時にメーター内の「4WDセレクトインジケーター」も点灯します。ELLレンジ以外にすると2WD走行になり、「4WDセレクトインジケーター」も消灯します。

### ●4WD走行のとき

ELLレンジ以外にしても4WDのままです。

## ■リヤデフロック

積雪地、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転して動けなくなったとき、駆動力を左右タイヤに等しく伝達して脱出しやすくする装置です。チェンジレバーがELかR（後退）の位置でのみ作動します。



### ●デフロックの切り替え

- ①エンジンが回っているとき、チェンジレバーをELかRにします。
- ②デフロックスイッチを「ON」にします。
- ③デフロック状態になると、メーター内の表示灯が点灯します。

### ●解除するとき

- ①デフロックスイッチを「OFF」にします。
- ②デフロックが解除されると、メーター内の表示灯も消灯します。

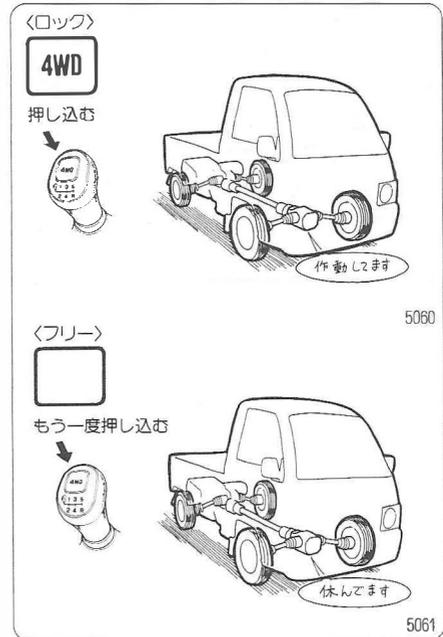
## ⚠ 注意

### 使用するとき

- 舗装路では使用しないでください。タイヤの摩耗を防ぐためです。
- タイヤの回転が止まってからデフロックスイッチを操作してください。変速機を傷めないためです。
- デフロックスイッチを操作しても切り替わらないときは、アクセルペダルを軽く踏むなどしてタイヤを少し回転させてください。
- ぬかるみなどからの脱出後は、デフロックスイッチをOFFにしてください。切り替え遅れが発生する場合がありますが異常ではありません。

### ■フリーホイールアクスル

フリーホイールアクスルは2WD走行のとき、プロペラシャフトなどの前輪駆動装置を切り離して回転を止め、タイヤのみを自由に回転させて騒音や摩耗を減らし、経済的に運転するための装置です。4WDセレクトスイッチを操作することにより自動的にロック（結合）、フリー（切り離し）に切り替わります。



### ●ロック（結合）にするとき

- ① 4WDセレクトスイッチを押し込み、4WDにします。
- ② 走行して4WD状態になると、自動的にロック（結合）になります。

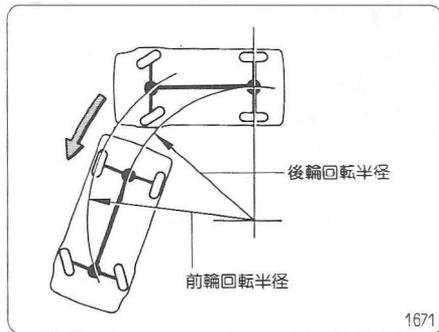
## ●フリー（切り離し）にするとき

- ①4WDセレクトスイッチをもう一度押し  
て4WDを解除します。
- ②走行して2WD状態になると、自動的に  
フリー（切り離し）になります。

### アドバイス

- 切り替えは、走行中にアクセルペダルを  
戻し、クラッチペダルを踏まないでスイ  
ッチを押すと、スムーズに切り替わりま  
す。
- フリーホイールアクスルが切り替わると  
き作動音「カチッ」がすることがありま  
すが、異常ではありません。
- 旋回時に切り替えると、切り替わらない  
場合があります。直進状態にして再度行  
ってください。

## ■タイトコーナーブレーキング現象 について



4WD走行中に乾いた舗装路の急カーブを  
曲がろうとすると、ブレーキをかけたよ  
うな状態になることがあります。この現象を  
タイトコーナーブレーキング現象といいま  
す。

これは、前後タイヤの回転差をプロペラシ  
ャフトで強制的に抑えるために起こる現象  
で、滑りやすい路面では前後いずれかのタ  
イヤがスリップするので、ほとんど発生し  
ません。

## ●「タイトコーナブレーキング現象」を避けるために

- 急カーブを走っているときにスイッチを操作しても4WD→2WDの切り替えができないことがあります。

この場合は、直進走行すると切り替わります。

- 4WD走行で車庫入れや急ハンドルを切って走行しないでください。大きな力がクラッチ系統や駆動系統に加わり、悪影響を与えます。

- 急加速中や急カーブを走っているとき切り替え操作をすると、切り替え遅れや軽いショックを感じます。

これは、切り替えクラッチに加わっている力が解除されるために生じるもので異常ではありません。

- 同じ理由で、前後タイヤのサイズが違う場合も切り替え遅れや切り替えショックが発生します。異なったサイズのタイヤは絶対に使用しないでください。

また、定期的にタイヤ空気圧を点検してください。

- タイヤチェーンを装着したときは4輪駆動が解除しにくくなることがあります。この場合は、スイッチ操作後少し走ると解除します。

## フルタイム4WD

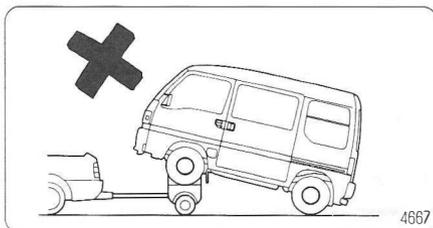
ビスカスカップリングを採用していますので、前後輪に回転差が生じたとき適正に駆動力が配分され、雪道、ぬかるみ、滑りやすい路面で威力を発揮します。

### ■けん引するときの注意

前輪(後輪)が回転すると後輪(前輪)が回されるため、けん引時は注意してください。



### けん引のとき



前輪だけを上げたけん引は絶対にしないでください。飛び出す原因となり危険です。また、ビスカスカップリングの劣化の原因にもなります。

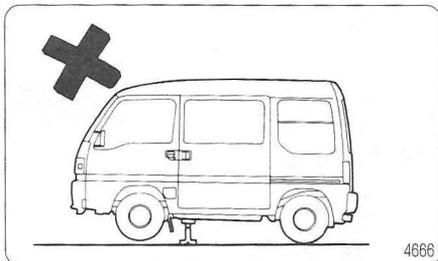
☆155ページ (けん引)

### ●整備時の注意

常時4輪に駆動力が伝達されるため整備時などには注意してください。



### 整備のとき



前輪または後輪だけを回転させることは絶対しないでください。車が飛び出し非常に危険です。

## 4WD車を使用するとき

### ■万能車ではありません

タイヤが沈み込むような深い砂地、河川、海中などに乗り入れないでください。やむを得ず走行したときは、走行後各部を念入りに洗ってください。砂、泥、塩分などがブレーキ内部に入って異常があるときは、すみやかに点検整備を受けてください。

### アドバイス

過酷なオフロード走行はしないでください。

### 酷使による故障は

保証修理の対象になりませんのでご注意ください。

### ■過信は禁物

4WD車は滑りやすい路面、積雪路などで2WD車よりすぐれた性能を発揮しますが急ハンドル、急ブレーキでは2WD車とあまり差がありません。

カーブや下り坂、雪道や凍結路など滑りやすい路面は十分にスピードを落とし安全な速度で慎重に走行してください。

### ■雪道走行は冬用タイヤで

スタッドレスタイヤ（同一サイズ、同一銘柄）を装着してください。

一般タイヤでは、雪道、凍結路でスリップしやすく危険です。

---

■**タイヤチェーンは非常のときのみ  
後輪に**

雪道走行が予想される場合、スタッドレス  
タイヤを用意してください。

☆**172ページ (タイヤチェーンの取り  
扱い)**

前輪にとりつけないでください。

- タイヤチェーンを取り付けると前後のバ  
ランスが変わるため安全な速度で慎重に  
運転してください。

(30km/h以下で走行し、急発進、急ブレ  
ーキ、急ハンドルは避けてください)

■**前後輪に同じタイヤを**



**次のことは必ず守ってください**

- 4輪とも同一銘柄、同一サイズのタイヤ  
を装着してください。
- 指定空気圧を保ってください。

☆**179ページ (タイヤ空気圧)**

---

## アンチロックブレーキシステム

ABSはブレーキ系統を電子制御し、車輪のロックを防止して滑りやすい路面の制動でも方向安定性を保ち、ハンドル操作性を確保しようとする装置です。

万一、異常が生じた場合は普通ブレーキとして作動します。

### 注意

- ABSは必ずしも制動距離を短縮する装置ではありません。

ABSのついていない車両と同じように車間距離をとって運転してください。

- ABSが作動した状態であっても車両の方向安定性、ハンドル操作性には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、新雪路などの路面ではABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることもあり、事故につながるおそれがあります。

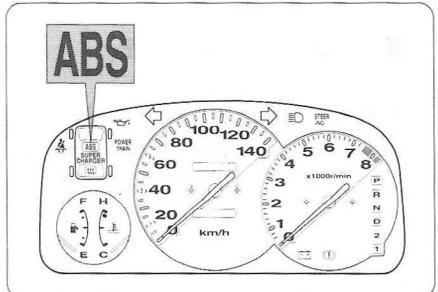
このような道路条件では、とくに速度を控え目にして車間距離を十分にとって運転してください。

### アドバイス

- ABSが作動したとき、ブレーキペダルが小刻みに動いたり、車体やハンドルなどに振動を感じることがあります。これはABSが作動している状態で、正常です。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

- エンジンをかけた直後発進すると、運転席床下付近から一時的に作動音がします。これはABSの作動をチェックしている音で正常です。
- エンジンをかけて最初に走り始めたときブレーキペダルを踏むタイミングによってはペダルに「コツン」と動きを感じることがあります。これはABSの作動をチェックしている動きで、正常です。
- ABSが作動すると、ハンドル操作のフィーリングが若干変わります。

### ■ ABS制御警告灯



エンジンスイッチをONにしたとき数秒間点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

---

## ⚠注意

警告灯が次のようになった場合はシステムの異常が考えられますので、すみやかにスバルの販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しない
- 走行中に点灯したとき

なお、このような場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。

(ABSとしての作動はしません)

---

## アドバイス

警告灯が次のようになった場合でも正常です。

- エンジン始動時に警告灯が点灯してもすぐに消灯し、その後再び点灯しない
  - 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない。
-





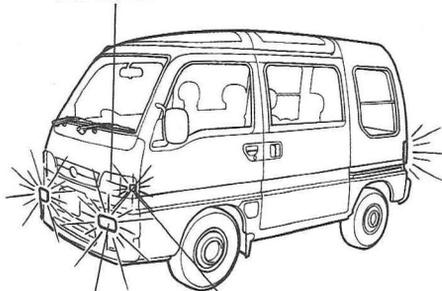


# 車の手入れ

電球（バルブ）の交換 .....	136
ワイパーブレードの取り外し、取り付け .....	141
タイヤローテーション（タイヤの位置交換）.....	142
車の保管について .....	144
洗車とワックスがけ .....	145
ガラスの手入れ .....	146
内装の手入れ .....	146

## ■電球（バルブ）の交換

ヘッドランプ(60/55W)  
異形ヘッドランプのみ  
ハロゲンランプ



前面方向指示器  
(21W)

車幅灯(5W)  
側面方向指示器(5W)

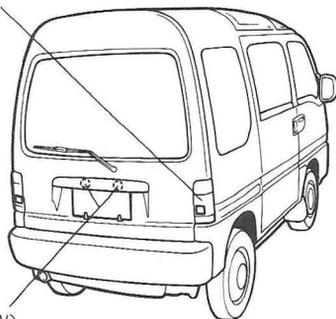
ヘッドランプ(60/50W)



車幅灯(5W)

側面方向指示器(5W)  
前面方向指示器(21W)

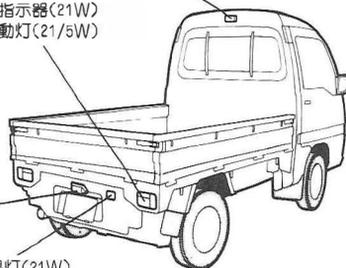
リヤコンビネーションランプ  
後面方向指示器(21W)  
尾灯、制動灯(21/5W)  
後退灯(21W)



番号灯(6W)

作業灯(10W)

リヤコンビネーションランプ  
後面方向指示器(21W)  
尾灯、制動灯(21/5W)



番号灯(10W)

後退灯(21W)

4652、4675、3743、2950

## ⚠ 注意

### 電球を交換するとき

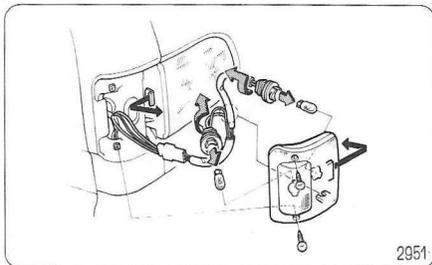
- 定められたワット数のものと交換してください。  
大きなワット数のものに交換すると、車両火災の原因になります。
- レンズをネジで締めつけるとき、締めすぎてレンズを割らないように気をつけてください。
- 取りはずした部品をなくさないようにして元どおり取りつけてください。パッキンなどが確実に取り付けられていないと、水が入る原因になります。
- 電球を交換したときは、点灯、消灯、点滅を確かめてください。

## アドバイス

### ヘッドランプの交換は

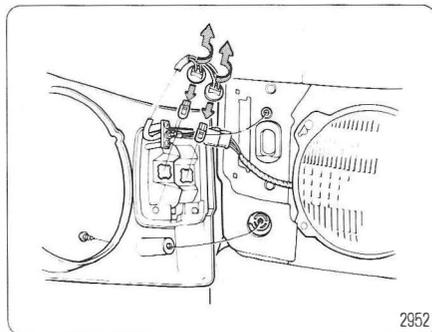
スバルの販売店に依頼してください。  
ヘッドランプを交換したときは法令で定められた調整が必要です。

### ■車幅灯、側面方向指示器 (ディアス、バン、トラック)



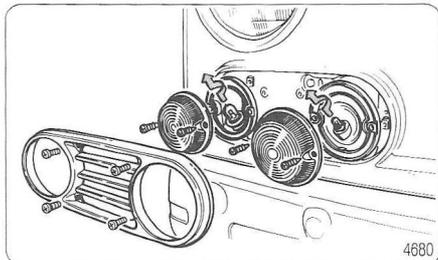
- (1)前面のネジ2本をはずし、ランプ本体を取りはずします。
- (2)ソケットを左に回し、ランプ本体からはずします。
- (3)電球をつまんで引き抜き、ソケットからはずします。

### ■車幅灯、側面方向指示器 (STDスペシャルII)



- (1)フロントグリルをはずします。
- (2)ソケットを左に回し、ランプ本体からはずします。
- (3)電球をつまんで引き抜き、ソケットからはずします。

## ■車幅灯、前面方向指示器 (クラシックのみ)

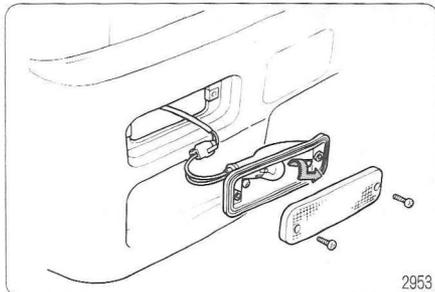


- (1) グリルを取りはずします。(ネジ4本)
- (2) レンズを取りはずします。(ネジ2本)
- (3) 方向指示器は電球をいっぱい押し込みながら左に回し、ソケットからはずします。
- (4) 車幅灯は電球をつまんで引き抜き、ソケットからはずします。

### アドバイス

レンズをつけるとき上下をまちがえないでください。(凸部が上で、溝のある方が下)

## ■前面方向指示器 (クラシック以外)

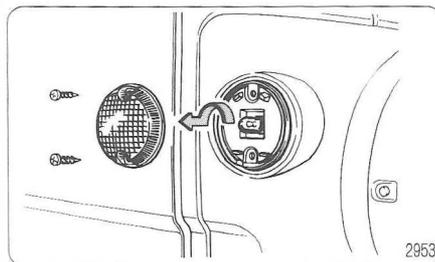


- (1) 前面のネジ2本をはずし、レンズを取ります。
- (2) 電球をいっぱい押し込みながら左に回し、ソケットから取りはずします。

### アドバイス

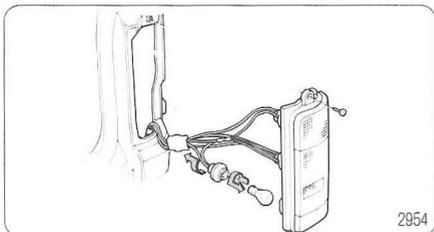
レンズをつけるときはパッキングランプボディの溝に確実に入っていることを確認してください。

## ■側面方向指示器 (クラシックのみ)



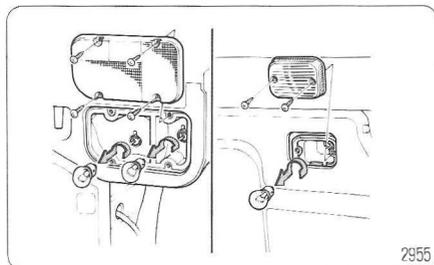
- (1) 前面のネジ2本をはずし、レンズを取ります。
- (2) 電球をつまんで引き抜き、ソケットからはずします。

## ■リヤコンビネーションランプ (ディアス、バン)



- (1) リヤゲートを開けます。
- (2) ネジ1本をはずしてランプ本体を斜め上に取りはずします。
- (3) ソケットを左に回し、ランプ本体からはずします。
- (4) 電球をいっぱい押し込みながら左に回し、ソケットからはずします。

## ■リヤコンビネーションランプ (トラック、パネルバン)

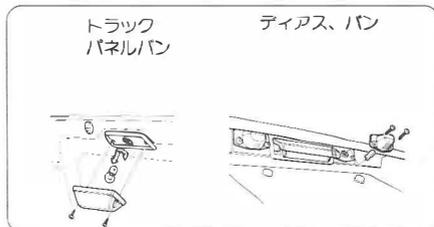


- (1) 前面のネジ4本をはずし、レンズを取ります。
- (2) 電球をいっぱい押し込みながら左に回し、ソケットからはずします。
- (3) 後退灯も同様にはずします。

## アドバイス

レンズをつけるとき、ランプの上下を逆に、取り付けないよう気をつけてください。バッキンに水抜き穴のついている方が下側です。

## ■番号灯



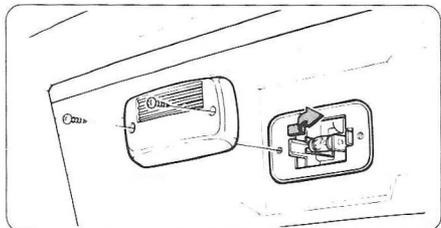
### ●トラック、パネルバン

- (1) 前面のネジ2本をはずし、レンズカバーを取ります。
- (2) 電球をいっぱい押し込みながら左に回し、ソケットからはずします。

### ●ディアス、バン

- (1) 前面のネジ2本をはずし、レンズを取ります。
- (2) 電球をつまんで引き抜き、ソケットからはずします。

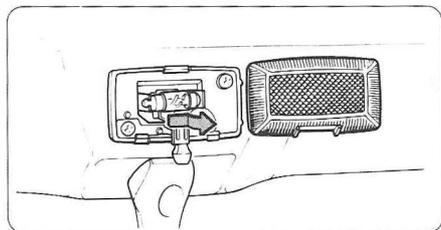
## ■作業灯（トラック）



(1)前面のネジ2本をはずし、レンズを取ります。

(2)電球をつまんで引き抜きます。

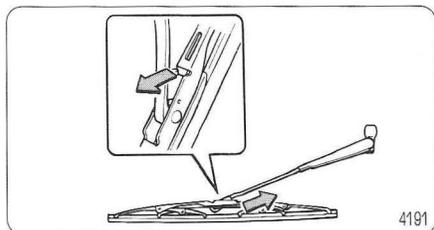
## ■ルームランプ



(1)レンズの縁を強くこじってはずします。

(2)電球をスイッチと反対方向に押しつけ、手前に引いてはずします。

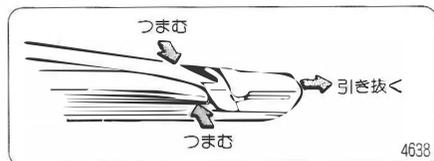
## ワイパーブレードの取り外し、取り付け



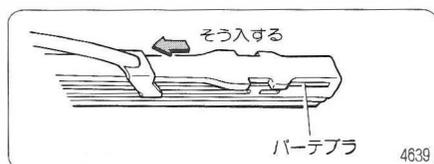
ワイパーアームについている爪を押し下げながらブレードを矢印の方向に引いて外してください。

取りつけるときは矢印の方向と逆に押し込みます。

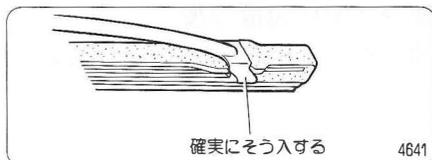
### ■ブレードラバーの交換方法



①古いブレードラバーを引き抜きます。  
図のように凸部分をつまんで引き抜いてください。



②新しいブレードラバーをそう入します。  
このとき、ラバーのミソを間違えないようにそう入してください。



③確実に装着されているか、確認してからワイパーを使用してください。  
間違った状態で装着されていると、ガラスに傷をつけることがあります。

### アドバイス

**ブレードラバーを交換するとき**  
それぞれのラバーにはさみ込まれているパーテブラを外さないようにしてください。

# タイヤローテーション

## ■ タイヤの位置交換

### ● 5本（スペアタイヤも使って）で行うとき

バイアスタイヤ(ティアス、トラック)	バイアスタイヤ(パン、パネルパン)	ラジアルタイヤ
<p>前 ↑</p>	<p>5.00-12-4PR ULT ↑</p> <p>スペアタイヤ</p> <p>5.00-12-6PR ULT</p>	<p>↑</p> <p>スペアタイヤ</p>

### ● 4本（スペアタイヤを使わない）で行うとき

バイアスタイヤ(ティアス、トラック)	バイアスタイヤ(パン、パネルパン)	ラジアルタイヤ
<p>前 ↑</p>	<p>5.00-12-4PR ULT ↑</p> <p>5.00-12-6PR ULT</p>	<p>↑</p>

ときどき位置を入れ替えると、タイヤは長持ちします。5000kmを基準に位置を入れ替えてください。

---

## ■タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧はときどき点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると重大な故障につながるおそれがあります。空気圧が不足している場合は、すみやかに正規な空気圧にしてください。空気圧は運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」ラベルまたは179ページのサービスデータで正しい空気圧を確認の上、調整してください。

調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。

### 注意

- 指定サイズおよび同一種類以外のタイヤ・ホイールは絶対に取り付けしないでください。不適正なタイヤを取り付けると安全性が損なわれ思わぬ事故につながるおそれがあります。

---

### アドバイス

#### 前・後輪でタイヤ仕様の異なる車の タイヤローテーション

- スペアタイヤは後輪と同一仕様です。
  - 前輪がパンクしたとき、パンク修理が終わったタイヤは必ず元の前輪に戻してください。
-

## 車の保管について

### ■車の外観を傷めるもの

車の外観を傷めるものにはたくさんあります。

- 塩分
- ばい煙
- 樹液
- 虫や鳥のふん
- 鉄粉や砂じん
- 農薬などの化学薬品

これらから車を守り、いつまでも美しく保つため、保管のしかたも重要です。

#### 保管するときは、

- 直射日光が当たらない風通しのよい車庫に保管します。
- 鉄道線路のわきや農薬などの化学薬品が飛散する場所、木のそばをさけます。
- いたずらされにくい場所を選びます。
- 防水性・通気性のよいボディカバーをかけます。

### ■ボディカバーについて

- スバル純正品の中から車に合ったものを選んでください。
- ときどき水洗いして砂ほこりなどを取り去ってください。
- 風で飛ばされないようしっかりかけてください。
- 雨の後、ボディカバーを外し、風通しをよくして車とボディカバーを乾かします。

### アドバイス

#### 夏場の屋外駐車は

車内温度が80°Cにもなります。可燃物（マツチなど）は置かないでください。また、計器盤の上、シートの上にゴム類を置かないでください。変色することがあります。

#### 長時間保管する場合は

ハンドブレーキを引かずに1速かR（オートマチック車はPレンジ）に入れ、輪止めをして車が動かないようにしてください。

また、ワイパーを立てておいてください。ゴムのくせ付けや汚れの付着を防止できません。

## 洗車とワックスがけ

### ■洗車のしかた

(1)水を十分にかけながら洗車します。

- ボディは柔らかいスポンジやセーム皮を使って洗います。
- 足まわり、フェンダー内側、下まわりなどを洗うときはゴム手袋などを着用し、ハンドブラシなどを使って洗います。泥などをよく落としてください。

(2)きれいに水を拭き取ります。



### 注意

**ブレーキのきき具合を確かめてください。**

洗車後はブレーキの効きが悪くなる場合があります。走り出す前にブレーキの効き具合を確かめてください。

### 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを内側にたたんでください。
- マイカ塗装車はすり傷が目立ちやすいのでスポンジやセーム皮での手洗い洗車をお奨めします。

### 温水洗車機を使うとき

- 洗車ノズルと車体との距離を十分はなしてください。(30cm以上)
- 同じ場所を連続して洗淨しないでください。
- 汚れが落ちにくい場合は手洗いしてください。コイン洗車機などの温水洗車機には機種によっては高温・高圧になるものがあるので、モールなど樹脂部分の変形、破損や室内に水が入ることがあります。

### アドバイス

#### アルミホイールは

セーム皮、スポンジなど柔らかいもので洗います。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って洗い、ワックスがけをしてください。

#### 水をかけるとき

エンジンルーム内には水をかけないでください。エンジン始動不良やエンジン不調、電気部品の故障などの原因になることがあります。

### ■ワックスがけ

洗車のあと、ボディの温度が体温以下のとき、ワックスがけをします。

### アドバイス

#### ワックス、コンパウンドについて

- マイカ塗装車には、コンパウンド入りのワックスを使用しないでください。
- お使いになるワックス、コンパウンドの使用上の注意をよく読んでから使用してください。

#### 目的に合ったワックスを使います

スバル純正品の中から目的に合ったものを選んでください。

- つや出し用：固形と半ねりタイプがあります。
- コンパウンド入り：汚れ、シミなどを落とすときに使います。

## ガラスの手入れ

油膜などがガラスについてワイパーの拭き残しが出たときは、ガラス洗剤を使ってきれいに落としてください。

### アドバイス

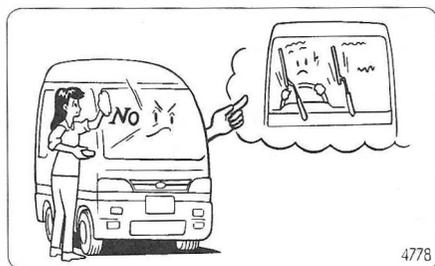
### ガラス洗剤は

次のスパル純正品を使用してください。

- クリーンオールV1
- ガラスクリーナー

### ガラスにはワックスをつけないでください

- フロントガラスにワックスが付着したり、窓ガラス用水はじき剤を使用しますと、ワイパーのピピリの原因になります。
- フロントガラスにはワックスが付かないよう注意してください。ガラスに被膜、油膜が付着していると、ワイパーの拭きが悪くなると同時に夜間の雨降りの場合、対向車のヘッドランプでガラスがきらきら光り、たいへん危険です。このようなときは、油膜落とし専用のガラスクリーナーで除去してください。



### リヤガラスを室内から拭くとき

- ガラス洗剤は使わないでください。
- やわらかい布などで軽く、熱線に沿って拭いてください。リヤウインドウデフォグの熱線を傷めることがあります。

## 内装の手入れ

室内は次のようにして、いつも清潔に保ってください。

- 室内の砂ぼこり、ゴミなどは掃除機で吸い取ります。
- ゴム製床マットは中性洗剤を使用し、ブラシで洗ってください。洗った後はよく乾かしてから正しく取りつけてください。
- 内張り、計器盤などの汚れ、ホコリは雑布で拭き取ってください。
- 室内の臭いは、消臭剤を使って消します。
- シート地、カーペット類の汚れ、シミは家庭用品、衣類に準じた方法で取り除いてください。
- シートカバーは清潔なものを使用してください。汚れたら外して洗濯してください。





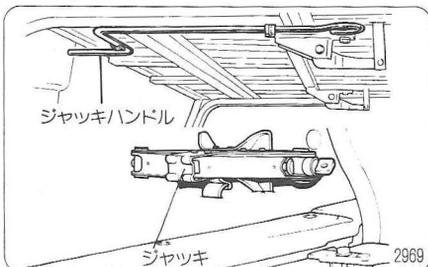
# 万-のとき

ジャッキ・スペアタイヤ・工具 .....	150
ジャッキ・ジャッキハンドル .....	150
スペアタイヤ .....	150
工具 .....	152
タイヤ交換ーパンクしたときの処置 .....	153
準備 .....	153
タイヤの交換 .....	153
パンクしたタイヤの格納 .....	155
けん引のとき .....	155
けん引フック .....	156
けん引方法 .....	157
ヒューズの交換 .....	158
ヒューズの位置 .....	158
オーバーヒートしたとき .....	159
踏切で動けなくなったとき .....	160
路上で動けなくなったとき .....	161
発炎筒 .....	161
バッテリーが上がったとき .....	162
リヤサンルーフが閉まらないとき .....	163

## ジャッキ・スペアタイヤ・工具

### ■ジャッキ・ジャッキハンドル

#### ●ディアス、バン

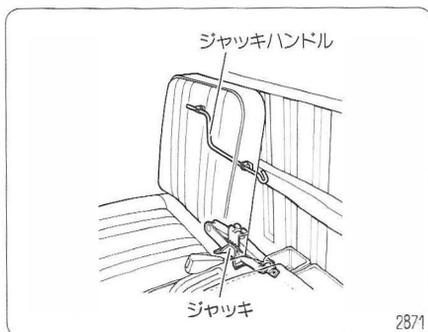


ジャッキはリヤシート下の左側フロアに取り付けられています。

取り出すときは、左側スライドドアを開け、ジャッキを縮めて取り出します。

ジャッキハンドルは、リヤシートのデッキ裏側に取り付けられています。

#### ●トラック、パネルバン



ジャッキ、ジャッキハンドル共に運転席シートの後ろに取り付けられています。

ジャッキを取り出すときは、助手席シートの背当てを前に倒し、ジャッキを縮めて取り出します。

ジャッキハンドルを格納するときは、取りつけ穴に差し込んでからホルダーに固定します。

### アドバイス

#### 無理に扱わないでください

ジャッキを取りつけるとき、ドライバーなどで無理に扱わないでください。

#### ときどきジャッキを点検してください

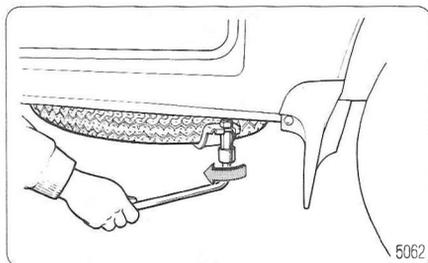
ネジ部のグリスが切れていたら、うすく塗っておいてください。

### ■スペアタイヤ

#### ●ディアス、バン

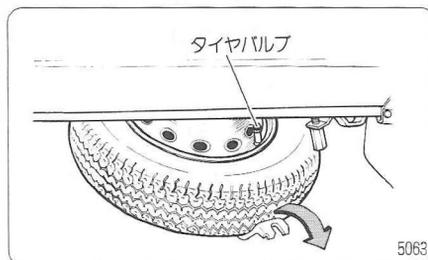
車体右側の床下にあります。

#### ●取りはずし



(1)袋ナットをホイールナットレンチでゆるめてからホルダーを持ち上げ、フックを溝からはずします。

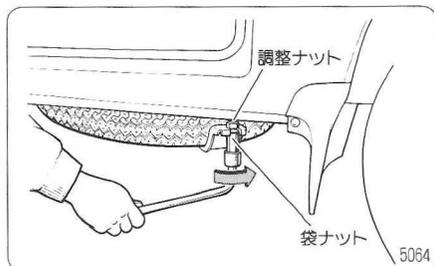
(2)ホルダーを下に降ろします。



(3)スペアタイヤを取り出します。

### ●取り付け

(1)タイヤバルブ側を上に向けてホルダーに入れます。



(2)ホルダーを持ち上げてフックを溝の奥まで入れ、袋ナットをホイールナットレンチで締め付けます。

(参考：締めトルク $3.8 \pm 1$  kg-m)



### 十分に確認してください

スペアタイヤを脱着したとき、万一、ゆるみなどで取り付けが不完全な状態になっていると、走行中脱落して思わぬ事故となり、危険です。

取り付け後は、取り付け状態を十分に確認してください。

### アドバイス

### ゆるみ、がたがあるときは

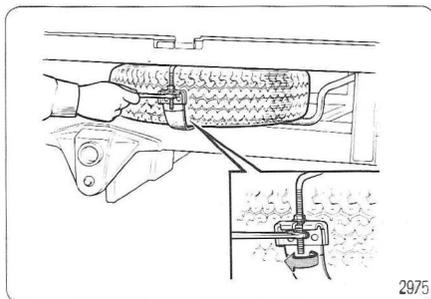
取り付け部の変形などを確認し、異常がなければ調整ナットを回して上にあげ、さらに袋ナットを締め付けます。

最後に調整ナットを締め付けます。

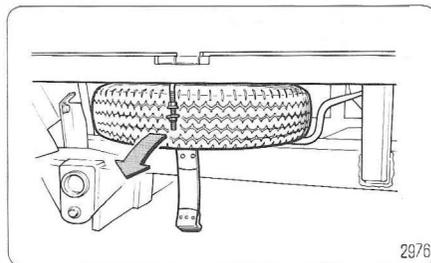
### ●トラック、パネルバン

右側のフレームと荷台床下の間にあります。

### ●取りはずし

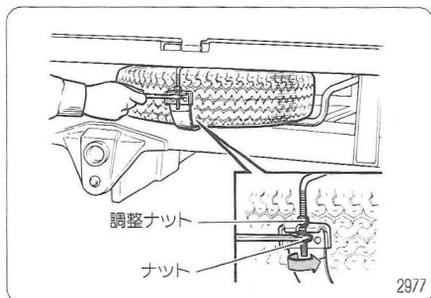


(1)ナットをスパナでゆるめてからスペアタイヤを手で支え、フックをバンドの溝からはずします。



(2)バンドをはずし、スペアタイヤを取り出します。

## ● 取り付け



- (1) タイヤバルブ側を上に向け、ホルダーに確実に入れます。
- (2) タイヤを手で支えながらフックをバンドの溝の奥まで入れ、スパナでナットを締めつけます。

## ⚠ 注意

### 十分に確認してください

スペアタイヤを脱着したとき、万一、ゆるみなどで取り付けが不完全な状態になっていると、走行中脱落して思わぬ事故となり、危険です。

取り付け後は、取り付け状態を十分に確認してください。

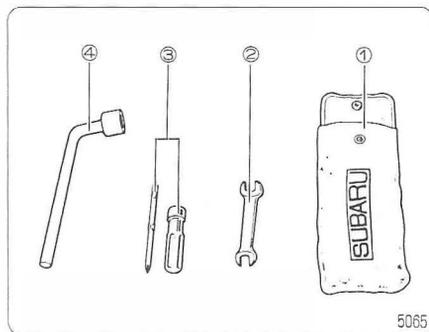
## アドバイス

### ゆるみ、がたがあるときは

取り付け部の変形などを確認し、異常があれば調整ナットを回して上にあげ、さらにナットを締めつけます。

最後に調整ナットを締め付けます。

## ■ 工具



工具は、グローブボックスなど決まった場所に置いておくと、万一のときすぐに取り出せます。この他にも必要と思われる工具もそろえておくと、点検や手入れのとき役立ちます。

## ● 搭載工具

	工具名称
①	ツールバック
②	スパナ (12×14)
③	ドライバー (プラス・マイナス兼用)
④	ホイールナット レンチ

## タイヤ交換

### パンクしたときの処置

#### ■準備

(1)交通のじゃまにならず、安全に作業ができる場所に車を止めます。

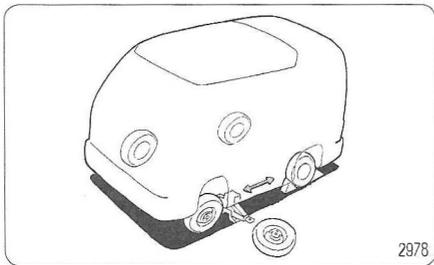
#### ⚠注意

#### 安全な場所を選んでください

地面が平らで硬く、車が安定する場所を選んで止めてください。

(2)非常点滅灯を点滅させ、人や物を降ろし、停止表示板を使用します。

(3)ハンドブレーキレバーを引きます。



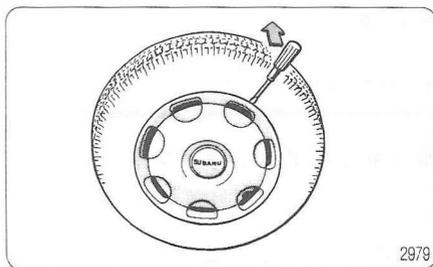
(4)車が動き出さないように、交換するタイヤと同じ側のタイヤの前後に輪止めをします。

(5)ジャッキ・ジャッキハンドル・スペアタイヤ、工具を取り出します。

#### ☆150ページ

#### (ジャッキ・スペアタイヤ・工具)

(6)スペアタイヤを交換するタイヤ近くの車体の下に置きます。



(7)ホイールキャップをはずします。ホイールキャップ外周にドライバーを差し込み、タイヤ側にこじってははずします。

#### ■タイヤの交換

#### ⚠警告

#### ジャッキを使用しているとき

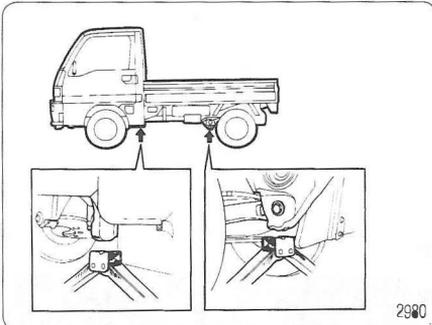
- エンジンは必ず切ってください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 車の中に入ったり、車体に振動を与えないでください。ジャッキがはずれることがあります危険です。
- 車の下にもぐり込まないでください。万一、ジャッキがはずれると危険です。

#### ⚠注意

- ジャッキは車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。
- ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
- 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
- 使用前にハンドブレーキを引き、オートマチック車はセレクトレバーを「P」に、マニュアル車はシフトレバーを「R」にしてください。

- 輪止めをしておいてください。動き出すことがあります。
- 荷物や同乗者を降ろしてください。

### ● ジャッキアップポイント

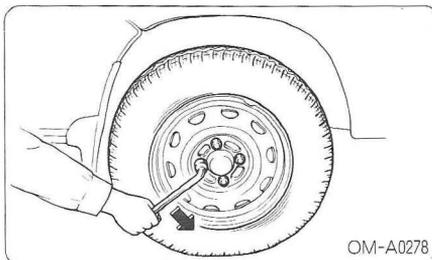


(1) 交換するタイヤに近いジャッキアップポイントにジャッキをセットし、車体に当たるまで手で回して上げます。

#### ⚠ 注意

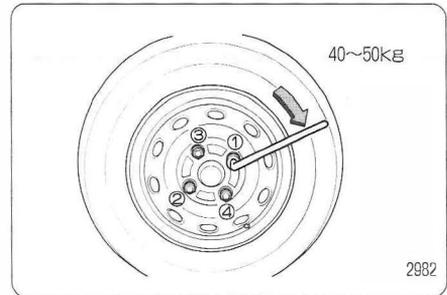
ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認してください。

セット位置以外にかかっているとジャッキが倒れてケガをするおそれがあります。



(2) ホイールナットレンチを使い、ホイールナットを1回転程度ゆるめます。

- (3) ジャッキハンドルを使い、タイヤが地面から少し離れるまで車体を上げます。
- (4) ホイールナットをはずします。
- (5) タイヤを取り替えます。
- (6) ホイールナットを手でいっぱい回します。ホイールが動かない程度までホイールナットを仮締めします。
- (7) ジャッキを降ろします。



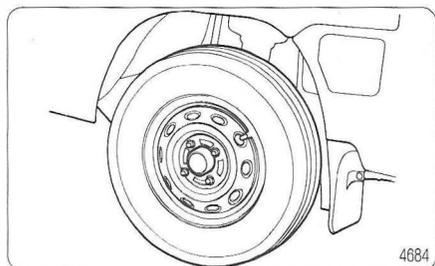
(8) 図の順番に2, 3回にわけてホイールナットを締め付けます。

レンチの柄の先端にかける力	締付トルク (参考)
40~50kg	8~10kg-m

#### ⚠ 注意

#### ホイールナットを締め付けるとき

- ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め過ぎないでください。
- ナット、ホイール座面、ネジ部にオイルやグリースなどがつかないようにしてください。油がついていると締め過ぎの原因になります。



4684

(9)ホイールキャップのバルブ穴とタイヤのバルブを合わせ、ホイールキャップ外周を叩いて、取りつけます。(ホイールキャップ付き車)

(10)センターキャップは、パンクしたタイヤの裏側から叩いてははずすか、ドライバーでこじってははずし、手で叩いてはめまず。

(センターキャップ付き車)

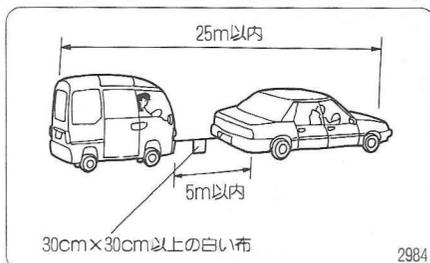
■パンクしたタイヤの格納———  
スペアタイヤが格納されていた場所にします。

#### アドバイス

#### タイヤ交換をしたとき

- 取りつけた後、1000km程度走行したら、もう一度規定の力で締め直してください。
- 車体に振動などがでたらスバルの販売店で点検整備を受けてください。パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などが原因でホイールバランスが狂うことがあります。

## けん引のとき



2984

車の故障などでけん引が必要な場合は、安全のため必ずスバル販売店に依頼してください。

出先では、メンテナンスノート巻末の「スバルサービス網一覧」を参考に、スバルの特約店、販売店、JAFに依頼してください。

### ⚠注意

次の車はけん引しないでください

- 自車より重い車
- 溝に落ちた車の引き上げ
- 故障の内容によりけん引できない場合があります。

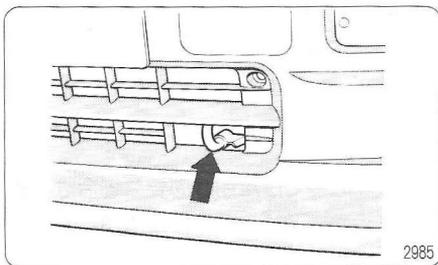
#### けん引する前に

トランスミッションとデファレンシャルのオイル量を点検し、不足しているときは上限まで補給してください。

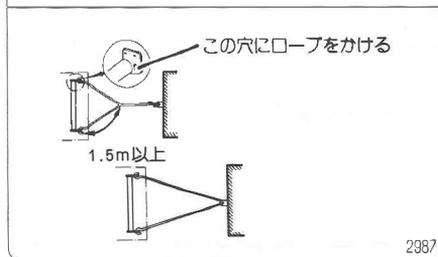
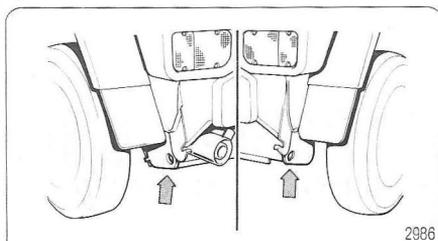
## ■けん引フック

指定のフックにロープをかけてください。

### ●フロント



### ●リヤ



エンジングロスメンバー両端にあるブラケットの穴を利用してけん引します。

図のように、必ず左右両側の穴を利用してください。

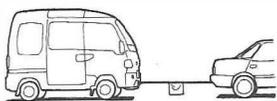
## ⚠注意

### けん引するとき

- 長い坂を下るときはレッカー車にけん引してもらってください。ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。
- ロープに衝撃を与えないように運転してください。
- エンジンスイッチをACCIにしてください。LOCKではハンドルが固定され危険です。
- ABS付き車は、エンジンスイッチONで前輪持ち上げけん引を行った場合、ABS制御警告灯が点灯する場合がありますが、これは、前後の車輪速度が通常状態でないことを検出するため、異常ではありません。
- エンジンを止めてけん引する場合は、次のような現象が起きます。十分注意して操作してください。
  - ▶ブレーキ倍力装置が働かず、ブレーキの効きが悪くなります。
  - ▶パワーステアリングが働かず、ハンドルが重くなります。
- ハンドブレーキを下まで確実に戻してください。

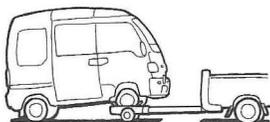
## ■けん引方法

### A：ロープけん引



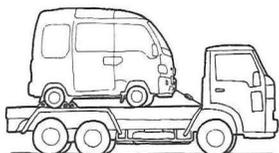
2988

### B：前輪持ち上げけん引



2989

### C：車載



2990

## ⚠注意

### けん引するときの走行条件

- 条件1：車載を原則とします。やむをえず、ロープけん引または前輪持ち上げけん引する場合は、走行距離30km以内、速度30km/h以下で行ってください。走行距離、速度ともに条件を越えると、トランスミッションが損傷することがあります。
- 条件2：4輪駆動を解除して可能です。4輪駆動を解除しないでけん引すると、タイトコーナーブレーキング現象が発生したり、車ごとび出すことがあります。
- 条件3：車載を原則とします。やむをえず、ロープけん引する場合は、走行距離30km以内、速度30km/h以下で行ってください。走行距離、速度ともに条件を越えると、4WD機構部分が損傷することがあります。

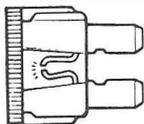
方法	2WD車		4WD車		
	マニュアル	オートマチック	セレクトタイプ	フルタイム	オートマチック
ロープけん引	可	不可	条件2	条件3	不可
前輪持ち上げ	可	条件1	条件2	不可	不可
車載	可	可	可	可	可

## ヒューズ交換

ランプ類が点灯しないとき、電気装置が働かないときはヒューズ切れが考えられます。

### アドバイス

#### ヒューズを点検してください

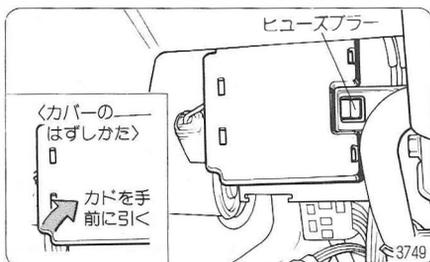


切れた状態

2992

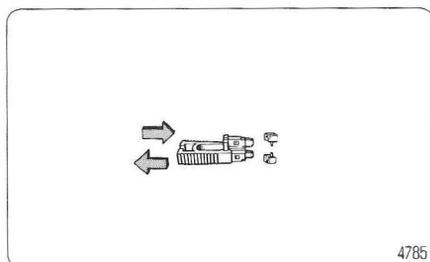
切れているときは同じ容量のスペアヒューズと交換してください。

#### ■ヒューズボックスの位置



計器盤下のペダル取付部左に取りつけてあります。

#### ■ヒューズの交換のしかた

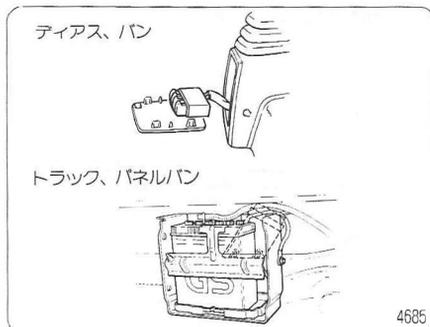


4785

カバーの表面に代表的な接続回路が表示されています。故障の状況から点検すべきヒューズを確認します。

ヒューズプラーではさみ、引き抜いてください。

#### ■メインヒューズ



4685

メインヒューズが切れている場合は、すみやかに点検整備を受けてください。

#### ●ディアス、バン

コンソールボックスの内部に取りつけてあります。コンソールボックスのカバーをはずし点検します。

#### ●トラック、パネルバン

バッテリーボックスの近くに取りつけてあります。

## ⚠ 注意

### ヒューズ交換するときは

- 必ずエンジンスイッチをLOCK位置にしてください。ONのままですと、ショートしたりして危険です。
- 指定容量のものと交換してください。それ以外のヒューズを使うと故障につながります。
- 針金や銀紙などは絶対に使わないでください。配線の過熱や焼損の原因になります。
- スペアヒューズを取りつける前に切れた原因を調べてください。交換してもすぐ切れてしまうときは、点検整備を受けてください。

## アドバイス

### スペアヒューズを使ったら

早めに補充しておいてください。

## オーバーヒートしたとき

## ⚠ 警告

### ●エンジンルームから水もれ、水蒸気の吹き出しがあるとき

蒸気が出なくなるまでエンジンフードを開けないでください。エンジンが高温になっているためやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ●ラジエーターが熱いとき、ラジエーターキャップを開けないでください

ラジエーターが熱いときラジエーターキャップを開けると蒸気や熱湯が吹き出しやけどの危険があります。

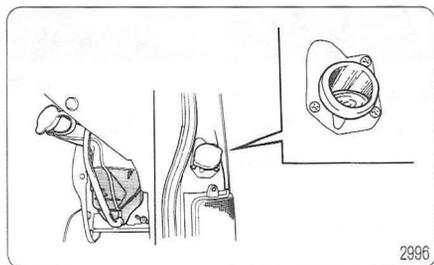
### ■車を安全な場所に止め、次の処置をします

(1)エンジンルームから水もれ、水蒸気の吹き出しがあるとき

- すぐにエンジンを止めてください。  
車を安全な場所に止め、スバルの販売店に連絡してください。

(2)エンジンルームから水も、水蒸気の吹き出しがないとき

- エンジンをかけたままエンジンフードを開けて風通しをよくします。  
このとき、冷却ファンが回っていることを確かめてください。  
ファンが回っていないときは、エンジンを止めてスバルの販売店に連絡してください。
- 水温計の針が下がってきたらエンジンを止めます。



- エンジンが冷えてから冷却水量、水もれなどを確認します。
- 冷却水が不足しているときは、補給します。注水口の口元まで、リザーブタンクの上限まで補給してください。

## 踏切で動けなくなったとき



### アドバイス

**緊急を要するとき、脱出できないとき**  
 次の方法で一刻も早く列車の運転士に知らせます。

同乗者は避難してください。

- **警報器のある踏切では**  
 警報器の柱などにある非常ボタンを押します。
- **警報器のない踏切では**  
 発炎筒を使い、合図します。

## 路上で動けなくなったとき

(1)あわてず、もう一度エンジンをかけてみてください。

(2)エンジンがかからないときは、同乗者や付近の人に押しってもらって安全な場所に移動してください。

そのときチェンジレバー、セレクトレバーは「N」にします。

アドバイス

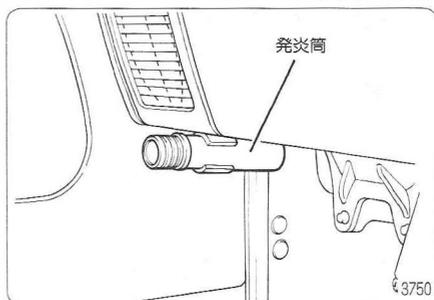
### エンジンがかからないとき、スターターを回して移動できます

マニュアル車は次の手順で移動できます。(オートマチック車は、この方法が使えません)

①3速か2速に入れ、クラッチペダルから足を離します。

②エンジンスイッチを「START」まで回し、スターターを断続的に作動させます。

## 発炎筒について



グローブボックス左下のボディに取り付けてあります。

使用方法は発炎筒の外筒に書いてあります。

### 警告

#### 発炎筒を使うときは

- おさまにさわせないでください。
- ガソリン、車など燃えやすい物のそばで使わないでください。引火することがあります。
- 筒先を顔や体に向けたり、人に近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。
- トンネルの中では使わないでください。煙が視界を悪くするので危険です。トンネルの中では非常点滅灯を使用してください。

☆63ページ（非常点滅灯）

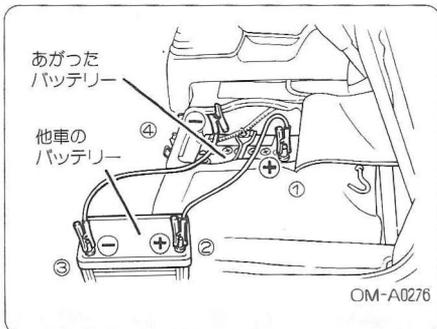
アドバイス

#### 発炎筒はすぐに使えるようにしておいてください

- 発炎筒には有効期限が明示されていません。期限切れのものは新品と交換してください。
- 使用後はすみやかに新品を備えつけてください。

## バッテリーが上がったとき

ブースターケーブルを接続します。ブースターケーブルを利用して他車のバッテリーと接続し、エンジンを始動することができます。



(1)ブースターケーブルを図の番号順に接続します。

- ①：バッテリー上がり車の「+」端子
- ②：他車（電源側）の「+」端子
- ③：他車（電源側）の「-」端子
- ④：バッテリー上がり車の室内のフロアパネル

(2)電源側の車を始動し、エンジン回転を少し高めに保っておきます。

(3)バッテリー上がり車のエンジンを始動します。

(4)ブースターケーブルを接続したときの逆の順序ではずします。

### 警告

- ブースターケーブルを接続するとき、+端子と-端子を絶対に接触させないでください。火花が発生しバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。また、電子機器やエンジン部品をいためます。

- バッテリーに火を近づたり、ショート、スパークをさせないでください。バッテリーからは、可燃性のガスが発生しているので引火爆発するおそれがあります。
- バッテリーを充電するときには、すべてのキャップをはずし、通気の良い場所で充電してください。発生したガスが充満すると引火爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。バッテリー液が身体につかないように気をつけてください。目やひびに著くと重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

### 注意

ブースターケーブルを接続するときには

- 12V/バッテリーと接続してください。
- ケーブルがオルタネーターベルトなどの可動部品に接触しないようにしてください。
- エンジン回転中にバッテリー端子をはずさないでください。電子機器をいためます。

バッテリーが上がったときには

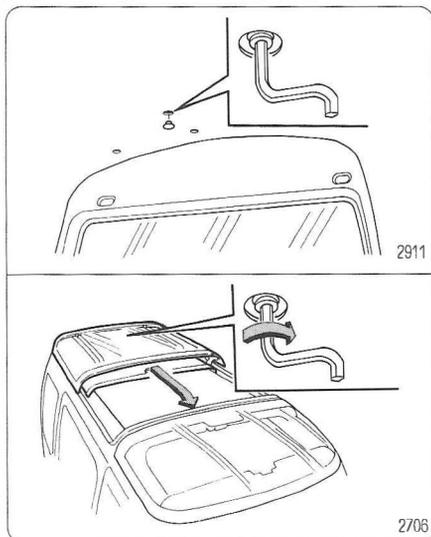
押しがけ、引きがけによるエンジン始動はしないでください。触媒が過熱して焼損することがあります。

### アドバイス

バッテリーが上がったときには

上がってしまったバッテリーは、すみやかに完全充電してください。

## リヤサンルーフが閉まらないとき



- (1) ルーフトリムにあるグロメットをはずします。
- (2) サンルーフレンチをモーターの軸穴に確実に差し込みます。
- (3) モーター軸を右回転させて閉めます。

### アドバイス

#### 応急処置後は

- リヤサンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 必ずスバルの販売店で点検整備を受けてください。







## 寒冷地での使いかた

冬に入る前の点検と準備 .....	168
走行前の点検 .....	169
走行前には .....	170
走行中には .....	171
駐車するときには .....	171
洗車するときには .....	172
タイヤチェーンの取り扱い .....	172

## 寒冷地での使いかた

北海道全域、東北、北陸の積雪地帯、その他山岳地帯やスキー場など局地的な厳寒地区の積雪、寒さに対する固有の使い方をまとめてあります。その他の地区でも冬の使いかたの参考にしてください。

## 冬に入る前の点検と準備

### ■冷却水の濃度点検

冷却水の濃度を50%にしてください。

### ■バッテリーの充電状態チェック

バッテリーの性能が低下しますので、放電気味のときは補充電をしてください。

### ■燃料タンクの水分除去

冬が来る前に、燃料タンク内の水分を水分除去剤で除去されることをお奨めします。

### ■ウォッシュ液の濃度点検

外気温に応じたウォッシュ液の濃度にしてください。

ウォッシュ液の濃度は50%にしてください。

### ■寒冷地用ワイパーブレードの装着

### ■冬用タイヤを準備します（スタッドレスタイヤ、スノータイヤ）

タイヤの種類	雪道での性能
一般タイヤ	乾いた路面で最も性能を発揮するタイヤです。雪道ではスリップしやすいため使用は避けてください。
スノータイヤ、オールシーズンタイヤ	夏用タイヤに対し、積雪路や泥ねい地など滑りやすい路面での性能を向上させたタイヤです。
スタッドレスタイヤ	スノータイヤ、オールシーズンタイヤに対し、圧雪路や凍結路での性能を向上させたタイヤです。 完全に凍結した路面ではスリップしたり、急坂を登れない場合もあります。 (この場合にはタイヤチェーンが必要です。)
スパイクタイヤ	特に凍結路で優れた性能を発揮しますが、粉塵公害防止のため生産販売されておりません。使用禁止の地区・期限が定められていますので、お客様の地域の条例にしたがってご使用ください。

雪道・凍結路を走るときは4輪とも同一銘柄、同一サイズのスタッドレスタイヤを装着してください。

## ■タイヤサイズに合ったタイヤチェーンの携帯

☆172ページ

(タイヤチェーンの取り扱い)

アドバイス

手袋や針金なども準備しましょう

タイヤチェーンを取りつけるときに着用する手袋、余ったチェーンをしぼる針金なども準備しておくことをお奨めします。

## 走行前の点検

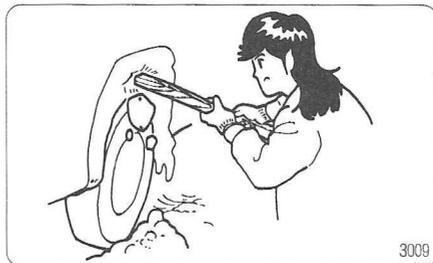
日常点検整備に次の項目を追加して点検してください。

### ■足まわりの点検



車の下をのぞいて足まわり（ブレーキまわり、ブレーキホース）に雪や氷のかたまりがついていないか点検してください。

雪道を走行したり、吹雪の中に駐車したときは足まわりに雪や氷が凍結し、ブレーキの効きやハンドルの切れが悪くなる場合があります。



ついている雪や氷を取り除いてください。

### ⚠注意

#### 雪や氷を取り除くときは

鋭利なものや硬いものでたたいたりして車を傷つけないでください。

ABS装着車は前・後輪の4か所に車速センサーが取り付けられています。これらに傷をつけないようにとくに気をつけてください。

---

■ワイパーブレードがフロントガラスに貼りついていないことを確認してください

貼りついた状態でワイパーを作動させると、ワイパーブレードのゴムが切れることがあります。

アドバイス

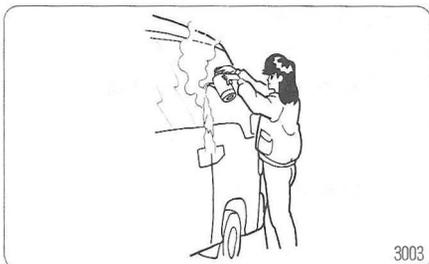
ワイパーブレードがフロントガラスに貼りついていないときは、デフロスターを使用してガラスを暖めてください。

---

---

## 走行前には

■ドアを開けるときには



ドアが凍結しているとき無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたり、き裂が発生することがあります。ぬるま湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。あとで水分を十分に拭き取ってください。

アドバイス

ドアのキー穴にはぬるま湯をかけないでください。凍結することがあります。

---

■屋根の雪を取り除きます

屋根に積った雪を走行する前に取り除きます。

走行中にガラス面に落下すると、視界の妨げになり、危険です。

■乗るときには

靴についた雪や氷をよく落としてください。

ペダルを操作するとき滑ったり、室内の湿気が多くなってガラスがくもりやすくなります。

■暖機運転中

アクセルペダル、ブレーキペダルなどの操作が円滑にできるかを確認してください。

## 走行中には

■控えめな運転に心がけてください——急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルは避けてください。

エンジンブレーキを使って速度をコントロールするように心がけてください。

アドバイス

### 発進時には

2速ギヤの使用をお奨めします。

オートマチック車では2速を利用してください。

### ■ブレーキの効きを点検してください

ブレーキまわりに雪や氷が凍結して効きが悪くなることがあります。

走行を開始するとき、車や道路の状況に注意してブレーキの効きを確認してください。

効きが悪い場合には、回復するまでブレーキを軽く踏み続けてください。

### ■ハンドルの切れを点検してください

走行中、足まわりに雪がたまりハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき異常のないことを確認してください。

### ■ブレーキの操作

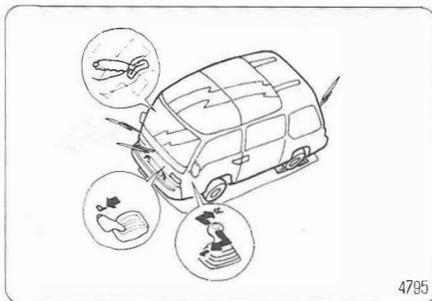
ブレーキペダルを踏むときは、小刻みに軽く踏み、最後にゆっくり踏み込んでください。

ABS装着車ではブレーキペダルを踏み続けてください。車輪がロックしないように電子制御されます。

☆130ページ (ABS)

## 駐車するときには

■ブレーキの凍結に気をつけてください



●ハンドブレーキレバーを引いておくと、ブレーキが凍結することがあります。

●次の要領で駐車してください。

マニュアル車は1速かRに入れます。

オートマチック車は「P」に入れます。

車の前方を風下に向けて駐車してください。

■屋外に駐車するときには、ワパーアームを立てておいてください。ワイパーブレードがガラスに貼りつくことがあります

## 洗車するときには

- 凍結防止剤を散布した道路を走ったとき



早めに下まわりを洗車してください。  
放置すると塩分で腐食しやすくなります。

### ■洗車後の注意

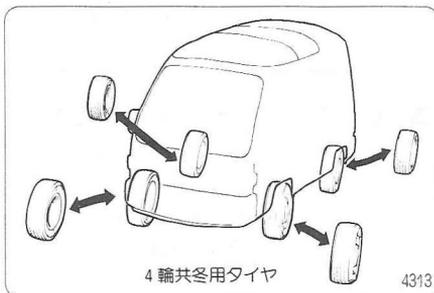
洗車後、水分をよく拭き取ってください。  
とくにドアまわりは凍結しやすいところです。  
ブレーキが凍結することがあります。車や  
道路の状況に注意して効きを確認してくだ  
さい。

## タイヤチェーンの取り扱い

- 非常のときのみ使用してください

- タイヤチェーンは、後輪に装着してください

- 雪道走行が事前に予想される場合には、4輪ともスタッドレス（同一サイズ、同一銘柄）を装着してください



### ⚠ 注意

#### 走行時の注意

- タイヤチェーンを取りつけると前後のバランスが変わるため、前輪が比較的すべりやすくなります。

安全な速度で慎重に運転してください。

30km/h以下で走行し、急発進、急ブレーキ、急ハンドルなどをさけてください

- 乾いた路面を走行するとチェーンの寿命を短くします。できるだけさけてください。

■タイヤサイズに合ったものを使用してください

タイヤチェーンは「スバル純正チェーン」を使用してください。

市販の「ゴムネットチェーン」の中には装着できないものもあります。

タイヤサイズ	スバル純正チェーン		市販JIS チェーン
	スチールチェーン	サイルチェーン	
5.00-12	B3155TA010	B3176GA005	45170
155SR12	B3155TA010	B3176GA004	45180
145R12	B3155TA011	B3176GA003	45170
145SR12	B3155TA011	B3176GA003	45170

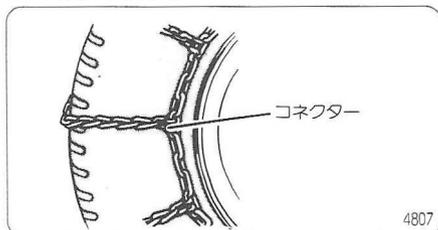
## ■標準的なタイヤチェーン（スチールチェーン）の取り付けかた

タイヤチェーンは後輪に取り付けます。前輪には取り付けないでください。

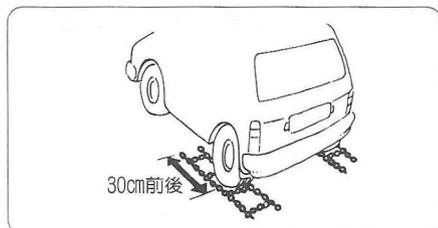
### アドバイス

**タイヤチェーンを取りつけるときは手袋などを着用してください。**

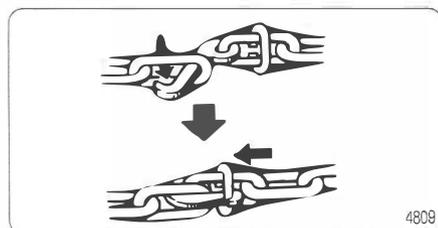
(1)交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車を止め、ハンドブレーキを引きます。



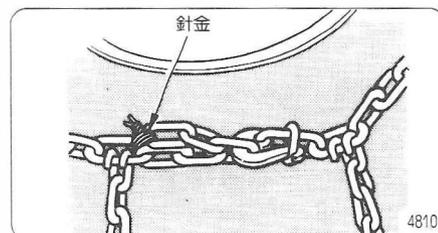
(2)クロスチェーンのつなぎ部が外側になるようにチェーンをタイヤの前か後に敷きます。逆にするとタイヤを傷めます。



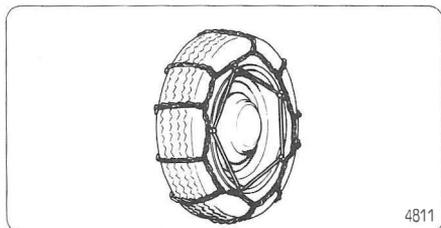
(3)先端のフックから30cm位になるまで車を移動させます。



(4)チェーンをタイヤに巻きつけていっぱい引き、内側フック、外側フックの順に連結します。内側と外側の余りが同数になるように連結します。



(5)余ったチェーンを針金で固定し、車体に当たるのを防止します。



- (6)チェーンバンドのクリップを外向きにし、円周をほぼ等分するようにチェーンを張ります。
- (7)少し走り、取り付け状態（ゆるみ、当たり）を確認します。

### ●はずしかた

チェーンバンドをはずし、針金をとって内側フックをはずすとチェーンは外側にはずれます。車を少し動かしてチェーンを取り出します。

### ■その他の取りつけかた

ジャッキアップして取りつける方法があります。慣れないかたにお奨めします。作業がやりやすく、確実に取り付けられます。

### ■使用後の手入れ

使用後は水洗いして乾燥させ、防錆油を塗布して保管してください。  
クロスチェーンが線径の $\frac{1}{2}$ まで摩耗すると寿命です。早めに新品のタイヤチェーンを準備してください。

# サービスデータ

交換時期については、舗装路を1年に10,000km程度走行する車を前提に定めてあります。走行距離の多い車や未舗装路を走行するなど特殊な使われ方をした車については、別冊「メンテナンスノート」をご覧ください。

スパーク プラグ	交換時期	20,000kmごと	
	指定プラグ	NGK : BKR6E-11 BKR5E-11	デンソー : K20PR-U11 K16PR-U11
	電極すき間	1.0~1.1mm	
ブレーキ ペダル	遊 び	1~3mm	
	踏み込んだときの 床板とのすき間	110mm以上	
クラッチ ペダル	遊 び	10~25mm	
	つながる直前の 床板とのすき間	110mm以上	
ハンドブレーキレバー		7~9山 (約20kgの力でゆつくり引いたとき)	
燃料タンク容量		約40ℓ (無鉛ガソリン使用)	
バッテリー型式		〈標準〉MT車 : 26B17L (12V21AH) AT車 : 28B17L (12V24AH) 〈寒冷地・4WD車〉38B20L (12V28AH)	
エンジンオイル	交換時期	〈標準〉10,000kmごと、または6か月ごと (どちらか早い方で実施) 〈スーパー・チャージャー車〉 5,000kmごと、または6か月ごと (どちらか早い方で実施)	
	使用オイル	スバル 4WD 10W-30 (SF級) モーター SG 10W-30 (SG級) オイル SH 10W-30 (SH級)	
	規 定 量	MT車 : 約3.0ℓ AT車 : 約3.1ℓ	
トランス ミッション オイル (マニュアル車)	交換時期	40,000kmごと	
	使用オイル	スバルギヤオイルエクストラ 75W/80 (GL-5)	
	規 定 量	2WD・5速車……………約1.9ℓ セレクティブ4WD……………約2.1ℓ // (デフロック付) ……約2.2ℓ フルタイム4WD……………約2.0ℓ	
トランスミッション フルード (3AT車)	交換時期	40,000kmごと	
	使用オイル	3速AT車専用ATF	
	規 定 量	2WD : 3.8ℓ 4WD : 4.2ℓ	
エンジンの タイミングベルト	交換時期	100,000kmごと	
	使用ベルト	専用タイミングベルト	

エアクリーナ エレメント	交換時期	40,000kmごと
	使用部品	純正エアクリーナエレメント
オイル フィルター	交換時期	10,000kmごと
	使用部品	純正オイルフィルター
フューエル フィルター	交換時期	キャブレーター車: 40,000kmごと NA-MPI・スーパーチャージャー車: 60,000kmごと
	使用部品	純正フューエルフィルター
フロント デファレンシャル オイル (4WD車)	量の判定基準	フィラープラグ穴下端より0 ~ 5 mmの間にあること
	交換時期	40,000kmごと
	使用オイル	スバルギヤオイル4WD 75W-90 (GL-5)
	規定量	一般4WD車: 0.8ℓ フリーアクスル付: 0.9ℓ
スーパーチャージャー オイル	使用オイル	MSCギヤオイル (昭和シェル石油製)
	規定量	35~40cc
冷却水	交換時期	40,000kmごと、または2年ごと (どちらか早い方で実施)
	使用冷却水	スバルクーラント
	規定量	約6.5ℓ
ディスクブレーキの パッドの摩耗限度	前 輪	標準厚さ: 9.0mm、使用限度: 1.5mm
ドラムブレーキのシューの ライニングの摩耗限度	後 輪	標準厚さ: 4.4mm、使用限度: 1.7mm
点火時期	スーパーチャ ージャー車	BTDC10° /800rpm
	キャブレータ ー・パワステ なし車	BTDC6° /800rpm
	キャブレータ ー・パワステ 付車	BTDC6° /850rpm
	NA・MPI車	BTDC10° /800rpm
弁すき間	冷 間 時	吸気: 0.15mm、排気: 0.20mm

10kgで押したときのオルタネータベルトのたわみ量

	一般車	NA・MPI車 一般車 エアコン付	NA・MPI車 スーパーチャージャー車	スーパーチャージャー車 エアコン付
	<p>3013</p> <p>オルタネータ</p>	<p>3014</p> <p>オルタネータ</p> <p>エアコン</p>	<p>3015</p> <p>オルタネータ</p> <p>スーパーチャージャー</p> <p>(NA・MPI車には、スーパーチャージャーベルトがありません)</p>	<p>3016</p> <p>オルタネータ</p> <p>エアコン</p> <p>スーパーチャージャー</p> <p>(NA・MPI車には、スーパーチャージャーベルトがありません)</p>
イ	11~13mm	6~7mm	7~9mm	6~7mm
□			7~9mm	7~9mm

アドバイス

- 新品ベルトを使用するときは、上記の下限の値に調整してください。
- 表示している交換部品のほかに継続検査（車検）時に定期交換する部品もあります。

## 【タイヤサイズ、空気圧】

### 〈トラック、パネルバン〉

車種	トラック																パネルバン		タイヤ空気圧 kgf/cm <sup>2</sup>				
	標準ルーフ								ハイルーフ								ハイルーフ						
	2WD				4WD				2WD				4WD				2WD	4WD					
	3方開																両側開						
	S	D	S	D	J	A	S	D	S	D	J	A	S	D	S	D	S	D					S
ス	パ	ン	チ	ャ	ル	ビ	ャ	ル	ビ	ャ	ル	ビ	ャ	ル	ビ	ャ	ル	ビ	ャ	ル	ビ	ャ	ル
B	X	W	W	B	B	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
タイヤ サイズ																							
F:5.00 -12-4PR R:5.00 -12-6PR	○				○																		
F:5.00 -12-4PR R:5.00 -12-6PR																				○	○	○	
145R12 -6PR		○	○																				

〔注意〕

F：フロント

R：リヤ

A：軽積載（2名+100kg以下のときを示す）

B：定積載

### 〈バン、ディアス〉

車種	バン									ディアス									タイヤ空気圧 kgf/cm <sup>2</sup>												
	4シータ						2シータ			4シータ																					
	ハイルーフ									ハイルーフ																					
	2WD		4WD		2WD		4WD		2WD		2WD		4WD		2WD			4WD													
	S T D	S D X	S T D	S T D	S D X さ わ や か	S D X 2 シ ツ プ	S D	S D X さ わ や か	S D X フ ラ シ ツ ク	S T D	S T D	赤 帽	D i a s - S 2	D i a s フ ラ シ ツ ク	D i a s - S 2 サ ン サ ン ル ーフ	D i a s II サ ン サ ン ル ーフ	D i a s I I サ ン サ ン ル ーフ	D i a s II M L リ ツ サ	D i a s II サ ン サ ン ル ーフ												
タイヤ サイズ																			A		B										
	F				R				F				R				F		R												
F:5.00-12 -4PR R:5.00-12 -6PR	○		○	○								○	○	○										1.8	2.2	2.2	3.0				
145R12 -6PR		○			○	○	○	○	○																			1.8	2.2	2.2	3.0
145SR12														○	○			○	○									2.0	2.0	2.2	2.2
155SR12																○	○			○	○							1.8	2.0	2.0	2.2

〔注意〕

F：フロント

R：リヤ

A：軽積載（2名+100kg以下のときを示す）

B：定積載



# さくいん

## あ

アウターミラー	54
アンチロックブレーキシステム(ABS)	130
アンテナ	86

## う

ウオッシュャースイッチ	59
ウオッシュャータンク	61

## え

エアコン	81
ABS	130
ABS制御警告灯	71
エンジンスイッチ	114
エンジン始動・停止	116
エンジンブレーキ	17
エンジンルームファン	21

## お

オイルプレッシャー警告灯	69
オーディオ	86
オートマチック車の運転	118
オーバーヒートしたとき	159
オーバーヘッドコンソール	102
オドメーター	68

## か

回転シート	46
ガードバーA	48
カップホルダー	103

## き

キー	28
キー抜き忘れ警報	29, 115
キックダウン	12

## く

空気圧(タイヤ空気圧)	179
グローブボックス	101

## け

警告灯	69
けん引	15

## こ

工具	152
----	-----

## さ

作業灯スイッチ	63
サンシェード	108
サンバイザー	104
サンルーフ	108

## し

シートの調整	44
シートベルト	52
シートベルト警告灯	71
シガーライター	100
シフトダウン	17
シフトロックシステム	14
ジャッキ	150
ジャッキハンドル	150
ジャッキアップポイント	154
集中ドアロック	28

## す

水温計	67
ステアリング警告灯	71
スパークプラグ	176
スピードメーター	67
スペアタイヤ	150
スライドドア	29

## せ

セレクトティブ4WD	123
セレクトインジケータ	68
セレクトレバー	118
前席用灰皿	101

## そ

速度計（スピードメーター）	67
側面方向指示器（電球交換）	137

## た

タイヤ空気圧	179
タイヤ交換	153
タイヤチェーン	172
タイヤローテーション	142
タコメーター	67

## ち

チェックエンジン警告灯	70
チェンジレバー	115
チャージ警告灯	69

## て

テナイトインナーミラー	53
テフロック作動表示灯	69
電気式バックドアロック	34
電球（バルブ）の交換	136
電動パワーステアリング	18
電子チューニングAMラジオ	88
電子チューニングAM/FMラジオ ＋カセットデッキ	91
電子チューニングAM/FMラジオ ＋カセットデッキ（ハイパワー）	95

## と

ドア	28
トノカバー	107
トラックのゲート	36
トラップドア	37
トリップカウンター	68

## ね

燃料計（フューエルメーター）	67
燃料補給口	33

## は

灰皿	101
ハザードランプスイッチ	63
発炎筒	161
パッシング	58
バッテリー	176
パワーウィンドウ	31
パワートレイン警告灯	70
ハンドブレーキレバー	116
番号灯（電球交換）	139
パンクしたときの処置	153

## ひ

ヒーター	77
ビーム・パッシング表示灯	68
非常点滅灯スイッチ	63
ヒューズ交換	158
表示灯	68

## ふ

フューエルメーター	67
フューエルキャップの開けかた	33
フラットシート	45
フリーホイールアクスル	125
フルタイム4WD	127
ブレーキ警告灯	70
フロントシート	44

## へ

ヘッドランプ	58
ヘッドレストの脱着	44

## ほ

ホイールキャップ	153
方向指示レバー	59
方向指示器表示灯	68
ボディカバー	144

## ま

万一のとき……………149

## み

ミストスイッチ……………59

ミラー……………53

## め

メーター……………67

## よ

4WD車の運転……………123

4WDセレクトインジケーター……………69

## ら

ライティングスイッチ……………58

ラゲッジルームランプ……………106

ラジオ・オーディオ……………86

ランプ（電球の交換）……………136

## り

リクライニング調整……………44

リヤウインドウデフォグガー作動表示灯 ……69

リヤウインドウデフォグガースイッチ…62

リヤゲート（ディアス、バン）……………34

リヤゲート（パネルバン）……………35

リヤシート（ディアス）……………48

リヤシート（2シート除くバン）……………51

リヤトレー……………103

リヤヒーター……………81

リヤワイパー・ウォッシャースイッチ…60

リヤラゲッジフック……………104

リヤデファレンシャルロック……………124

## る

ルームミラー……………53

ルームランプ……………105

## わ

ワイパー・ウォッシャースイッチ……………59

ワイパーブレードの取り外し、取り付け ……141

---

禁複製・転載

—— 非 売 品 ——

編 集・発 行

**富士重工業株式会社**

国内営業本部国内サービス部

---



お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店  
または、富士重工のお客様相談室へお願い  
いたします。

富士重工業(株) 国内営業本部 お客様相談室  
〒160 新宿区西新宿 1-7-2 (スバルビル)

☎ 03-3347-2626





お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店  
または、富士重工のお客様相談室へお願い  
いたします。

富士重工業株 国内営業本部 お客様相談室  
〒160 新宿区西新宿 1-7-2 (スバルビル)

☎ 03-3347-2626



富士重工業株式会社

Publication No. **A7321B**

発行 1997年12月

Printed in Japan A-7.5